

あき やま ごう ど い せ き  
**秋山郷戸遺跡**

— B地点の調査 —

2011

本庄市遺跡調査会

## 序

本庄市は、かつて中山道一の繁栄を誇った宿場町として、また、国学者堀保己一生誕の地として広く知られるところです。そうした歴史的な背景と文化的風土を持つ本庄市は、また多くの埋蔵文化財にも恵まれ、市内には旧石器時代から近代に至るまでのさまざまな遺跡が分布しています。

本書は本庄市児玉町秋山に所在する秋山郷戸遺跡の発掘調査の成果を記録したものです。今回の発掘では、奈良・平安時代を中心とする集落跡が発見され、40軒におよぶ堅穴住居跡を検出し、数多くの遺物が出土しました。また、近世の炭窯が発見されたことも、この地域の生活史を語るうえで重要な成果といえましょう。

このような貴重な文化遺産を長く後世に伝えていくことは、現代に生きるわたくしたちに与えられた責務であり、地域の歴史を明らかにすることは、わたくしたちがよりよい未来を築くための手掛かりとなるものです。今後は本書が学術研究の発展に寄与するとともに、生涯学習の場に広く活用されることを願ってやみません。

最後になりましたが、文化財の保護に対する深いご理解を賜りました㈱酒井商事、調査に際してご指導、ご協力を頂きました方々、直接作業の労にあられた皆様に衷心よりの感謝を申し上げます。

平成23年12月

本庄市遺跡調査会  
会長 茂木 孝彦

## 例言

1. 本書は埼玉県本庄市児玉町秋山字郷戸344他に所在する秋山郷戸遺跡B地点の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は榑酒井商事によるセメント骨材(岩石)採取に伴う事前の記録保存を目的として、本庄市遺跡調査会(旧児玉町遺跡調査会)が実施した。調査対象面積は約7,000㎡である。
3. 発掘調査、整理調査に係る詳細は以下のとおりである。
  - ・発掘調査期間：平成10年2月2日～平成10年5月29日(第1次調査)  
平成10年9月1日～平成11年3月31日(第2次調査)
  - ・発掘調査担当者：尾内俊彦・松澤浩一(旧児玉町遺跡調査会 調査員)
  - ・整理調査期間：平成20年9月1日～平成23年11月10日
4. 発掘調査から本書刊行に至る経費は、榑酒井商事が負担した。
5. 整理の一部および報告書の作成は有限会社歴史考房まほらに委託し、笠原仁史が担当した。
6. 本書の執筆はIを本庄市教育委員会文化財保護課が、その他を笠原が担当し、編集は笠原が担当した。
7. 遺物写真撮影・デジタル加工は山際哲章に、遺物デジタルトレースは山崎芳泰に、遺構図編集・デジタルトレースは村田優子に委託した。
8. 発掘調査資料・出土遺物等、本調査に関する全ての資料は本庄市教育委員会において保管・管理している。
9. 発掘調査から報告書刊行に至るまで下記の諸氏・諸機関に御助言・御指導・御協力を賜りました。(50音順・敬称略)  
長井正欣 有限会社 毛野考古学研究所
10. 本調査にかかわる本庄市遺跡調査会の組織は以下のとおりである(平成23年度)

会長	茂木 孝彦	本庄市教育委員会教育長
理事	清水 守雄	本庄市文化財保護審議委員
	関和 成昭	本庄市教育委員会事務局長(会長代理)
監事	坂本 和雄	本庄市監査委員会事務局長
	田島 弘行	本庄市会計課長
幹事	金井 孝夫	本庄市教育委員会文化財保護課 課長(事務局長)
	鈴木 徳雄	” 副参事兼課長補佐
	太田 博之	” 課長補佐兼埋蔵文化財係長
	恋河内 昭彦	” 主幹
	大熊 季広	” 埋蔵文化財係主査
	松澤 浩一	” 埋蔵文化財係主査
	松本 完	” 埋蔵文化財係主任
	的野 善行	” 埋蔵文化財係臨時職員

## 凡例

1. 本書に使用した地図は、国土地理院発行『数値地図25000(地図画像)宇都宮』(平成15年11月2刷)である。
2. 本書掲載遺構図の縮尺は各図に示したとおりである。遺物の縮尺は原則1/3とし、これと異なるものは縮尺を示した。
3. 掲載図の方位は座標北を、国家座標は旧日本測地系の数値を示す。
4. グリッド番号は左上(北西)原点としてグリッド名を付した。
5. 遺物観察表の色調は『標準土色帖』(財団法人日本色彩研究所色票監修)を使用した。
6. 本書に記載した遺構名は発掘調査時に付したものを付した。
7. 断面の記録がない土坑、遺構名が付されていない遺構については、個別の情報は掲載していない。

# 目次

序

例言・凡例

目次

I 調査に至る経緯 .....	1
II 遺跡の立地と環境 .....	2
III 基本層序 .....	6
IV 検出された遺構と遺物 .....	7
1. 住居 .....	7
2. 土坑 .....	54
3. 溝 .....	71
4. 炭窯 .....	72
5. 遺構外の遺物 .....	72
V まとめ .....	81

写真図版

抄録

## 插图目次

第1图 遺跡位置図	2	第37图 24号住居	38
第2图 遺跡周辺図	3	第38图 24号住居出土遺物	39
第3图 遺跡全体図1	4	第39图 25号住居、及び出土遺物	40
第4图 遺跡全体図2	5	第40图 26・27号住居、及び26号住居出土遺物	41
第5图 遺跡拡大図	6	第41图 28号住居	43
第6图 1号住居出土遺物	7	第42图 28号住居出土遺物	44
第7图 1号住居	8	第43图 29号住居、及び出土遺物	45
第8图 2号住居、及び出土遺物	9	第44图 30・31号住居	46
第9图 3号住居	10	第45图 32号住居	47
第10图 3号住居出土遺物	11	第46图 35号住居、及び32・35号住居出土遺物	48
第11图 4号住居、及び出土遺物1	12	第47图 36号住居、及び出土遺物	49
第12图 4号住居出土遺物2	13	第48图 37・40号住居	50
第13图 5号住居、及び出土遺物	14	第49图 37・40号住居出土遺物	51
第14图 6号住居	15	第50图 38・39・42号住居	52
第15图 6号住居出土遺物	16	第51图 38・39号住居出土遺物	53
第16图 7号住居、及び出土遺物	17	第52图 41号住居、及び出土遺物	54
第17图 8号住居	18	第53图 1・3～9号土坑	56
第18图 8号住居出土遺物	19	第54图 11～17号土坑	57
第19图 9号住居、及び出土遺物	20	第55图 18～22号土坑	58
第20图 10号住居、及び出土遺物	21	第56图 23～27号土坑	59
第21图 11号住居、及び出土遺物	22	第57图 28～34号土坑	60
第22图 12号住居、及び出土遺物	23	第58图 35～41号土坑	61
第23图 13号住居	24	第59图 42～46号土坑	62
第24图 13号住居出土遺物	25	第60图 47～53号土坑	63
第25图 14号住居	26	第61图 54～61号土坑	64
第26图 15号住居、及び出土遺物	27	第62图 62～67号土坑	65
第27图 16号住居、及び出土遺物	28	第63图 68～71・73～76号土坑	66
第28图 17・18号住居、及び18号住居出土遺物	29	第64图 79～84号土坑	67
第29图 19号住居	30	第65图 86～92号土坑	68
第30图 19号住居出土遺物	31	第66图 土坑出土遺物	69
第31图 20号住居	32	第67图 1号溝	70
第32图 21号住居	33	第68图 2号溝	71
第33图 21号住居出土遺物	34	第69图 3号溝	72
第34图 22号住居	35	第70图 炭窯	72
第35图 22号住居出土遺物	36	第71图 遺構外出土遺物	73
第36图 23号住居、及び出土遺物	37		

## 表目次

第1表 土坑一覧表	54	第2表 出土遺物観察表	74
-----------	----	-------------	----

## 写真図版目次

- PL-1 遺跡南西部全景 北西から / 遺跡南西部全景 西から
- PL-2 遺跡南西部全景 南から / 遺跡北端部全景 北から
- PL-3 1号住居 東から / 1号住居カマド 東から / 1号住居遺物出土状況 東から / 2号住居 南西から  
2号住居カマド 南西から / 3号住居 南西から / 3号住居カマド 南から / 3号住居遺物出土状況 西から
- PL-4 4号住居 北西から / 4号住居カマド 北西から / 4号住居遺物出土状況 北西から / 5号住居 北西から  
6号住居 西から / 6号住居遺物出土状況 南西から / 7号住居 南西から / 7号住居カマド 南西から
- PL-5 8号住居 北西から / 8号住居カマド 北西から / 8号住居遺物出土状況 南西から / 9号住居 東から  
10号住居 南西から / 11号住居 東から / 11号住居カマド 南から / 12号住居 西から
- PL-6 13・14・16号住居 南から / 13号住居 南から / 13号住居カマド 南から / 14号住居 西から / 15号住居  
北西から / 15号住居カマド 北西から / 15号住居遺物出土状況 南から / 15号住居遺物出土状況 東から
- PL-7 16号住居 南から / 17号住居 南から / 18号住居 南西から / 18号住居カマド 南西から  
19号住居 西から / 19号住居カマド 南から / 20号住居 南から / 20号住居カマド 南から
- PL-8 21号住居 北東から / 21号住居カマド 北東から / 21号住居遺物出土状況 北から / 22号住居 南西から  
22号住居カマド 南から / 22号住居カマド遺物出土状況 北から / 23号住居 北から / 23号住居カマド  
北から
- PL-9 23号住居遺物出土状況 南東から / 24号住居 北西から / 24号住居カマド 北西から / 24号住居遺物出  
土状況 北西から / 24号住居No.146出土状況 北から / 25号住居 南西から / 26号住居 北東から  
27号住居カマド 北から
- PL-10 28号住居 北西から / 28号住居カマド 北西から / 28号住居床下土坑 南西から / 29号住居 北西から  
29号住居遺物出土状況 北から / 30・31号住居 南西から / 32号住居 南西から / 32号住居カマド 南西から
- PL-11 35号住居 東から / 35号住居遺物出土状況 東から / 36号住居 南東から / 36号住居カマド 南東から  
37号住居 南西から / 37号住居カマド 南西から / 37号住居東カマド 北東から / 38・42号住居 南西から
- PL-12 40号住居 南西から / 41号住居 南西から / 39・42号住居 南東から / 1号土坑 / 4号土坑  
11号土坑 / 14号土坑 / 16号土坑
- PL-13 18号土坑 / 19号土坑 / 20号土坑 / 23号土坑 / 24号土坑 / 25号土坑 / 27号土坑  
28号土坑
- PL-14 29号土坑 / 30号土坑 / 34号土坑 / 35号土坑 / 37号土坑 / 38・39号土坑 / 48号土坑  
57号土坑
- PL-15 63号土坑 / 64号土坑 / 75号土坑 / 81号土坑 / 90号土坑 / 91・92号土坑 / 2号溝
- PL-16 3号溝 東から / 3号溝 南西から / 掘立 南から / 炭窯 東から / 炭窯 東から / 炭窯 西から  
作業風景 / 作業風景
- PL-17 1号住居出土遺物 / 2号住居出土遺物 / 3号住居出土遺物 / 4号住居出土遺物 1
- PL-18 4号住居出土遺物 2 / 5号住居出土遺物 / 6号住居出土遺物
- PL-19 7号住居出土遺物 / 8号住居出土遺物 / 9号住居出土遺物 / 10号住居出土遺物  
11号住居出土遺物 / 12号住居出土遺物
- PL-20 13号住居出土遺物 / 14号住居出土遺物 / 15号住居出土遺物 / 16号住居出土遺物  
18号住居出土遺物 / 19号住居出土遺物
- PL-21 21号住居出土遺物 / 22号住居出土遺物 / 23号住居出土遺物 / 24号住居出土遺物 1
- PL-22 24号住居出土遺物 2 / 25号住居出土遺物 / 26号住居出土遺物 / 28号住居出土遺物  
29号住居出土遺物 / 32号住居出土遺物 / 35号住居出土遺物
- PL-23 36号住居出土遺物 / 37号住居出土遺物 / 38号住居出土遺物 / 39号住居出土遺物  
40号住居出土遺物 / 41号住居出土遺物 / 46号土坑出土遺物 / 48号土坑出土遺物  
58号土坑出土遺物 / 71号土坑出土遺物 / 72号土坑出土遺物
- PL-24 75号土坑出土畜獣骨 / 81号土坑出土遺物 / 85号土坑出土遺物 / 89号土坑出土遺物  
遺構外出土遺物

## I 調査に至る経過

本報告にかかわる発掘調査は、岩石採取に伴って失われる埋蔵文化財の記録保存のために二次にわたって実施されたものであり、発掘調査に至る経緯の概要は以下のとおりである。

埼玉県児玉郡児玉町大字秋山（現本庄市児玉町秋山）字郷戸 344、257 番地の 9,648 m<sup>2</sup>において、有限会社酒井商事による岩石採取計画に基づき、有限会社酒井商事代表取締役酒井元晴から、開発予定地内における埋蔵文化財の所在及び取り扱いについての照会が、平成 6 年 9 月 8 日付けで児玉町教育委員会に提出され、同年 10 月 5 日に周知の埋蔵文化財包蔵地（No. 54-058）に隣接し、付近においても埋蔵文化財の包蔵が確認されているところから埋蔵文化財が包蔵する可能性が高いが、現地が山林であり確認が困難であるところから試掘調査を実施する必要がある旨の回答を行った。その後、児玉町大字秋山字郷戸 344、357 番地の 14,398 m<sup>2</sup>試掘依頼が平成 8 年 5 月 24 日付で教育委員会に提出され、現地の伐採等の試掘調査の条件整備された同年 8 月 1・2 日に試掘調査を実施し、平成 8 年 8 月 12 日付児教社第 116 号で奈良・平安時代の住居跡が 10 棟程度確認され秋山郷戸遺跡（54-050）の一部を構成する古代集落跡である旨の回答を行った。

この結果を踏まえ、児玉町教育委員会は埋蔵文化財の現状変更を最小限に実施するように有限会社酒井商事と協議を行った。しかし、岩石採取のため埋蔵文化財への影響は避けがたく、埋蔵文化財が失われる区域の発掘調査を実施する必要が生じた。以上の協議を踏まえて、児玉町教育委員会の指導に基づき児玉町遺跡調査会と有限会社酒井商事との間で埋蔵文化財保存事業委託契約を締結することで、試掘調査を実施した区域の内、第一期事業（B1 地点）として岩石を採取する区域の約 2,000 m<sup>2</sup>の発掘調査を実施することとなった。

発掘の実施にあたって、平成 10 年 1 月 14 日に有限会社酒井商事代表取締役酒井元晴より、文化財保護法第 57 条の 2 第 1 項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。この発掘の届出に基づいて、埼玉県教育委員会教育長から、平成 10 年 2 月 20 日付け教文第 3 - 672 号で有限会社酒井商事代表取締役酒井元晴に「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について」の通知があり、土木工事等の着工前の発掘調査実施の指示および発掘調査により重要遺構等が発見された場合の別途協議の必要について通知された。

発掘調査の実施については、児玉町遺跡調査会会長富丘文雄から文化財保護法第 57 条第 1 項の規定に基づいて、平成 10 年 1 月 16 日付け児遺調第 14 号で「埋蔵文化財発掘調査の届出について」が児玉町教育委員会に提出されたので、同日児教社第 217 号で埼玉県教育委員会教育長に連達した。この届出に基づいて、埼玉県教育委員会教育長から児玉町遺跡調査会会長に、平成 10 年 2 月 20 日付け教文第 2 - 183 号で通知があった。なお、B1 地点の発掘調査は、平成 10 年 2 月 2 日に開始され、同年 5 月 27 日に終了した。

第二期事業に伴う調査（B2 地点）は、第一期事業に隣接する児玉町大字秋山字郷戸 344 番地の約 5,000 m<sup>2</sup>において実施したものであり、児玉町教育委員会の指導に基づき、児玉町遺跡調査会と有限会社酒井商事との間で埋蔵文化財保存事業委託契約を締結することで、発掘調査を実施することとなった。

発掘の実施にあたって、平成 10 年 8 月 28 日に有限会社酒井商事代表取締役酒井元晴より、文化財保護法第 57 条の 2 第 1 項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。この発掘の届出に基づいて、埼玉県教育委員会教育長から、平成 10 年 9 月 21 日付け教文第 3 - 379 号で有限会社酒井商事代表取締役酒井元晴に「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について」の通知があり、土木工事等の着工前の発掘調査実施の指示および発掘調査により重要遺構等が発見された場合の別途協議の必要について通知された。

発掘調査の実施については、児玉町遺跡調査会会長富丘文雄から文化財保護法第 57 条第 1 項の規定に基づいて、平成 17 年 8 月 28 日付け児遺調第 7 号で「埋蔵文化財発掘調査の届出について」が児玉町教育委員会に提出されたので、平成 10 年 8 月 31 日児教社第 91 号で埼玉県教育委員会教育長に連達した。この届出に基づいて、埼玉県教育委員会教育長から児玉町遺跡調査会会長に、平成 10 年 9 月 21 日付け教文第 2 - 100 号で通知があった。なお、B2 地点の発掘調査は、平成 10 年 9 月 1 日に開始され、平成 11 年 3 月 31 日に終了した。

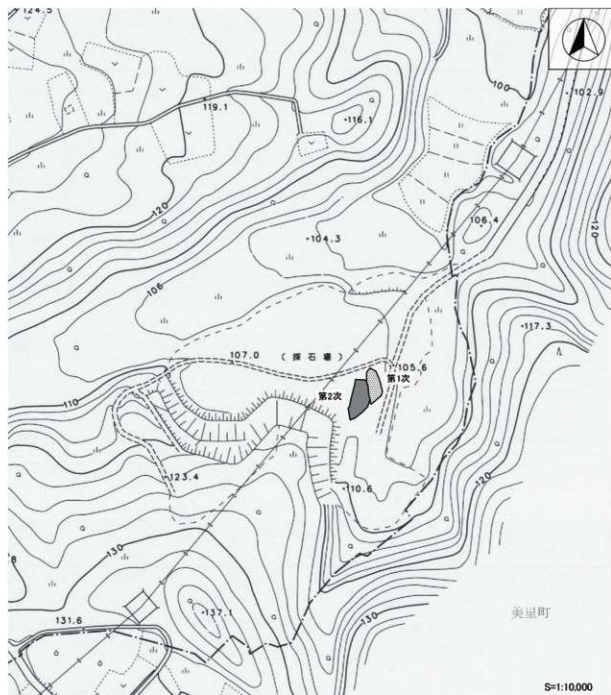
（本庄市教育委員会文化財保護課）

## II 遺跡の立地と環境

遺跡は児玉町市街地の南東部、美里町との境界に接する位置にある。地形的には松久丘陵の縁辺部に立地し、丘陵部から遺跡西側を南へ深く入り込む谷地への変化点である傾斜地に展開している。

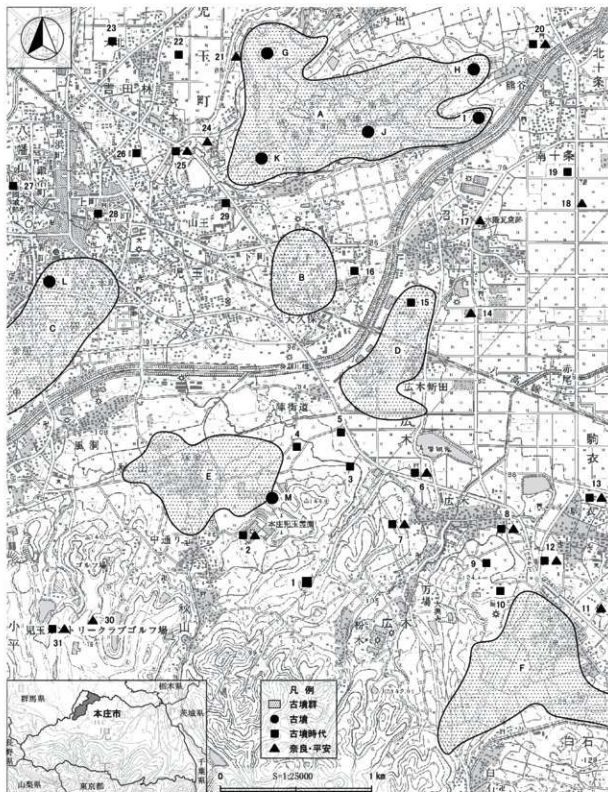
本遺跡は本市市の古墳～平安時代の分布状況において南端部にあたり、丘陵縁辺部に展開する遺跡の中でも最奥部に位置している。松久丘陵上には旧石器・縄文時代の遺跡が広く分布している傾向が窺えるが、古墳時代以降は丘陵縁辺部からその周辺に展開している様子が見て取れる。これは隣接する美里町を含めた分布状況でも同じである。

また、周辺には女堀川の開析作用によって形成された児玉丘陵下から北東に広がる本庄台地縁辺部、残丘上および残丘下低台地上に集落遺跡が数多く点在するが、弥生から古墳時代初頭に該当する遺跡は少なく、生野山遺跡(21)など残丘上や残丘下低台地にわずかに見られるのみである。当地域において大きく集



第1図 遺跡位置図

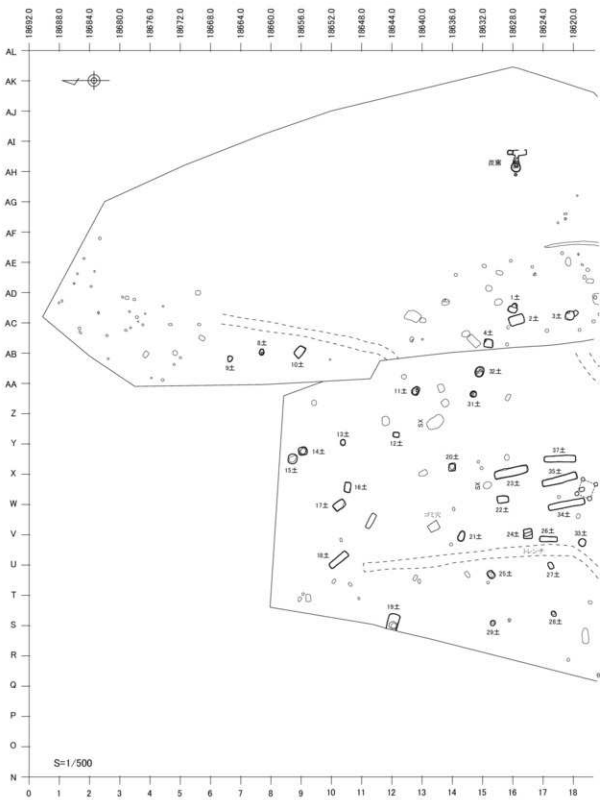




周辺遺跡一覧

- |           |            |            |           |            |           |
|-----------|------------|------------|-----------|------------|-----------|
| 1 秋山郷戸遺跡  | 2 秋山東遺跡    | 3 諏訪平遺跡    | 4 秋山大町遺跡  | 5 秋山大町東遺跡  | 6 ミナ神社前遺跡 |
| 7 広木上宿遺跡  | 8 上ノ原遺跡    | 9 宇佐久保塚輪窓跡 | 10 宇佐久保遺跡 | 11 大仏座寺    | 12 小松原遺跡  |
| 13 北貝戸遺跡  | 14 宮上遺跡    | 15 後山王遺跡   | 16 大久保遺跡  | 17 高橋瓦遺跡   | 18 鳥森遺跡   |
| 19 樋之口遺跡  | 20 宮ヶ谷戸遺跡  | 21 生野山遺跡   | 22 宮田遺跡   | 23 高橋田遺跡   | 24 阿知絲遺跡  |
| 25 御林下遺跡  | 26 女池遺跡    | 27 八幡山墳輪窓跡 | 28 神町遺跡   | 29 児玉清水遺跡  | 30 般若寺跡   |
| 31 秋山中山道跡 | A 生野山古墳群   | B 下町古墳群    | C 長沖古墳群   | D 広木大町古墳群  | E 秋山古墳群   |
| F 白石古墳群   | G 生野山鏡子塚古墳 | H 熊谷後1号墳   | I 生野山16号墳 | J 生野山野塚塚古墳 | K 物見塚古墳   |
| L 長沖14号墳  | M 秋山諏訪山古墳  |            |           |            |           |

第2図 遺跡周辺図



第3図. 遺跡全体図1



第4図 遺跡全体図2

落が発展するのは古墳時代前期に入ってからであり、大規模集落である後張遺跡を中心に周辺の低台地上や残丘上などにも小規模集落が数多く形成されるようになる。

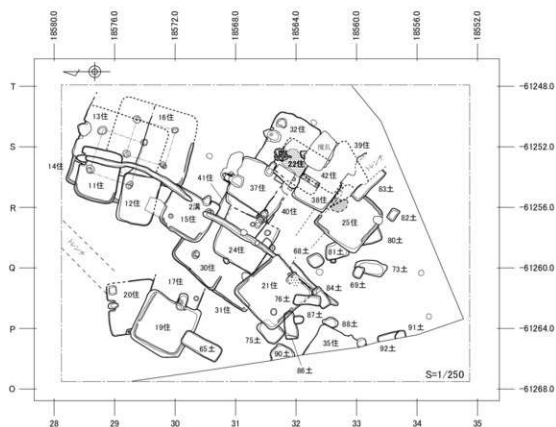
中期に入ると蛭川坊田遺跡などに見られるように低地内でも水路の掘削が顕著になり、さらに大きく集落が発展する様相が窺える。また、東牧西分遺跡に見られるように比較的早い段階にカマドが普及する地域としても注目されているが、南東の残丘上においては集落の形成が途絶え、金讃神社古墳・生野山將軍塚古墳(J)など円墳を主体とする首長層の墓が継続的に造られるようになるなど、広い範囲において地形的な利用区分が意識されていた傾向が窺える。

後期も残丘上には全長 60m 級の前方後円墳である生野山銚子塚古墳(G)・生野山 16 号墳(I)が築造され、その後、生野山古墳群(A)などの群集墳が形成されるようになるが、集落は数を増しつつも 7 世紀中葉になると低地内の自然堤防上から本庄台地縁辺部や残丘下低台地上に移行する傾向が窺える。

奈良時代に入ると、7 世紀中葉以降に沖積地を取り囲むように分布した集落がさらに範囲を広げ、本庄台地縁辺部では将監塚遺跡・古井戸遺跡・南共和遺跡・新宮遺跡・辻ノ内遺跡・真下境東遺跡など帯状に連続する広大な居住域が 9 世紀まで断続的に営まれるようになる。その後、9 世紀後半になるとこうした状況は一変し、変わって自然堤防上に小規模な集落が形成されるようになる。一方、残丘上および残丘下低台地上の集落は鷺山南遺跡・新屋敷遺跡・阿知越遺跡など 10 世紀以降も集落が数多く形成されており、古代の居住域として最適な場所であったことが示唆される。

### Ⅲ 基本層序

本遺跡の基本層序は明瞭ではないが、調査区壁面で確認できる堆積状況は As-A 含有の表土、遺構確認面である直下層のローム粒・ロームブロック含有の茶褐色土、基盤のローム層が認められる。



第 5 図 遺跡拡大図

#### IV 検出された遺構と遺物

本遺跡で検出された遺構は住居 40軒(1～42号住居[33・34住欠番]、土坑90基(1～92号土坑[77・78土欠番])、溝3条、炭窯1基である。

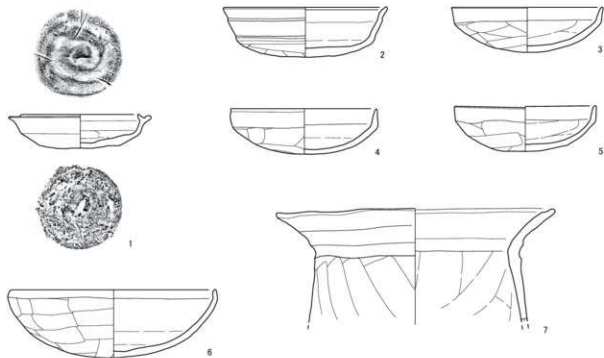
この内、住居は調査区南西部の傾斜地上部に一定範囲に分布し、特に南西隅の最上部は重複が激しく密集している。土坑・溝はさらに谷への変化点付近、調査区西側3/4程度まで広がりを見せ、傾斜地全体に分布している。ただし、古代に帰属すると思われる土坑は住居の周囲、及び調査区西部の傾斜地上部に限られており、この土坑の分布状況が集落の範囲を示唆していることが窺える。

調査区東部1/4程度の谷へと落ちる急斜面には炭窯が1基確認された以外に遺構は検出されていない。

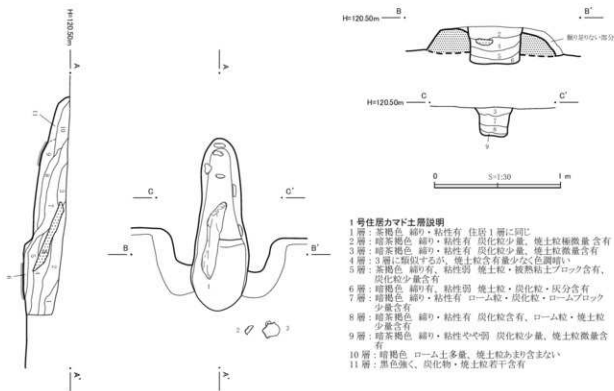
##### 1. 住居

###### 1号住居 (第6・7図、第2表、PL-3.17)

**位置** 調査区南西部、Q-24に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、西辺にカマドが付設されている。主軸N-107°-W、長軸(南北)3.6×短軸(東西)3.5×深さ0.4mを測る。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒・ロームブロック含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 西辺中央部に付設されている。焚口～燃焼部は壁内に、煙道部は壁外へ長く延びている。燃焼部は僅かに窪みを持ち、5cm程の段差から煙道部は煙出し部に向かって緩やかに上昇している。また、覆土中からは構築材が崩落したと思われる礫が出土している。確認状態で燃焼部は長軸57×短軸45cmを、煙道部は長さ76cm程を測る。**貯蔵穴** カマド左脇(南西角)に検出され、71×47cmを測る楕円形を成す。**柱穴** 径35～42cm程を測る円形のピットが方形に配されている。**備考** やや南東寄りに小鍛冶の可能性が高い焼土、及び50cm程のピットが認められる。**遺物** 掲載遺物7点。その他土師器小破片が多数出土している。

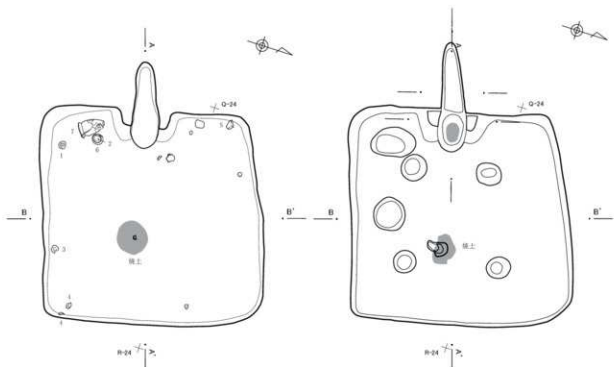


第6図. 1号住居出土遺物



#### 1号住居カマド土層説明

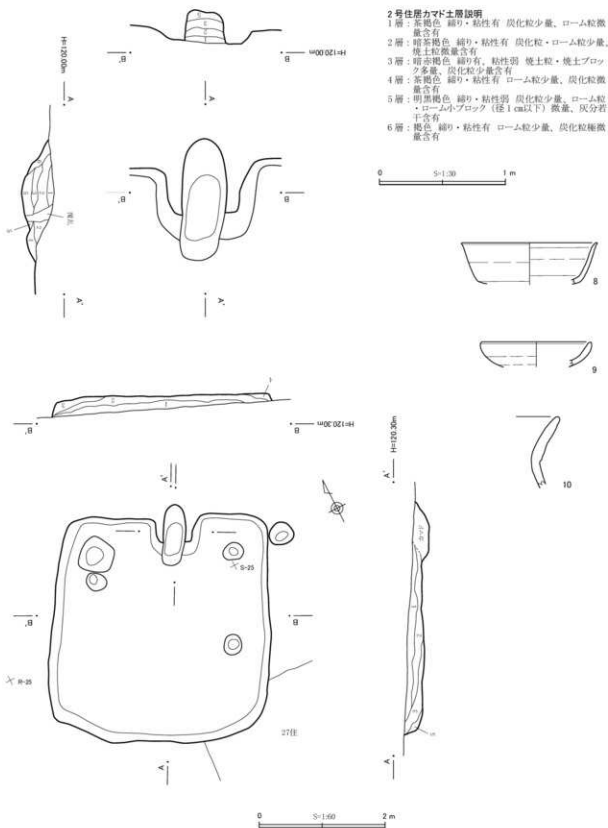
- 1層: 茶褐色 細り・粘性有 住居1層に同じ
- 2層: 暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、焼土粒微量含有
- 3層: 暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、焼土粒微量含有
- 4層: 3層に類似するが、焼土粒含有量少なく色調暗い
- 5層: 茶褐色 細り有、粘性弱 焼土粒・炭化粒・ロームブロック含有、炭化粒少量含有
- 6層: 暗褐色 細り有、粘性弱 焼土粒・炭化粒・灰分含有
- 7層: 暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒・ロームブロック少量含有
- 8層: 暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒含有、ローム粒・焼土粒少量含有
- 9層: 暗茶褐色 細り・粘性やや弱 炭化粒少量、焼土粒微量含有
- 10層: 暗褐色 ローム土多量、焼土粒あまり含まない
- 11層: 黒色強く、炭化物・焼土粒若干含有



#### 1号住居土層説明

- 1層: 茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 暗茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒含有、ロームブロック(径1cm程)、焼土粒微量含有
- 3層: 暗褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒含有
- 4層: 暗茶褐色 細り・粘性弱 炭化粒多量、焼土粒・ローム粒少量含有
- 5層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・焼土粒・炭化粒少量、粘質土若干含有
- 6層: 暗茶褐色 細り・粘性有 焼土粒・炭化粒含有、ローム粒微量、粘質土ブロック含有

第7図. 1号住居



2号住居土器説明

1層：茶褐色 細り・粘性弱 ローム粒少量、ローム小ブロック（径1cm以下）炭化粒微量含有

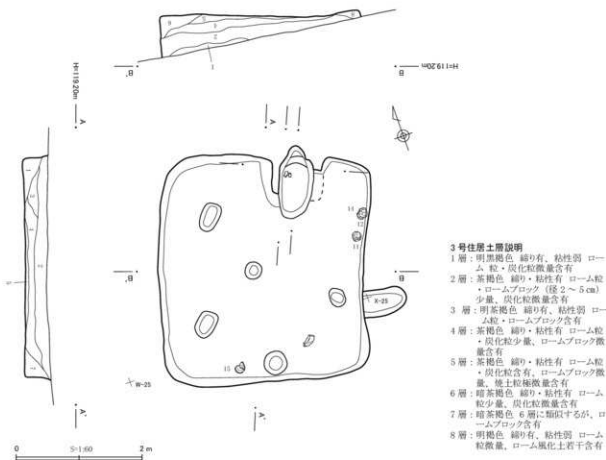
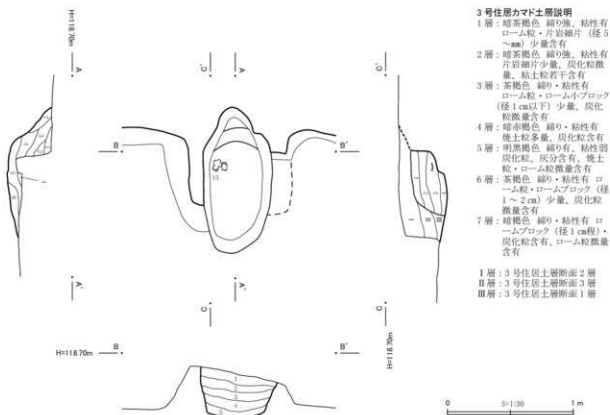
2層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・ローム小ブロック（径1～2cm）含有、炭化粒微量、焼土粒カマド付近に若干含有

3層：暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒微量含有

4層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒微量、ローム風化土少量含有

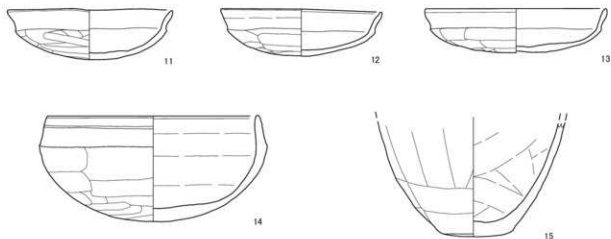
5層：褐色 細り有、粘性弱 ローム粒少量、ローム風化土斑点状に含有

第8図. 2号住居、及び出土遺物



第9図. 3号住居





第10図 3号住居出土遺物

## 2号住居（第8図、第2表、PL-3・17）

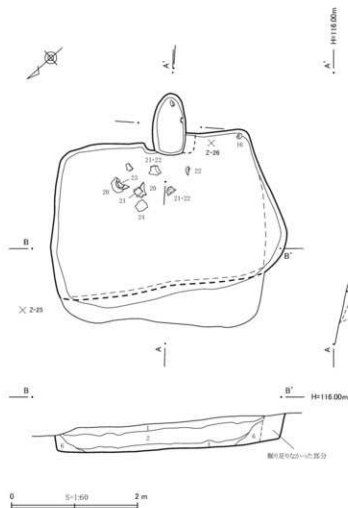
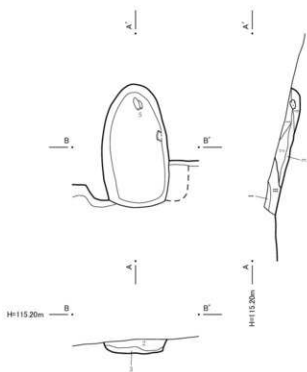
**位置** 調査区南西部、S-25に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸N-27°-E、長軸（南北）3.6×短軸（東西）3.5×深さ0.4mを測る。**重複遺構** 南東部で重複する27号住居を切っている。**覆土** ローム粒・ロームブロック含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と判断される。**カマド** 北辺中央部に付設されているが、袖が残存する楕円形の燃焼部が確認されている。確認状況において長軸97×短軸37cm、床面からの深さ11cmを測る。**貯蔵穴** カマド左脇（北西角）に検出され、径55cm程を測る円形を成す。**柱穴** 径30cm程を測る楕円形のビットが北東角、貯蔵穴の南、東壁寄り中央付近の3箇所で見出された。**遺物** 掲載遺物3点。その他土師器小破片が数点出土している。

## 3号住居（第9・10図、第2表、PL-3・17）

**位置** 調査区南端部中央付近、X-25に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸N-19°-E、長軸（南北）3.7×短軸（東西）3.4×深さ0.7mを測る。**覆土** ローム粒・ロームブロック・炭化粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺東寄りに付設されている。袖が残存する楕円形の燃焼部と僅かに煙道部が確認されている。確認状況において燃焼部は長軸99×短軸54cm、床面からの深さ27cmを測る。煙道部は燃焼部の28cm上から壁外へ延びている。**柱穴** 径45×30cm程を測る楕円形のビットが北西寄り、南西寄りの2箇所、径30cmの円形のビットが南壁際中央部に検出された。**遺物** 掲載遺物5点。その他土師器小破片が数十点出土している。

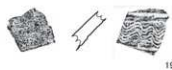
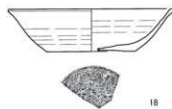
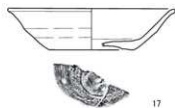
## 4号住居（第11・12図、第2表、PL-4・17・18）

**位置** 調査区南端部中央付近、Z-26に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、東辺にカマドが付設されている。主軸N-131°-E、長軸（南北）3.4×短軸（東西）2.5×深さ0.7mを測る。**覆土** ローム粒含有の明褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 東辺南寄りに付設されている。楕円形の窪みが認められるが、詳細は不明である。確認状況において長軸98×短軸53cm、床面からの深さ19cmを測る。**備考** 貯蔵穴、柱穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物9点。その他土師器小破片が多数出土している。



#### 4号住居カマド土層説明

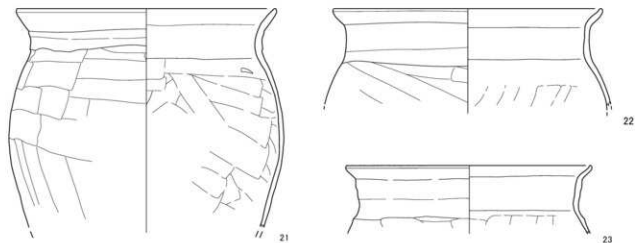
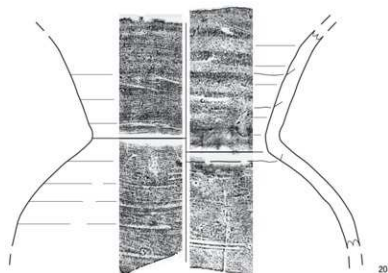
- 1層: 暗茶褐色 細り強、粘性有 焼土粒含有、ローム粒・焼土ブロック (径2~3cm) 微量含有
- 2層: 暗褐色 細り強、粘性有 ローム粒・焼土粒・炭化粒微量含有
- 3層: 暗褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒・ローム小ブロック微量含有
- 4層: 暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒微量含有
- I層: 4住5層
- II層: 4住2層



#### 4号住居土層説明

- 1層: 明褐色 細り・粘性若干有 ローム粒・焼土粒・炭化粒若干含有
- 2層: 明褐色 細り・粘性若干有 ローム粒多量含有
- 3層: 暗黄褐色 細り・粘性有 ロームブロック (径1~3cm) 多量含有
- 4層: 暗褐色 細り・粘性有 炭化粒若干含有
- 5層: 暗褐色 細り・粘性有 炭化粒多量含有
- 6層: 黄褐色 細り・粘性有 ローム炭化土
- 7層: 黄褐色 細り・粘性有 Aa=YP含有ロームブロック (径1~3cm) 多量含有 地山

第11図 4号住居、及び出土遺物1



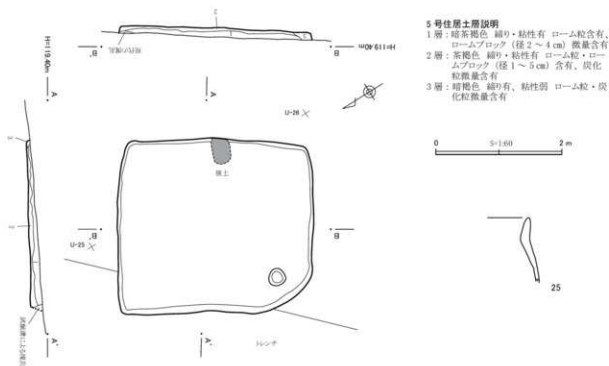
第12図. 4号住居出土遺物2

#### 5号住居 (第13図、第2表、PL-4・18)

**位置** 調査区南西部、U-25に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、主軸N-23° -E、長軸(南北)3.8×短軸(東西)3.5×深さ0.7mを測る。**覆土** ローム粒・ロームブロック含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 東辺中央部に焼土が認められる。カマドの痕跡と考えられるが不明瞭である。**柱穴** 南西隅に径35cm程の円形のピットが検出された。**遺物** 掲載遺物2点。その他土師器小破片が多数、須恵器小破片が数点出土している。

#### 6号住居 (第14・15図、第2表、PL-4・18)

**位置** 調査区南西、X-29に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、南辺にカマドが付設されている。主軸N-122° -E、長軸(南北)3.1×短軸(東西)2.8×深さ0.6mを測る。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**貯蔵穴** 北東隅に検出され、84×63cm、深さ20cmを測る楕円形を成す。中からは33が伏せられた状態で出土している。**柱穴** 径27～32cmを測る円形のピット



第13図. 5号住居、及び出土遺物

トが南辺両隅の2箇所で見出された。遺物 掲載遺物11点。その他土師器小破片が多数、須恵器破片が1点出土している。

#### 7号住居 (第16図、第2表、PL-4・19)

**位置** 調査区南西部、V-28に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸N-33° -E、長軸(東西)3.0×短軸(南北)2.9×深さ0.6mを測る。**重複遺構** 南辺で重複する28号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・ローム小ブロック・炭化粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺西寄りに付設されている。袖が残存する楕円形の燃焼部と僅かに煙道部が確認されている。確認状況において燃焼部は長軸105×短軸47cmを測り、床面との差はほとんどない。煙道部は燃焼部の21cm上から壁外へ延びている。**備考** 貯蔵穴・柱穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物6点。その他土師器小破片が数十点、須恵器小破片が数点出土している。

#### 8号住居 (第17・18図、第2表、PL-5・19)

**位置** 調査区南西部、W-27に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、東辺にカマドが付設されている。主軸N-116° -E、長軸(東西)2.7×短軸(南北)2.5×深さ0.6mを測る。**重複遺構** 北西部で重複する62号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の明黒褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 東辺中央部に付設されている。楕円形の窪みが認められるが、詳細は不明である。確認状況において燃焼部は長軸120×短軸65cm、床面からの深さ15cmを測る。**遺物** 掲載遺物14点。その他土師器小破片が多数、須恵器小破片が数点出土している。

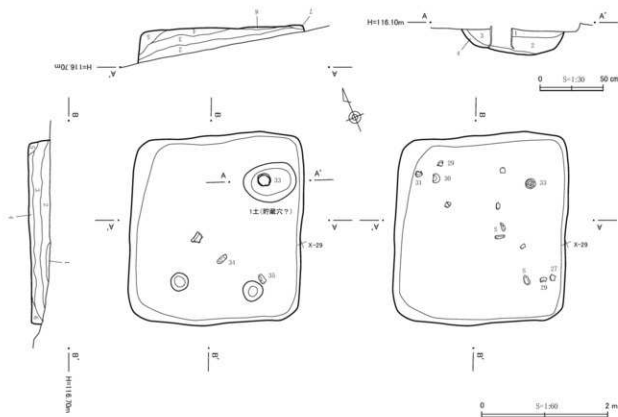
9号住居 (第19図、第2表、PL-5・19)

**位置** 調査区南西部、U-28に位置する。**形状・規模** 東側1/2程が試掘トレンチによって削平されており詳細は不明であるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-25°-E、南北3.5×東西2.3×深さ0.5mを測る。**重複遺構** 西壁際を除くほとんどの部分が28号住居の上方に構築されている。また、西壁中央付近で重複する63号土坑に切られている。なお、南西部で重複する72号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の明黒褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。

**備考** カマド・貯蔵穴・柱穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物9点。その他土師器小破片が多量、須恵器小破片が数点出土している。

10号住居 (第20図、第2表、PL-5・19)

**位置** 調査区南西部、R-27に位置する。**形状・規模** 平面は台形を成し、主軸N-55°-E、南北3.2/2.6×東西3.2×深さ0.2mを測る。**重複遺構** 北東部で重複する64号土坑に切られている。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の明黒褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**柱穴** 径20～30cm程のピットが南北壁際の2箇所で見出された。**備考** 中央部で89×62×深さ11cmの土坑が見出された。その他周溝が一部見出された。**遺物** 掲載遺物2点。その他土師器小破片が多量、須恵器破片が3点出土している。



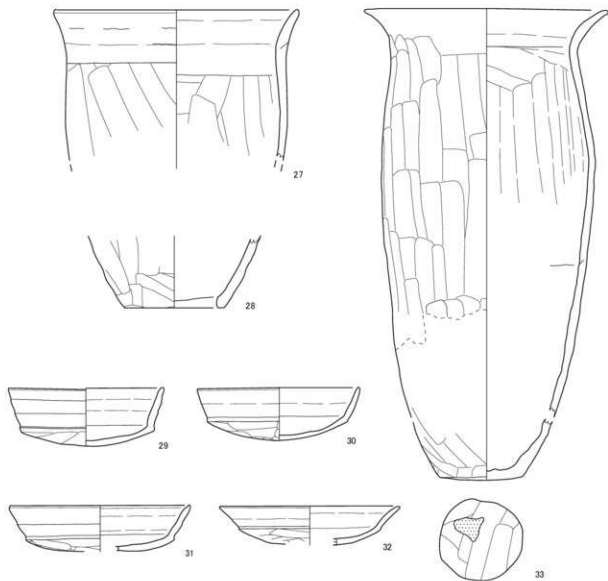
6号住居土層説明

- 1層: 明褐色 細り・粘性弱 ローム粒少量、Ar-A 微量含有
- 2層: 茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量含有
- 3層: 茶褐色 細り有・粘性弱 ローム粒・炭化粒少量、ロームブロック (径2～3cm) 微量含有
- 4層: 暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒・焼土粒微量含有
- 5層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径1cm以下) 含有 炭化粒微量含有
- 6層: 暗褐色 細り有・粘性弱 ローム粒少量、炭化物極微量含有
- 7層: 暗褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・焼土粒微量含有
- 8層: 明褐色 細り有 ロームブロック (径1～2cm)・ローム粒・炭化粒少量含有

9号住居貯蔵穴土層説明

- 1層: 暗褐色 細り有・粘性弱 焼土粒多量、ローム粒・炭化粒少量含有
- 2層: 暗赤褐色 細り有・粘性弱 焼土粒・焼土ブロック多量、炭化粒・ローム粒少量含有
- 3層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径1cm以下) 含有、炭化粒微量含有
- 4層: 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有

第14図 6号住居



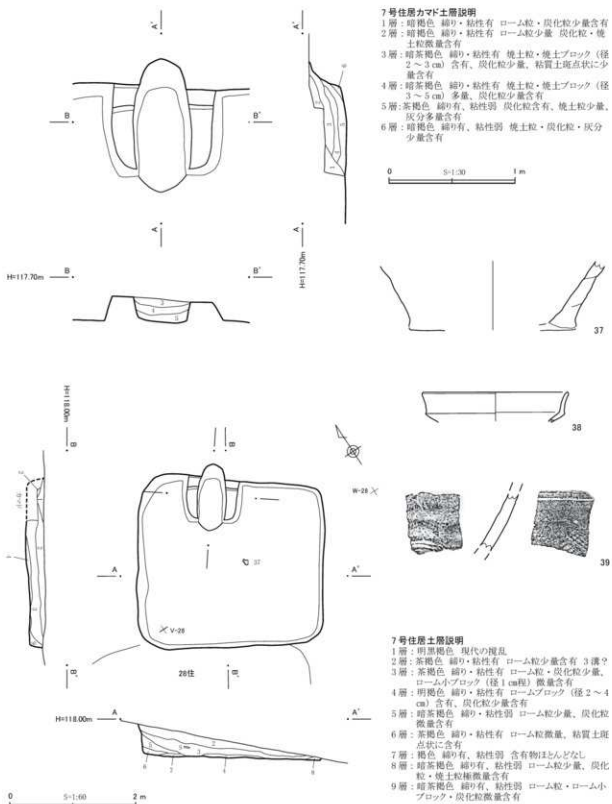
第15図. 6号住居出土遺物

11号住居 (第21図、第2表、PL-5・19)

**位置** 調査区南西部、R-28に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸N-10°-E、長軸(東西)3.5×短軸(南北)2.8×深さ0.5mを測る。**重複遺構** 13・14号住居の上方に構築されている。また、西寄りを2号溝に切られている。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺東寄りに付設されている。袖が残存する楕円形の焼成部が確認されている。確認状況において長軸80×短軸50cm、床面からの深さ5cmを測る。**柱穴** 径20～30cm程のピットが南北壁際の2箇所で検出された。**周溝** 北西角から南東角にかけて幅15×深さ6cmの溝が確認された。**備考** 貯蔵穴・柱穴は確認されていない。**遺物** 掲載遺物2点。その他土師器小破片が数十点出土している。

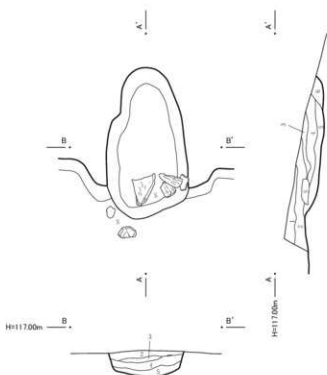
12号住居 (第22図、第2表、PL-5・19)

**位置** 調査区南西部、R-29に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、主軸N-11°-E、長軸(東西)3.3×短軸(南北)2.5×深さ0.3mを測る。**重複遺構** 14・16号住居の上方に構築されている。また、南東



第16図. 7号住居、及び出土遺物

角を2号溝に切られている。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**備考** カマド・貯蔵穴・柱穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物5点。土師器小破片が数十点、須臾器小破片が数点出土している。



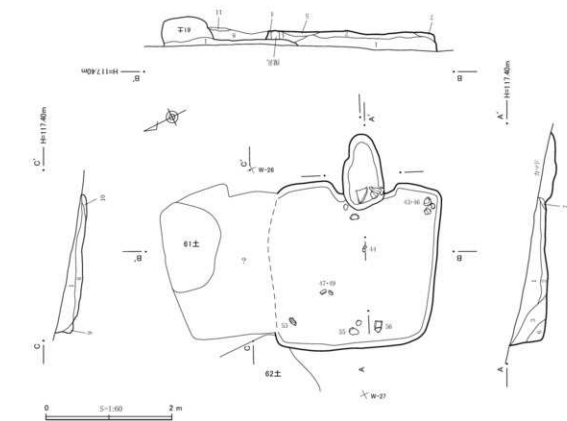
#### 8号住居カマド土層説明

- 1層: 暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ロームブロック (径2~3cm) 微量含有
- 3層: 赤褐色 緋り有、粘性弱 焼土ブロック主体 炭化粒若干含有
- 4層: 暗褐色 緋り・粘性有 焼土粒・炭化粒少量含有
- 5層: 暗茶褐色 緋り有、粘性弱 炭化粒少量、ローム粒・焼土粒微量、灰分含有
- 6層: 褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、焼土粒極微量含有

0 5:1.00 1 m

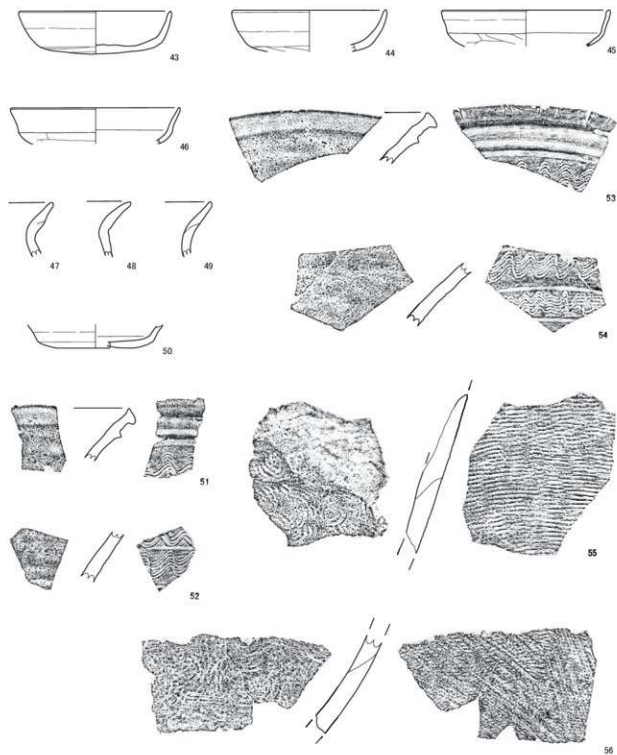
#### 8号住居土層説明

- 1層: 黒褐色 緋り有、粘性弱 ローム粒含有、ローム小ブロック (径1cm程)、炭化粒微量含有
- 1層: 明黒褐色 緋り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒・焼土粒微量含有
- 3層: 暗茶褐色 緋り・粘性弱 ローム粒少量、ローム小ブロック (径1cm以下) 微量、炭化粒極微量含有
- 4層: 明黒褐色 緋り・粘性弱 ローム粒・炭化粒微量、褐色土斑点状に含有
- 5層: 明褐色 緋り有、粘性弱 ローム粒・ロームブロック (径2~3cm) 多量、炭化粒微量含有
- 6層: 茶褐色 緋り有、粘性弱 ローム粒含有、ローム小ブロック (径1cm程) 微量含有
- 7層: 茶褐色 緋り有、粘性弱 ローム粒・焼土粒・炭化粒微量含有
- 8層: 明褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm以下) 少量含有
- 9層: 褐色 緋り・粘性弱 ローム粒微量含有
- 10層: 茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 11層: 暗黄褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径2cm程) 多量含有



第17図. 8号住居

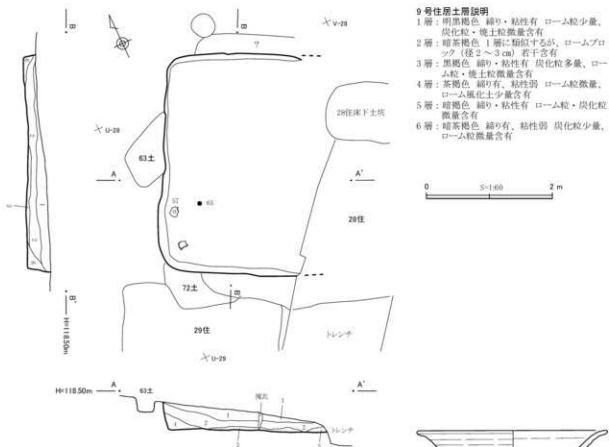




第18図 8号住居出土遺物

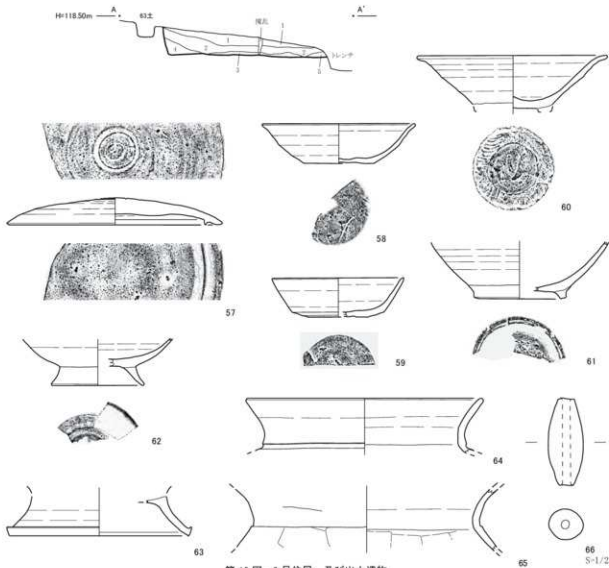
13号住居 (第23・24図、第2表、Pl-6・20)

**位置** 調査区南西部、S-29に位置する。**形状・規模** 北～東壁は検出されていないが、平面は方形を成すと思われる。西辺にカマドが付設される。確認状況において主軸 N-21° -E、長軸(東西)4.7×短軸(南北)4.2×深さ0.3mを測る。**重複遺構** 11号住居の下方、14号住居の上方に構築され、南1/2程度は重複する16号住居を切っている。また、南寄りる2号溝に切られている。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土

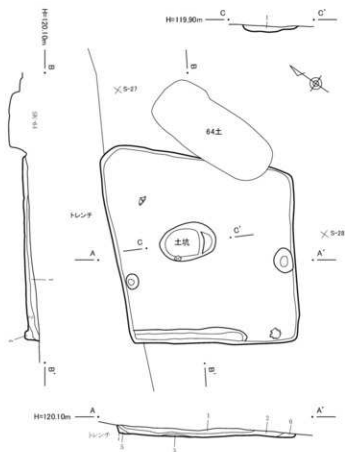


9号住居土層説明

- 1層：明褐色 細砂・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・焼土粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 1層に類似するが、ロームブロック (径2~3cm) 若干含有
- 3層：黒褐色 細砂・粘性有 炭化粒多量、ローム粒・焼土粒微量含有
- 4層：茶褐色 細砂有、粘性弱 ローム粒微量、ローム風化土少量含有
- 5層：暗褐色 細砂・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 6層：暗茶褐色 細砂有、粘性弱 炭化粒少量、ローム粒微量含有



第19図. 9号住居、及び出土遺物



#### 10号住居土層説明

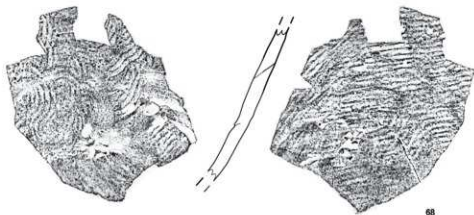
1層：茶褐色 細り・粘性有 焼土粒・ローム粒含有、粘質土塊点状に含有  
※伊ではなく、土埃と判明

#### 10号住居土層説明

- 1層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm程）含有、炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ロームブロック（径2～3cm）・焼土粒微量含有
- 3層：暗茶褐色 細り強、粘性有 焼土粒・ローム粒含有、炭化粒少量含有
- 4層：暗褐色 細り・粘性弱 ローム粒・炭化粒少量含有
- 5層：暗褐色 細り有、粘性弱 ローム粒少量含有
- 6層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒微量含有



67



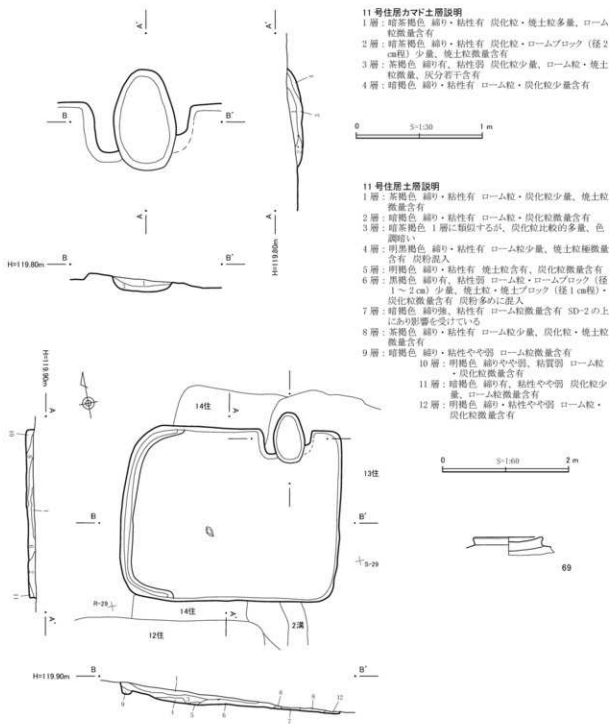
68

第20図. 10号住居、及び出土遺物

粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。カマド 西辺に付設されているが、燃焼部と考えられる短い舌状の突出部が確認されている。確認状況において縦34×横72cmを測り、床面との差は認められない。備考 貯蔵穴・柱穴は確認されていない。遺物 掲載遺物9点。その他土師器小破片が多量、須恵器破片が1点出土している。

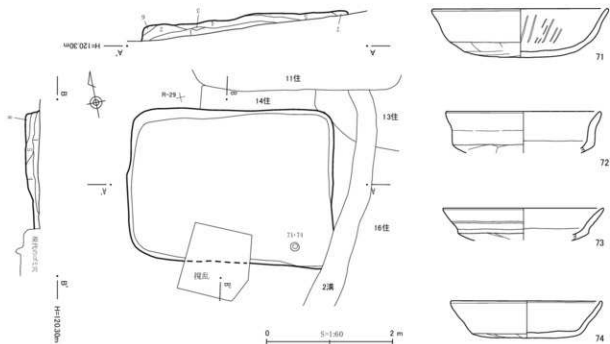
14号住居（第25図、第2表、PL-6・20）

位置 調査区南西部、R-28に位置する。形状・規模 東側2/3以上が13号住居によって切られているた



第21図 11号住居、及び出土遺物

め不明瞭であるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-21° -E、南北5.6×東西2.1×深さ0.3mを測る。**重複遺構** 11・12号住居の下方に構築され、東2/3程を重複する13号住居に切られている。なお、南東部に重複する16号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・ロームブロック・炭化粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**柱穴** 径40～55cm程の円形のピットが方形に配されている。**周溝** 幅15×深さ10cm程の溝が確認された。**遺物** 掲載遺物3点。その他土師器小破片が数十点出土している。



#### 12号住居土層説明

- 1層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、ロームブロック（径1 cm程）極微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径2～4 cm）少量、炭化粒微量含有
- 3層：暗褐色 細り・粘性やや強 ローム粒・炭化粒微量、粘質土若干含有
- 4層：暗茶褐色 細り・粘性有 ロームブロック（径1～3 cm）少量、ローム粒・炭化粒微量含有
- 5層：茶褐色 細り・粘性やや弱 ローム粒・ローム小ブロック（径1 cm程）・炭化粒微量、焼土粒極微量含有
- 6層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～2 cm）微量含有
- 7層：明褐色 細り有、粘性弱 ローム粒微量含有
- 8層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有

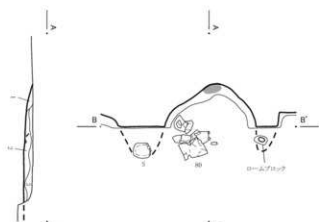
第22図 12号住居、及び出土遺物

#### 15号住居（第26図、第2表、PL-6・20）

**位置** 調査区南西部、R-30に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸N-118°-E、長軸（東西）3.4×短軸（南北）3.1×深さ0.5mを測る。**重複遺構** 東壁から南東部にかけて30・41号住居を切り、北寄りを横切るように2号溝が切っている。なお、北西角で接する16号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・白色テフラ含有の暗黄褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺東寄りに付設されている。楕円形の窪みが確認されているが、詳細は不明である。確認状況において長軸70×短軸57 cm、床面からの深さ15 cmを測る。**貯柱穴** 径30 cm程のピットが南西隅で検出された。なお、カマド右脇、北東隅に検出された62×56 cm、深さ43 cmを測る円形のピットは断面形状から柱穴の可能性が高い。**周溝** 南東角から南西角付近にかけて幅13×深さ10 cmの溝が確認された。**遺物** 掲載遺物10点。その他土師器小破片が数十点出土している。

#### 16号住居（第27図、第2表、PL-7・20）

**位置** 調査区南西部、S-29に位置する。**形状・規模** 北～東壁は検出されていないが、平面は方形を成すと思われる。主軸N-11°-E、深さ0.5m程を測るが、規模は不明である。**重複遺構** 西壁から北東角にかけて11・12号住居に、北側を13号住居に、西端部を2号溝に切られている。なお、南西角で接する15号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**柱穴** 径38～52 cmを測る円形のピットが方形に配されている。**周溝** 南東角から南西角付近にかけて幅13×深さ10 cmの溝が確認された。**遺物** 掲載遺物2点。その他土師器小破片が数十点出土している。**備考** カマド・貯蔵穴は確認されていない。



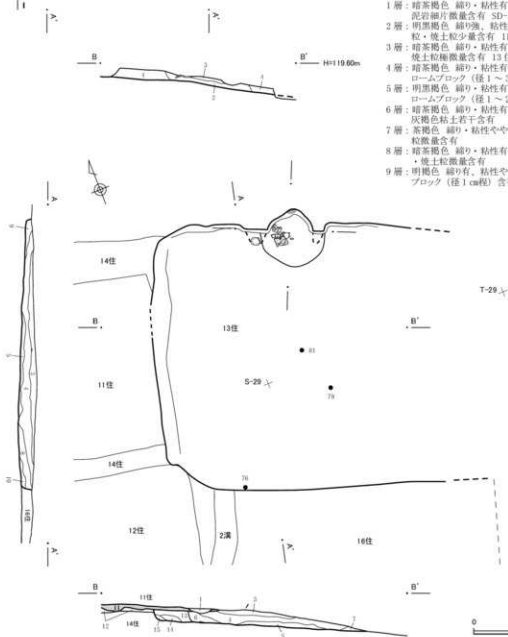
### 13号住居カマド土層説明

- 1層：橙茶褐色 細りやや強、粘性有 焼土粒（1mm以下）中量、ローム粒（1mm程）微量含有
- 2層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒（1～2mm）多量、焼土粒（1～2mm）少量、炭化粒（1mm以下）微量含有  
ロームブロック（1cm程）疎りに散る
- 3層：灰茶褐色 細りやや強、粘性有 灰色系粘質土主体 砂泥（1mm程）少量、ローム粒（1mm程）微量含有 カマド噴出物
- 4層：暗黄茶褐色 細りやや強、粘性有 ローム粒（1mm程）中量含有 理の戻し土？



### 13号住居土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、泥岩細片微量含有 SD-2下部
- 2層：明黒褐色 細り強、粘性有 炭化粒多量、ローム粒・焼土粒少量含有 11住床 11層
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、焼土粒微量含有 13住
- 4層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ロームブロック（径1～3cm）・焼土粒微量含有
- 5層：明黒褐色 細り・粘性有 炭化粒多量、焼土粒・ロームブロック（径1～2cm）・ローム粒少量含有
- 6層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、灰褐色粘土若干含有
- 7層：茶褐色 細り・粘性やや弱 ローム粒含有、炭化粒微量含有
- 8層：暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒・焼土粒微量含有
- 9層：明褐色 細り有、粘性やや弱 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm程）含有、炭化粒微量含有



10層：褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、ロームブロック（径2cm程）微量含有

11層：明黒褐色 固く締まっている ロームブロック多量含有 11住貼床

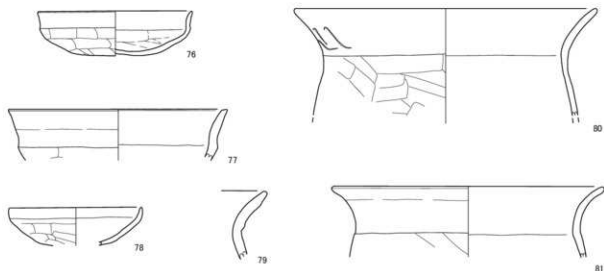
12層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒含有、ローム小ブロック微量含有 14住

13層：暗茶褐色 6層と同じ

14層：明褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径2～3cm）多量含有

15層：褐色 細り・粘性やや弱 炭化粒少量、ローム粒・ローム小ブロック（径1cm以下）微量含有

第23図. 13号住居



第24図 13号住居出土遺物

#### 17号住居 (第28図、PL-7)

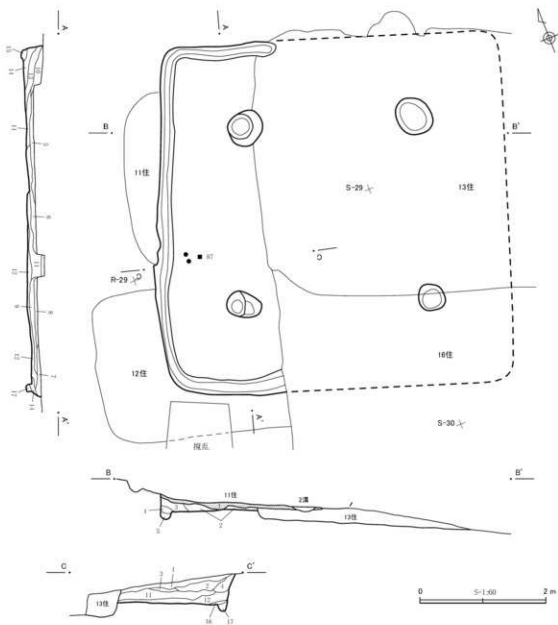
**位置** 調査区南西部、Q-30に位置する。**形状・規模** 残存状況が悪く詳細は不明であるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-17° -E、南北3.4×東西2.2×深さ0.3mを測る。**重複遺構** 西部は19号住居の上方に構築されている。北西部、東部で重複する20・30号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の黒色土を主体とする自然堆積と考えられる。**備考** 南壁際に径30cm程のピットが検出されているが、詳細は不明である。その他カマド、貯蔵穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物、出土遺物なし。

#### 18号住居 (第28図、第2表、PL-7・20)

**位置** 調査区南西部、S-22に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸N-43° -E、南北3.5×東西3.5×深さ0.3mを測る。**覆土** ローム粒・ロームブロック含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺中央付近に付設されている。壁内に燃焼部と思われる袖の残存する楕円形の窪みが確認されている。確認状況において長軸76×短軸47cm、床面からの深さ8cmを測る。**貯柱穴** カマド右脇、北東隅に検出された。径64×56cmを測る円形を成す。**柱穴** 径35～42cm程を測る円形のピットが方形に配されている。**周溝** カマド右脇から南西角付近にかけて幅20×深さ5cm程の溝が確認された。**遺物** 掲載遺物2点。その他土師器小破片が十数点出土している。

#### 19号住居 (第29・30図、第2表、PL-7・20)

**位置** 調査区南西部、P-30に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、東辺にカマドが付設されている。主軸N-117° -E、南北3.9×東西3.9×深さ0.7mを測る。**重複遺構** カマドを含む東部は17号住居の下方に構築されている。北部で重複する20号住居を切り、南部で重複する65号土坑に切られている。**覆土** ローム粒・ロームブロック・炭化粒含有の黄褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 東辺やや南寄り付設されている。壁内に禁口と思われる袖の残る楕円形の窪みを持ち、壁外に燃焼部と思われる舌状の突出部が確認されている。煙道部は不明である。確認状況において燃焼部は長軸80×短軸77cmを測り、床面と同レベルにある。禁口部は径53×39cm、床面からの深さ10cmを測る。**周溝** 北東角から西壁、南壁下1/2程度にかけて幅10×深さ5cm程の溝が確認された。**遺物** 掲載遺物8点。その他土師器小破片が多数、須恵器小破片が十数点出土している。



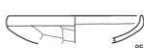
#### 14号住居 A-A・C-C 土層説明

- 1層：明黒褐色 締り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層：明黒褐色 締り、粘性弱 炭化粒含有、ローム粒・ロームブロック（径1～4cm）微量含有
- 3層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径3～5cm）含有
- 4層：暗茶褐色 締り有、粘性やや弱 ローム粒少量、炭化粒・ローム小ブロック（径1cm程）微量含有
- 5層：明黒褐色 締り強、粘性有 炭化粒多量、ローム粒・ロームブロック（径2～5cm）少量、焼土粒微量含有
- 6層：暗茶褐色 締り強、粘性有 ローム粒・ロームブロック（径3cm程）多量、炭化粒少量含有
- 7層：暗黄褐色 硬質で粘性有 大型ロームブロック（径5～8cm）主体
- 8層：暗茶褐色 締り強、粘性有 ローム粒・炭化粒・ロームブロック（径2～4cm）含有
- 9層：茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒・ロームブロック（径1～2cm）少量含有
- 10層：茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・焼土粒微量含有
- 11層：暗茶褐色 締り・粘性弱 ローム粒・炭化粒微量含有
- 12層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒・ローム小ブロック（径1cm以下）微量、灰褐色粘質土若干含有
- 13層：明褐色 締り有、粘性やや弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 14層：茶褐色 締り・粘性弱 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm以下）少量含有

- 15層：褐色 締り・粘性有 ローム粒少量含有
- 16層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、灰褐色粘質土若干含有
- 17層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、IP種微量含有

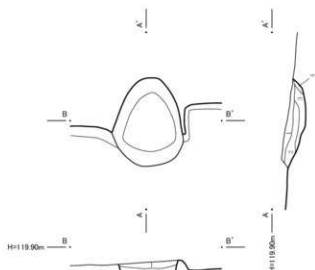
#### 14号住居 B-B' 土層説明

- 1層：明黒褐色 固く締まっている ロームブロック多量含有 11住居床
- 2層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒含有、ローム小ブロック微量含有
- 3層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 4層：褐色土 締り・粘性有 ローム粒少量、ロームブロック微量含有
- 5層：締り弱、粘性有 ローム粒・ローム小ブロック含有



第25図. 14号住居





#### 15号住居カマド土層説明

- 1層: 暗褐色 細り・粘性有 焼土粒・炭化粒・ローム粒少量含有
- 2層: 暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒微量、粘質土斑点状に含有
- 3層: 暗茶褐色 細り有、粘性弱 焼土粒・炭化粒少量、ロームブロック (径1~2cm) 微量、灰分若干含有
- 4層: 茶褐色 細り・粘性有 炭化粒・ローム粒微量、灰分極少量含有

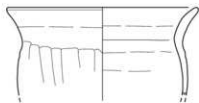
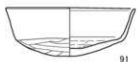
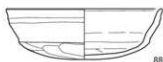
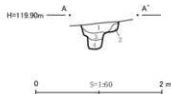
0 1m S:1:30

#### 15号住居P-1土層説明

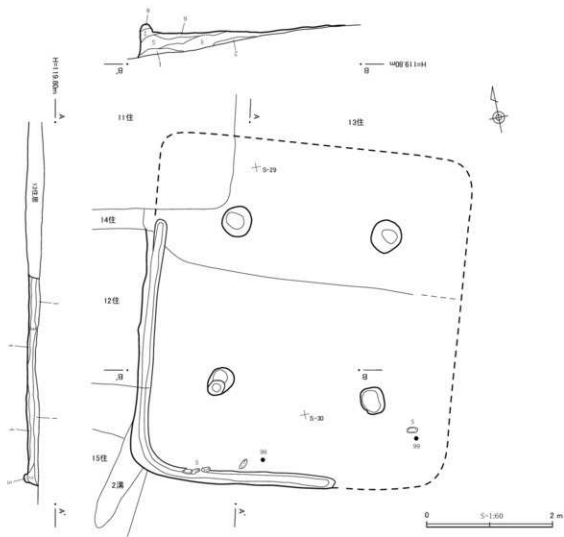
- 1層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・焼土粒微量含有
- 2層: 茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、ローム風化土含有
- 3層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1~2cm) 少量、炭化粒微量含有
- 4層: 暗茶褐色 細り有、粘性弱、やや砂質 ロームブロック (径2cm程)・炭化粒微量含有

#### 15号住居土層説明

- 1層: 暗黄褐色 細りやや硬、粘性なし ローム粒中量、白色テフラ少量含有
- 2層: 暗茶褐色 細りやや軟、粘性やや弱 ロームブロック (径1cm) 少量、ローム粒中量含有
- 3層: 暗茶褐色 細り軟、粘性やや弱 ローム粒中量、炭化物下に中量含有
- 4層: 暗黄褐色 細り軟、粘性やや弱 ロームブロック (径1cm) 少量、ローム粒多量含有
- 5層: 2層に近似
- 6層: 4層に近似
- 7層: 黒褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒少量、炭化物多量、焼土塊微量含有
- 8層: 2層に近似



第26図 15号住居、及び出土遺物

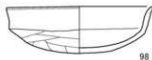


**16号住居 A-A' 土層説明**

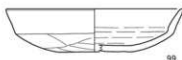
- 1層: 明褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 茶褐色 締り・粘性やや弱 ローム粒多量、ロームブロック (径2~3cm) 少量含有
- 3層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径1~4cm) 含有、炭化粒微量含有
- 4層: 暗褐色 締り強、粘性有 ローム粒少量、炭化粒・焼土粒・ローム小ブロック (径1cm以下) 微量含有
- 5層: 褐色 締り弱、粘性有 ローム粒・ローム小ブロック含有

**16号住居 B-B' 土層説明**

- 1層: 明黒褐色 締り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 明黒褐色 締り・粘性弱 炭化粒含有、ローム粒・ロームブロック (径1~4cm) 微量含有
- 3層: 暗茶褐色 締り有、粘性やや弱 ローム粒少量、炭化粒・ローム小ブロック (径1cm程度) 微量含有
- 4層: 暗茶褐色 締り有、粘性有 炭化粒多量、ローム粒・ロームブロック (径2~5cm) 少量、焼土粒微量含有
- 5層: 暗茶褐色 締り強、粘性有 ローム粒・ロームブロック (径3cm程度) 多量、炭化粒少量含有
- 6層: 暗茶褐色 硬質で粘性有 大型ロームブロック (径5~8cm) 主体
- 7層: 暗茶褐色 締り強、粘性有 ローム粒・炭化粒・ロームブロック (径2~4cm) 含有

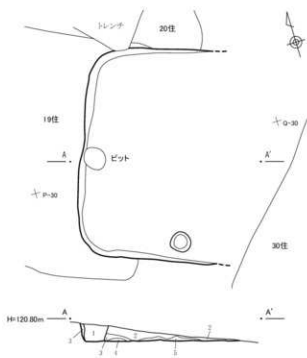


98



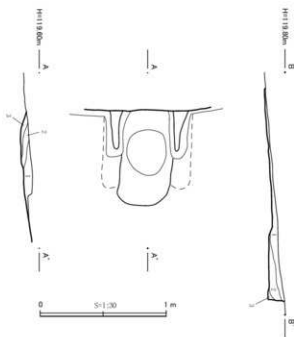
99

第27図. 16号住居、及び出土遺物



#### 17号住居土層説明

- 1層：明褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～2cm）含有、炭化粒少量含有 割ピット
- 2層：黒色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量、焼土粒微量含有
- 3層：黒褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 4層：明褐色 細り・粘性有 炭化粒微量、ローム風土若干含有
- 5層：暗褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・ロームブロック多量、炭化粒微量含有

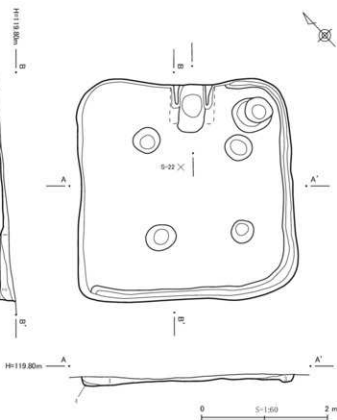


#### 16号住居カマド土層説明

- 1層：暗褐色 細り・粘性なし ローム粒多量、焼土粒・炭化粒少量、焼土ブロック（径1cm）含有
- 2層：暗褐色 細りやや有、粘性なし ローム粒・焼土ブロック（径1.5cm）中量、炭化物・焼土粒少量含有
- 3層：暗褐色 細りやや有、粘性なし ローム粒・焼土粒・焼土ブロック（径1.5cm）少量含有

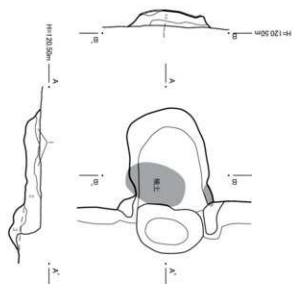
#### 18号住居土層説明

- 1層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・ロームブロック（径1cm以下）少量含有
- 2層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒含有
- 3層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒・ローム小ブロック（径1cm程）微量含有
- 4層：明褐色 細り・粘性有 ローム粒微量含有



第28図 17-18号住居、及び18号住居出土遺物





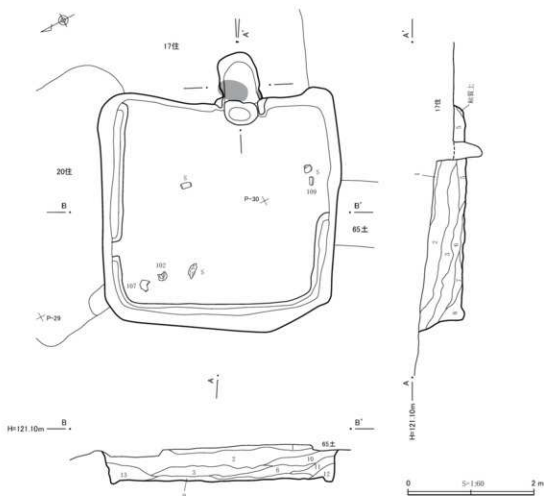
#### 19号住居カマド土層説明

- 1層：暗灰色 細りやや軟、粘性有 ロームブロック（径2.5cm）中量、ローム粒・焼土粒少量含有
- 2層：暗黄灰色 細りやや軟、粘性有 ロームブロック（径1cm）少量、ローム粒中量、焼土粒・炭化物少量含有
- 3層：暗黄褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒多量、焼土・炭化物中量含有



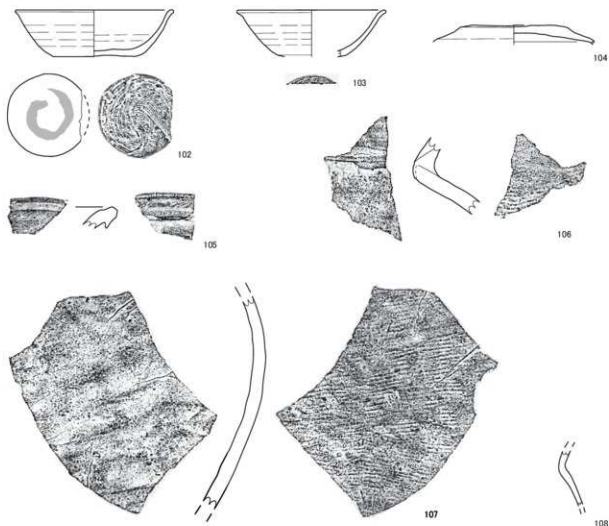
#### 19号住居土層説明

- 1層：暗黄褐色 細りやや軟、粘性低 ロームブロック（径1cm）少量、ローム粒中量、白色テフラ少量、炭化物微量含有
- 2層：暗黄褐色 細りやや軟、粘性低、ローム粒・ロームブロック（径1.5cm）中量、ロームブロック（径6cm）微量、白色テフラ少量、炭化物微量含有
- 3層：暗黄褐色 細り軟、粘性低 ローム粒・ロームブロック（径8cm）中量、白色テフラ少量、炭化物微量含有
- 4層：欠番
- 5層：黄褐色 細り軟、粘性やや高 ロームブロック（1.5cm）少量、炭化物・焼土微量含有
- 6層：暗黄褐色 細りやや軟、粘性低、ロームブロック（径1cm）少量、ローム粒多量、白色テフラ・焼土粒、炭化物微量含有
- 7層：暗黄灰色 細り軟、粘性低 ロームブロック（径1.5cm）少量、ローム粒多量、白色テフラ、炭化物微量含有



- 8層：暗黄褐色 ローム粒・ロームブロック（径4cm）少量含有
- 9層：黄褐色 細り軟、粘性低 ローム粒・ロームブロック（径1.5cm）少量、炭化物・焼土微量含有
- 10層：3層に近似
- 11層：6層に近似
- 12層：9層に近似
- 13層：9層に近似

第29図. 19号住居



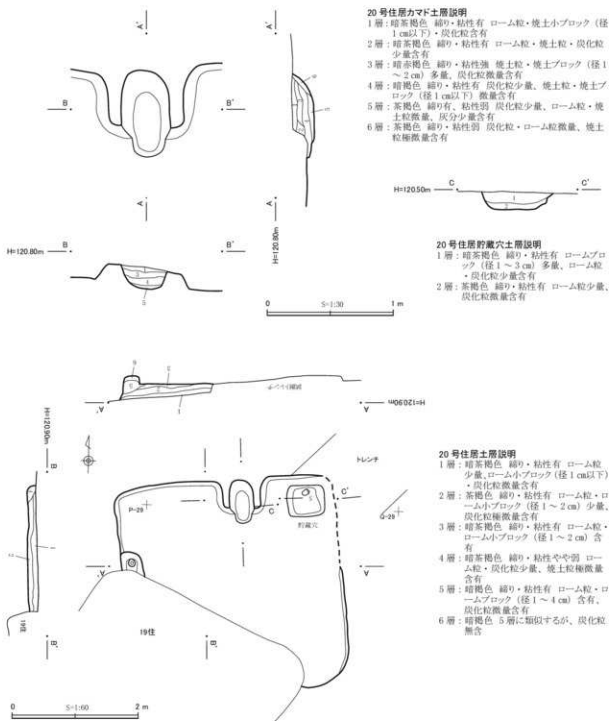
第30図 19号住居出土遺物

#### 20号住居 (第31図、PL-7)

**位置** 調査区南西部、P-29に位置する。**形状・規模** 南西部1/4程を欠くが、平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。確認状況において主軸N-2°-W、長軸(東西)3.6×短軸(南北)3.4×深さ0.2mを測る。**重複遺構** 南西部1/4程が重複する19号住居によって切られている。**覆土** ローム粒・ローム小ブロック・炭化粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺やや東寄りに付設されている。壁内に燃焼部と思われる袖の残存する楕円形の窪みが確認されている。確認状況において長軸69×短軸39cm、床面からの深さ6cmを測る。**貯柱穴** カマド右脇、北東隅に検出された。60×50cm、深さ14cmを測る方形を成す。**遺物** 掲載遺物なし。その他土師器小破片が数十点出土している。

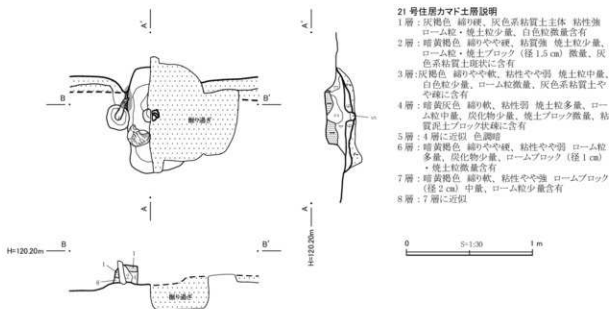
#### 21号住居 (第32・33図、第2表、PL-8・21)

**位置** 調査区南西部、P-31に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、東辺にカマドが付設されている。主軸N-139°-E、長軸(東西)4.0×短軸(南北)3.8×深さ0.5mを測る。**重複遺構** 南壁中央部で重複する86号土坑を切り、東壁沿いを南北に走る2号溝によって上方を切られている。なお、北壁中央部で重複する24号住居、北西角で重複する31号住居、南東角で重複する75号土坑、北東角で重複する76号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と



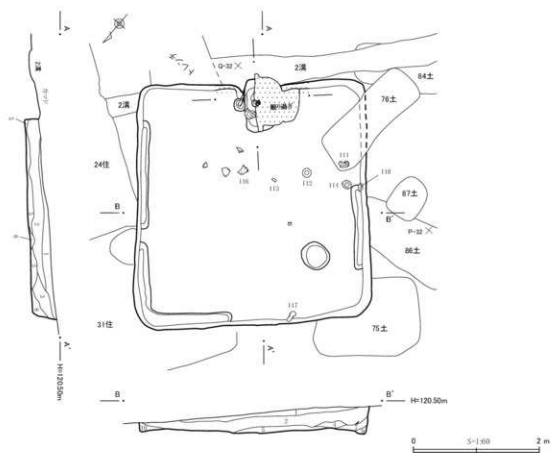
第31図. 20号住居

考えられる。カマド 東辺中央付近に付設されている。右側1/2以上が調査時に削平されていたが、壁内に燃焼部と思われる楕円形の窪みと、その中央部には支脚が据え付けられていたと思われる小孔が確認されている。また、残存する袖の先端部にも径20cmほどのピットが確認されている。確認状況において長軸84×短軸45cmを測り、床面との差はほとんどない。柱穴 径44cmを測る円形のピットが南東寄りに確認された。周溝 北壁下から西壁下中央付近にかけて、南壁の一部に幅18×深さ5cm程の溝が確認された。遺物 掲載遺物8点。その他土師器小破片が多量、須恵器破片が数十点出土している。



### 21号住居カマド土層説明

- 1層：灰褐色 細り硬、灰色系粘質土主体 粘性強  
ローム粒・焼土粒少量、白色粒微量含有
- 2層：暗黄褐色 細りやや硬、粘質強 焼土粒少量、  
ローム粒・焼土ブロック（径1.5cm）微量、灰  
色系粘質土斑状に含有
- 3層：灰褐色 細りやや軟、粘性やや弱 焼土粒中量、  
白色粒少量、ローム粒微量、灰色系粘質土や  
や硬に含有
- 4層：暗黄灰色 細り軟、粘性弱 焼土粒多量、ローム  
粒中量、炭化物少量、焼土ブロック微量、粘  
質泥土ブロック状塊に含有
- 5層：4層に近似 色調暗
- 6層：暗黄褐色 細りやや硬、粘性やや弱 ローム粒  
多量、炭化物少量、ロームブロック（径1cm）  
・焼土粒微量含有
- 7層：暗黄褐色 細り軟、粘性やや強 ロームブロック  
（径2cm）中量、ローム粒少量含有
- 8層：7層に近似

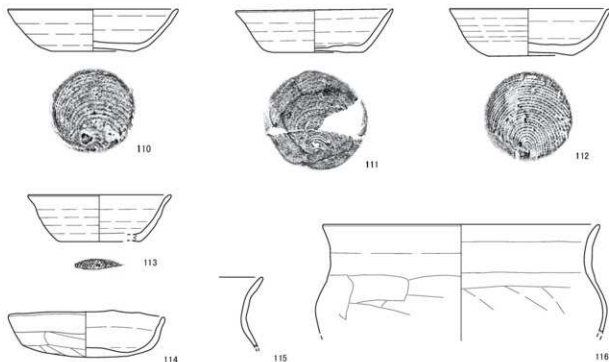


### 21号住居土層説明

- 1層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・ローム小ブロック  
（径1cm程）微量含有
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 4層：茶褐色 細り弱、粘性有 ローム粒・ロームブロック（径2cm程）  
含有
- 5層：明茶褐色 細り・粘性有 炭化粒多量、ローム粒少量、焼土粒微  
量含有

- 6層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 焼土粒・炭化粒含有
- 7層：暗茶褐色 5層に類似するが、色調明るく、ロームブロック（径1～  
2cm）若干含有
- 8層：暗褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒・ローム小ブロック（径  
1cm程）微量含有
- 9層：褐色 細り・粘性弱 ローム粒・ロームブロック（径1～2cm）少量、  
炭化粒微量含有
- 10層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒、ロームブロック少量、炭化粒微  
量含有

第32図 21号住居



第33図 21号住居出土遺物

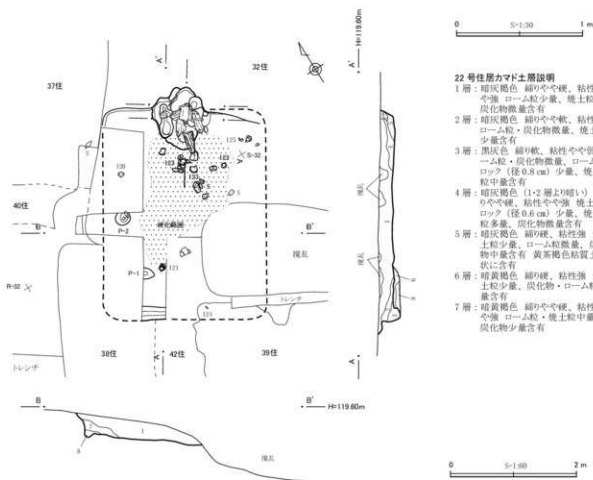
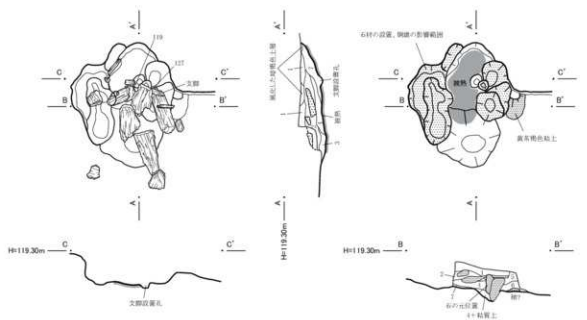
#### 22号住居 (第34・35図、第2表、PL-8・21)

**位置** 調査区南西部、S-32に位置する。**形状・規模** カマド以外は明瞭ではないが、平面は方形を成すと思われる。北辺にカマドが付設され、確認状況において主軸N-32°-E、長軸(南北)3.4×短軸(東西)2.6×深さ0.3mを測る。**重複遺構** 32・40号住居の上方に構築され、北西部で重複する37号住居、南部で重複する42号住居を切っている。なお、南部で重複する38・39号住居との新旧関係は不明であるが、検出状況から本遺構が新しいものと思われる。**覆土** ローム粒・焼土粒・炭化粒含有の暗灰褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺中央部に付設されている。壁内に焚口と思われる不整形の窪みを持ち、壁内外にかけて燃焼部と思われる舌状の突出部と、その中央部には支脚が据え付けられていたと思われる小孔が確認されている。煙道部は不明である。また、覆土中からは多数の礫が出土し、残存する袖部には構築時にこれらの礫を据え付けたと考えられる小穴が認められる。確認状況において長軸99×短軸50cm、床面からの深さ5cmを測る。**周溝** 南壁下の一部で幅20×深さ10cmの溝が確認された。**備考** カマド手前から中央付近にかけて硬化した床面が確認されている。**遺物** 掲載遺物10点。その他土師器小破片が多量、須恵器破片が数十点出土している。

#### 23号住居 (第36図、第2表、PL-8・9・21)

**位置** 調査区南西部、V-30に位置する。**形状・規模** 平面は方形を成し、南辺にカマドが付設されている。主軸N-168°-E、長軸(東西)2.4×短軸(南北)2.2×深さ0.5mを測る。**重複遺構** 60号土坑に切られている。70号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 南辺西端に付設されている。楕円形の燃焼部と僅かに煙道部が確認されている。確認状況において燃焼部は長軸70×短軸56cm、床面からの深さ11cmを測る。煙道部は燃焼部の10cm上から外へ延びている。**備考** 貯蔵穴、柱穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物8点。その他土師器小破片が多量出土している。





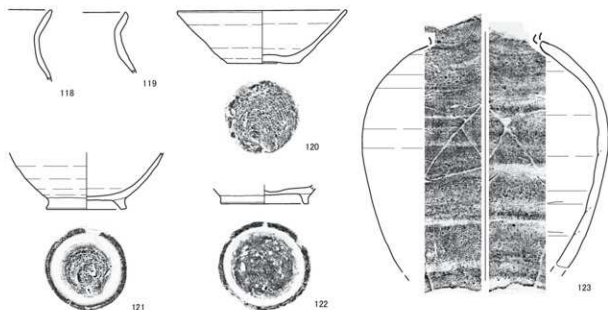
#### 22号住居カマド土層説明

- 1層：暗灰褐色 細りやや硬、粘性やや強、ローム粒少量、焼土粒・炭化物微量含有
- 2層：暗灰褐色 細りやや軟、粘性強、ローム粒・炭化物微量、焼土粒少量含有
- 3層：黒灰色 細り軟、粘性やや弱、ローム粒・炭化物微量、ロームブロック（径0.8cm）少量、焼土粒中量含有
- 4層：暗灰褐色（1・2層より暗い） 細りやや硬、粘性やや強、焼土ブロック（径0.6cm）少量、焼土粒多量、炭化物微量含有
- 5層：暗灰褐色 細り硬、粘性強、焼土粒少量、炭化物微量、炭化物中量含有、黄茶褐色粘質土斑状に含有
- 6層：暗黄褐色 細り硬、粘性強、焼土粒少量、炭化物・ローム粒微量含有
- 7層：暗黄褐色 細りやや硬、粘性やや強、ローム粒・焼土粒中量、炭化物少量含有

#### 22号住居土層説明

- 1層：黒褐色 細り硬、粘性弱、ローム粒・白色テフラ中量、焼土粒・炭化物少量含有
- 2層：暗黄褐色 細りやや硬、粘性やや強、ローム粒中量、焼土粒少量、炭化物微量含有
- 3層：暗黄褐色 細りやや硬、粘性やや強、ローム粒・焼土粒・炭化物少量含有
- 4層：2層に近似
- 5層：3層に近似するが、焼土粒・炭化物多量含有
- 6層：暗黄褐色 細り軟、粘性弱、ロームブロック（径0.7cm）・焼土粒・焼土塊微量含有
- 7層：2層に近似
- 8層：3層に近似
- 9層：暗黄褐色 細りやや硬、粘性やや弱、ロームブロック（径4cm）中量含有

第34図. 22号住居



第35図 22号住居出土遺物

#### 24号住居 (第37・38図、第2表、PL-9・21・22)

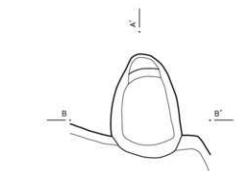
**位置** 調査区南西部、Q-31に位置する。**形状・規模** 東壁が不明瞭であるが、平面は方形を成し、東辺にカマドが付設されている。主軸N-120°-E、東西3.6×南北3.6×深さ0.6mを測る。**重複遺構** 北東部で重複する40・41号住居を切り、中央部を南北に走る2号溝に切られている。なお、西側で重複する30・31号住居、南西角で重複する21号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒・白色粒含有の暗褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 東辺南寄りに付設されている。壁内に焚口、壁内外にかけて燃焼部と思われる袖部の残存する楕円形の窪みが確認されている。確認状況において長軸138×短軸72cm、床面からの深さ4cmを測る。煙道部は燃焼部の16cm上から外へ延びている。**貯蔵穴** 南壁際、やや東寄りに77×58cmを測る方形の掘り込みが確認された。**遺物** 掲載遺物17点。その他土師器小破片が多数、須恵器破片が数点出土している。

#### 25号住居 (第39図、第2表、PL-9・22)

**位置** 調査区南西部、R-33に位置する。**形状・規模** 北壁が不明瞭であるが、平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸N-36°-E、東西3.6×南北3.6×深さ0.5mを測る。**重複遺構** 南西部で重複する81号土坑を切っている。北東部で重複する38・39号住居、83号土坑、南部で重複する80号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・白色テフラ・赤化泥岩粒・白色泥岩粒含有の暗褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 痕跡が確認されたのみで詳細は不明であるが、北辺中央部に付設されていたと思われる。確認状況において112×104cmを測る。**周溝** 北西角と、東壁、南壁下1/2程度にかけて幅17×深さ10cm程の溝が確認された。**遺物** 掲載遺物8点。その他土師器小破片が多数出土している。

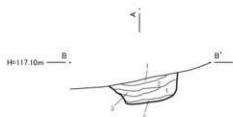
#### 26号住居 (第40図、第2表、PL-9・22)

**位置** 調査区南西部、S-26に位置する。**形状・規模** 北東角がトレンチによって削平されているが、平面は方形を成す。主軸N-2°-E、東西3.3×南北3.3×深さ0.2mを測る。**重複遺構** 西部で重複する27



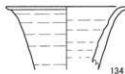
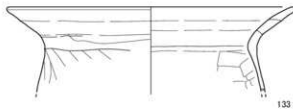
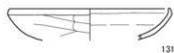
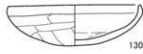
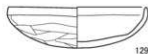
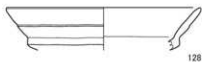
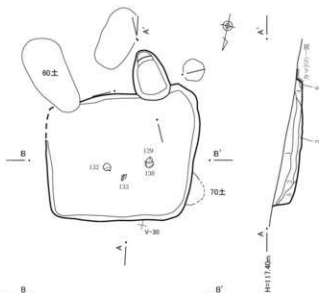
### 23号住居カマド土層説明

- 1層：暗茶褐色 締り・粘性有 炭化粒・焼土粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 締り・粘性有 炭化粒含有、ローム粒・焼土粒微量含有
- 3層：明茶褐色 締り強、粘性有 ロームブロック多量、炭化粒・焼土粒微量含有
- 4層：暗茶褐色 締り・粘性有 炭化粒多量、焼土粒・ローム粒少量、灰分若干含有
- 5層：暗灰褐色 締りなし、粘性強 焼土粒・炭化粒・灰褐色粘土少量含有
- 6層：暗褐色 締り有、粘性弱 ローム粒・焼土粒微量、ローム風化土少量含有

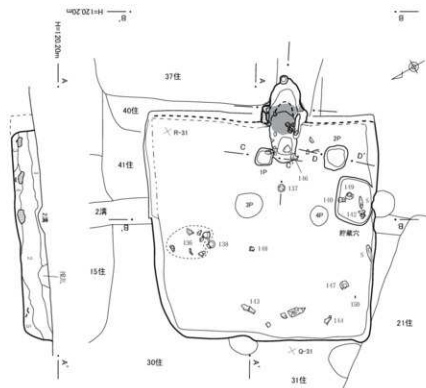
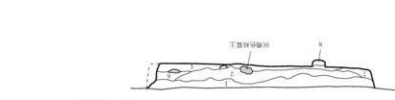


### 23号住居土層説明

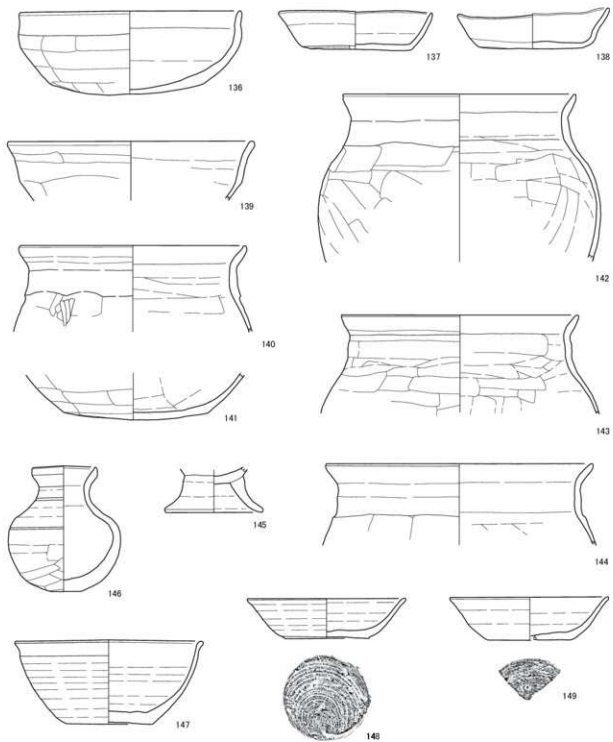
- 1層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、焼土粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 1層に類似するが、ローム小ブロック (径1cm程) 若干、炭化粒比較的多量含有
- 3層：暗茶褐色 (やや暗い) 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒・焼土粒少量、粘質土若干含有
- 4層：明黒褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、焼土粒微量含有 灰褐色粘土斑点状に含有
- 5層：茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 6層：明黒褐色 締り・粘性有 炭化粒多量、ローム粒・焼土粒微量含有
- 7層：暗褐色 締り・粘性弱 ローム粒微量含有
- 8層：褐色 締り・粘性弱 ローム粒・ロームブロック (径3~5cm) 含有、炭化粒微量含有



第36図 23号住居、及び出土遺物

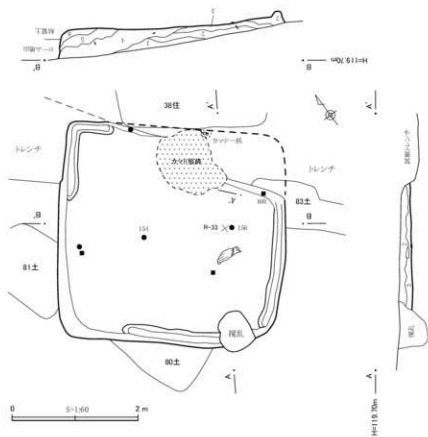


第37図. 24号住居



第38図 24号住居出土遺物

号住居を切っている。覆土 試掘トレンチによって削平されているため主体土の観察はできないが、僅かに残る堆積状況からは自然堆積の可能性が高い。備考 カマド・貯蔵穴・柱穴等は確認されていない。遺物 掲載遺物2点。その他土師器小破片が十数点出土している。

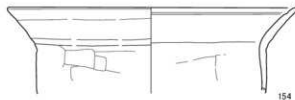


#### 25号住居土層説明

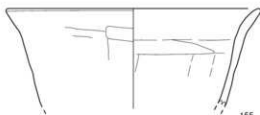
- 1層：暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒多量、焼土粒・白色テフラ少量含有
- 2層：暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒・白色テフラ中量、赤化した泥岩粒・白灰色泥岩粒少量含有
- 3層：暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒・白色テフラ少量、白灰色泥岩(径1.5cm) 微量含有
- 4層：暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒少量、焼土粒・炭化物微量、赤化した泥岩・白灰色泥岩(径1cm) 少量含有
- 5層：暗褐色 細り軟、粘性弱 ロームブロック(径1cm) 微量、ローム粒中量、白色テフラ少量含有
- 6層：暗褐色 細り非常に軟、粘性強 ローム粒中量、赤色粒少量含有
- 7層：暗褐色 細り軟、粘性やや強 ローム粒・赤色粒・泥岩粒・泥岩(径0.8cm) 少量含有



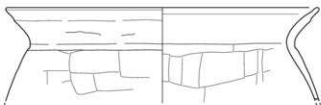
153



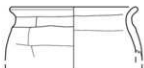
154



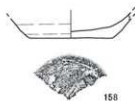
155



156



157

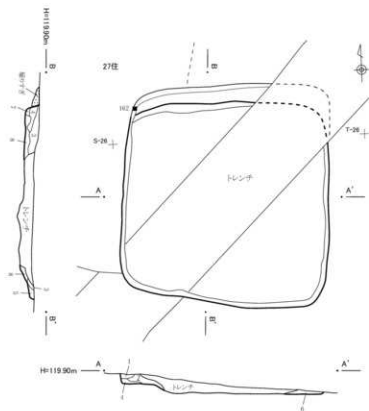


158



159

第39図 25号住居、及び出土遺物



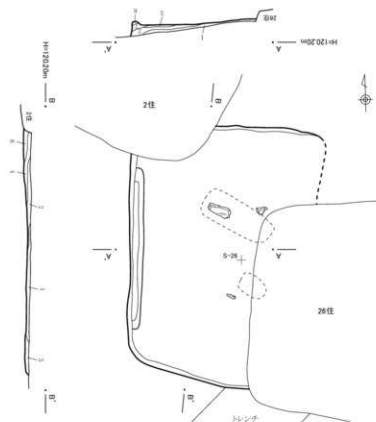
#### 26号住居土層説明

- 1層：現代の雑瓦
- 2層：茶褐色 締り強、粘性有 ローム粒・ロームブロック（径2cm程）多量含有
- 3層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・ローム小ブロック（径1cm程）微量含有
- 4層：茶褐色 締り・粘性有 ローム粒含有、炭化粒少量含有
- 5層：暗茶褐色 締り弱、粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～2cm）微量含有
- 6層：暗茶褐色 10層に類似するが、ロームブロックほとんど含まず締り有する
- 7層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒多量、炭化粒微量含有
- 8層：茶褐色 締り強、粘性有 ローム粒・ロームブロック（径2～4cm）多量、炭化粒微量含有

0 5-1.60 2 m



161



#### 27号住居土層説明

- 1層：暗茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒少量、粘土粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、ローム小ブロック（径1cm以下）炭化粒微量含有
- 3層：暗褐色 締り強、粘性有 炭化粒少量、ローム粒微量含有
- 4層：茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 5層：茶褐色 締り有、粘性弱 炭化粒微量、ローム風化土若干含有
- 6層：明褐色 5層に類似するが、ローム小ブロック（径1cm程）微量含有
- 7層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒・ローム小ブロック（径1cm程）微量含有
- 8層：暗褐色 締り・粘性有 炭化粒少量、ローム小ブロック（径1～2cm）微量含有

0 5-1.60 2 m

第40図 26・27号住居、及び26号住居出土遺物

#### 27号住居 (第40図、PL-9)

**位置** 調査区南西部、S-26に位置する。**形状・規模** 北西部、南東部が重複遺構によって削平されているが、平面は方形を成す。主軸 N-2° -E、長軸 (南北) 4.2 × 短軸 (東西) 3.1 × 深さ 0.2m を測る。**重複遺構** 北西部で重複する2号住居、南東部で重複する26号住居に切られている。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**周溝** 西壁下に幅 14 × 深さ 6 cm 程の溝が確認された。**遺物** 掲載遺物なし。その他土師器小破片が十数点出土している。

#### 28号住居 (第41・42図、第2表、PL-10・22)

**位置** 調査区南西部、V-29に位置する。**形状・規模** 東壁が不明瞭であるが、平面は方形を成し、東辺にカマドが付設されている。主軸 N-119° -E、東西 4.3 × 南北 4.3 × 深さ 0.6m を測る。**重複遺構** 9号住居の下方に構築されている。北壁を接する7号住居、南西部で重複する29号住居、72号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒・白色粒含有の暗褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。

**カマド** 東辺南寄りに付設されている。壁外に舌状に突出する窪みが確認されている。確認状況において長軸 106 × 短軸 75 cm を測り、床面から 10 cm 高い位置にある。**柱穴** 径 45 cm 程を測る円形のピットが北東隅、カマド手前左寄りに確認された。**備考** 北東寄りに長軸 126 × 短軸 96 × 深さ 34 cm を測る方形の床下土坑が確認された。**遺物** 掲載遺物 8 点。その他土師器小破片が多数、須臾器破片が 1 点出土している。

#### 29号住居 (第43図、第2表、PL-10・22)

**位置** 調査区南西部、U-29に位置する。**形状・規模** 北東部を28号住居、南東部をトレンチによって削平されているが、平面は方形を成す。主軸 N-119° -E、長軸 (東西) 2.6 × 短軸 (南北) 2.4 × 深さ 0.3m を測る。**重複遺構** 北東部で重複する28号住居、北壁で重複する72号土坑、南壁で重複する74号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・ロームブロック・炭化粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**備考** カマド・貯蔵穴・柱穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物 7 点。その他土師器小破片が多量出土している。

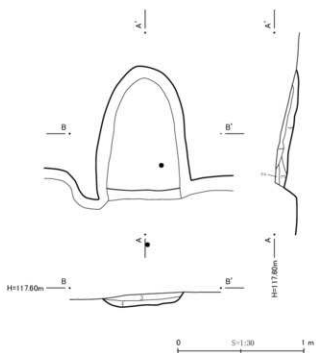
#### 30号住居 (第44図、PL-10)

**位置** 調査区南西部、Q-30に位置する。**形状・規模** 西端部を確認したのみであるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸 N-38° -E、南北 3.8 × 東西 1.6 × 深さ 0.2m を測る。**重複遺構** 北東部で重複する15号住居に切られている。なお、南東部で重複する24号住居、南部で重複する31号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の暗黄褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**備考** 北西寄りに径 50 cm 程のピットが検出されているが、詳細は不明である。また、カマド・貯蔵穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物なし。その他土師器小破片が数点出土している。

#### 31号住居 (第44図、PL-10)

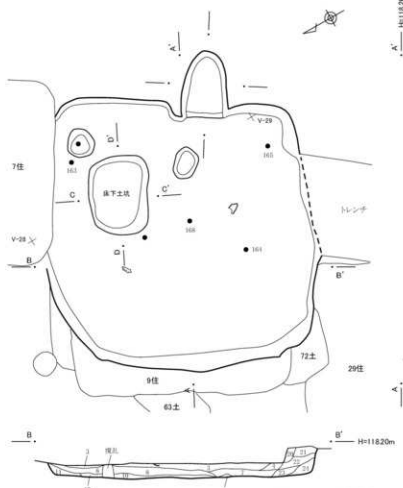
**位置** 調査区南西部、Q-31に位置する。**形状・規模** 西端部を確認したのみであるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸 N-37° -E、南北 2.6 × 東西 1.5 × 深さ 0.2m を測る。**重複遺構** 東部で重複する24号住居、南部で重複する21号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒含有の暗黄褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**備考** カマド・貯蔵穴・柱穴等は確認されて





#### 28号住居カマド土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 焼土粒・炭化粒含有、ローム粒微量含有
- 2層：明黒褐色 細り有、粘性弱 炭化粒含有、焼土粒微量含有
- 3層：茶褐色 細り有、粘性弱 炭化粒・焼土粒少量、灰分若干含有
- 4層：暗赤褐色 細り・粘性有 焼土粒・焼土小ブロック（径1cm以下）多量、炭化粒少量含有



第41圖 28号住居

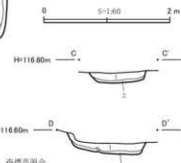
#### 28号住居土層説明

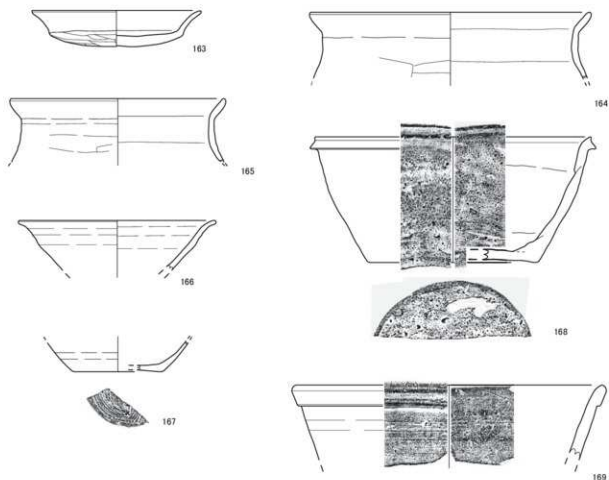
- 1層：暗茶褐色 細り強、粘性有 ローム粒・炭化粒少量、片岩粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1cm程）微量含有
- 3層：暗黄褐色 細り強、粘性有 ロームブロック（径5～10cm）多量、ローム粒・炭化粒微量含有
- 4層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・ローム小ブロック微量含有
- 5層：暗褐色 細り有、粘性やや弱 ローム粒少量、ローム風化土若干含有
- 6層：暗黄褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、灰褐色粘質土（地山）斑点状に少量含有
- 7層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径2～5cm）少量、炭化粒微量含有
- 8層：暗茶褐色 7層に類似するが、ロームブロック比較的少量含有
- 9層：暗灰褐色 細り・粘性強 地山灰褐色粘質土主体層
- 10層：暗黄褐色 細り強、粘性有 ローム粒含有、焼土粒・炭化粒・ロームブロック微量含有
- 11層：明褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～3cm）微量、ローム風化土少量含有
- 12層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒含有、ロームブロック（径1～2cm）・焼土粒微量含有 ビット
- 13層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・ロームブロック（径3cm程）微量含有 ビット
- 14層：明黒褐色 細り・粘性やや弱 ローム粒・ロームブロック（径2～5cm）・炭化粒微量、焼土粒微量含有 廻り方
- 15層：茶褐色 細り強、粘性有 ロームブロック（径3～5cm）多量、ローム粒・炭化粒少量、焼土粒微量含有 廻り方
- 16層：褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒極微量含有 廻り方
- 17層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm以下）微量、炭化粒極微量含有 廻り方
- 18層：暗黄褐色 細り・粘性やや弱 ロームブロック（径2～4cm）多量、炭化粒微量含有 廻り方
- 19層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm程）少量、炭化粒・焼土粒微量含有 ビット
- 20層：暗褐色 細りやや強、粘性有 ローム粒・焼土粒・炭化粒微量含有

- 21層：暗茶褐色 20層に類似するが、細りやや弱い
- 22層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径3～5cm）少量、焼土粒・炭化粒微量含有
- 23層：暗茶褐色 細り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒・ローム小ブロック（径1cm以下）微量含有
- 24層：暗茶褐色 細り・粘性有 やや弱 ローム粒・炭化粒微量、焼土粒極微量含有

#### 28号住居床下土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り有、粘性弱、やや砂質 ローム粒・ロームブロック（径2～4cm）少量、炭化粒微量含有
- 2層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、灰褐色粘質土若干含有





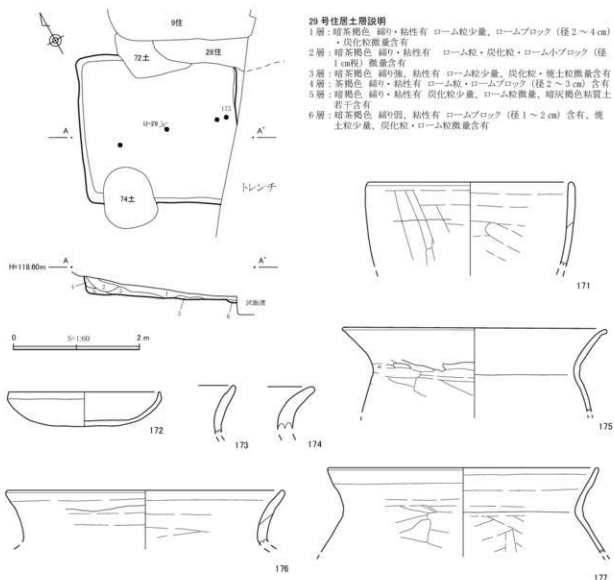
第42図. 28号住居出土遺物

いない。遺物 掲載遺物なし。その他土師器小破片が1点、礫が1点出土している。

### 32号住居（第45図、第2表、PL-10・22）

**位置** 調査区南西部、S-32に位置する。**形状・規模** 南東部が攪乱によって削平されているが、平面は方形を成し、北辺にカマドが付設されている。主軸 N-28° -E、長軸（東西）4.4 × 短軸（南北）3.4 × 深さ 0.4mを測る。**重複遺構** 22号住居の下方に構築され、西壁を接する37号住居に切られている。なお、南壁を接する38号住居との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 北辺中央部に付設されている。壁内に燃焼部と思われる袖部の残存する楕円形の窪みが確認されている。確認状況において長軸 122 × 短軸 78 cmを測り、床面との差はほとんどなく平坦である。煙道部は燃焼部の16 cm上から外へ延びている。**貯柱穴** カマド右脇、北東隅に検出され、69 × 68 cmを測る不整形円形を成す。**遺物** 掲載遺物5点。その他土師器小破片が多量、須恵器破片が数点出土している。

### 33・34号住居は欠番



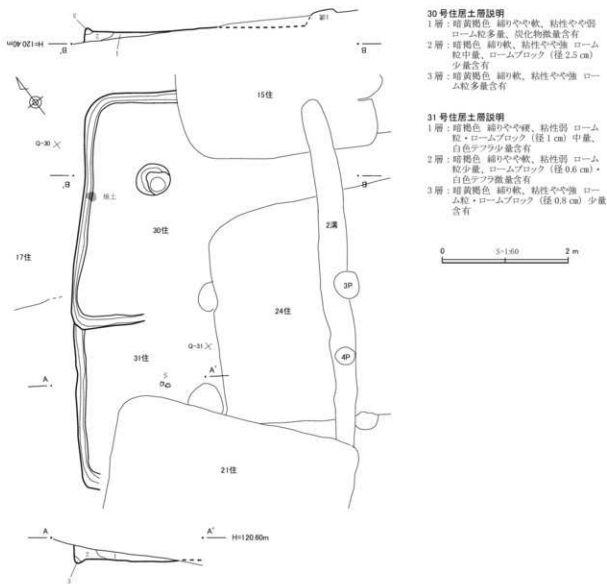
第43図. 29号住居、及び出土遺物

### 35号住居 (第46図、第2表、PL-11・22)

**位置** 調査区南西部、O-29に位置する。**形状・規模** 南西部1/2以上が調査区外へ拡がっているため不明瞭であるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-32° -E、東西2.8×南北2.6×深さ0.3mを測る。**重複遺構** 北東部で重複する88号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・ロームブロック・炭化粒含有の茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**備考** カマド、貯蔵穴、柱穴等は確認されていない。**遺物** 掲載遺物5点。その他土師器小破片が多数出土している。

### 36号住居 (第47図、第2表、PL-11・23)

**位置** 調査区南西部、V-26に位置する。**形状・規模** カマド寄りの西部が確認されたのみで不明瞭であるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-58° -W、南北2.7×東西1.2×深さ0.3mを測る。**重複遺構** 50・71号土坑との新旧関係は不明である。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の暗茶褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。**カマド** 西辺南寄りに付設されている。壁内に燃焼部と思われる袖部の残存する楕円形の窪みが、壁内に細長く延びる煙道が確認されている。確認状況において燃焼部は



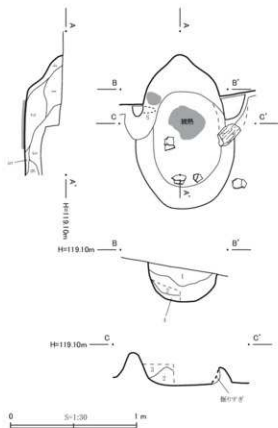
第44図 30-31号住居

長軸70×短軸42 cmを測り、煙道部は燃烧部の11 cm上から外へ85 cm延びている。柱穴 南北両壁寄りの2箇所検出された。各々径20、40 cmを測る。遺物 掲載遺物7点。

### 37号住居 (第48・49図、第2表、PL-11・23)

**位置** 調査区南西部、R-31に位置する。**形状・規模** 南東部・北辺が不明瞭であるが、平面は方形を成し、北辺、東辺の2箇所にカマドが付設されている。主軸N-32°-E、長軸(南北)3.4×短軸(東西)3.0×深さ0.5mを測る。**重複遺構** 南西部に僅かにずれるように重なる40号住居、東壁を接する32号住居を切っている。**覆土** ローム粒・炭化粒・焼土粒含有の暗褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。

**カマド** 北辺西寄りと、東辺やや南寄りに付設されている。北辺カマドは壁内に焚口と思われる不整楕円形の窪みが、壁外に舌状延びる燃烧部とその先に僅かに煙道が確認されている。確認状況において焚口は長軸100×短軸80×深さ14 cmを測る。燃烧部は長軸45×短軸38 cmを測り、底面は20°程の傾斜を持っている。東辺カマドは壁内外にかけて不整楕円形の窪みが確認されている。確認状況において長軸100×短軸54 cm、床面から深さ14 cmを測る。なお、どちらか片方のカマドは重複する40号住居に付設された可



### 32号住居カマド土層説明

- 1層：暗灰褐色 細り強、粘性弱 暗灰色粘質土・砂粒中量、ローム粒微量含有 カマド崩壊土
- 2層：暗赤褐色 細り有、粘性やや弱 焼土ブロック(径1cm程)・焼土粒中量、暗灰色粘質土(径0.3～0.5cm) 微量含有 天井崩落土
- 3層：暗茶褐色 細りやや強、粘性有 住居覆土主体 灰色系粘質土少量、ローム粒中量含有
- 4層：暗茶褐色 細りやや弱、粘性有 ローム粒少量、ロームブロック(径0.5cm程)・焼土粒微量含有
- 5層：暗褐色 細りやや弱、粘性有 焼土粒微量含有
- 6層：暗灰褐色 細り強、粘性有 暗灰色粘質土(径3～4cm)・砂粒含有の灰色粘質土ブロック中量、ローム粒・焼土粒微量含有 1層に似るカマド崩壊土?

### 32号住居 A-A'・D-D' 土層説明

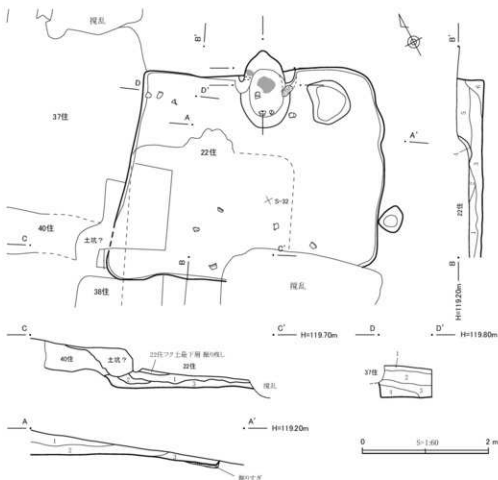
- 1層：茶褐色 細りやや強、粘性弱 片岩粒中量、焼土粒・風化ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細りやや強、粘性やや弱 片岩粒中量、ローム粒少量、ロームブロック(径1cm程)・焼土粒微量、炭化粒極微量、暗灰色粘質土塊らに含有
- 3層：明茶褐色 細りやや強、粘性弱 片岩粒中量、焼土粒・ローム粒微量含有
- 4層：暗茶褐色 細りなく、粘性有 ローム粒塊らに含有

### 32号住居 B-B' 土層説明

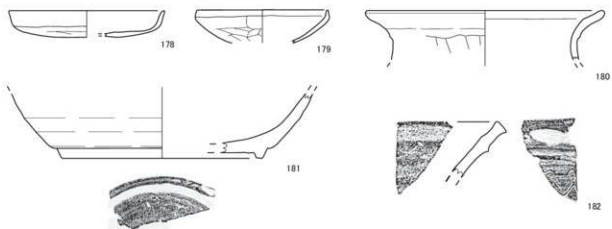
- 1層：暗茶褐色 細りやや強、粘性弱 焼土粒・炭化粒微量含有
- 2層：4層と同じ
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 焼土粒・炭化粒極微量、ロームブロック(0.3～1cm) 塊らに含有
- 4層：暗赤褐色 細り強、粘性やや弱 焼土粒・炭化粒少量含有 22住カマド配り方
- 5層：セクションAの1層に対応
- 6層：暗茶褐色 As-YP含有ロームブロック(径1～5cm)・片岩粒少量、ローム粒中量、炭化粒微量含有

### 32号住居 C-C' 土層説明

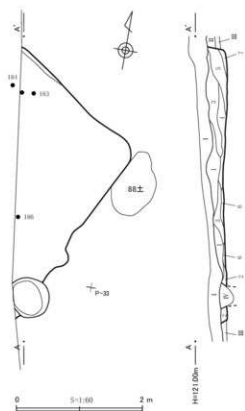
- 1層：暗褐色 細りやや軟、粘性弱 ローム粒・ロームブロック・焼・炭少量含有 32住
- 2層：暗灰褐色 細りやや軟、粘性弱 ローム粒・焼・炭微量含有 40住
- 3層：暗灰褐色 細りやや軟、粘性弱 ロームブロック(細)・焼・炭中量含有 32住



第45図 32号住居

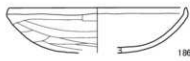
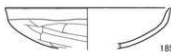
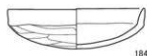
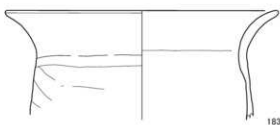


32号住居出土遺物



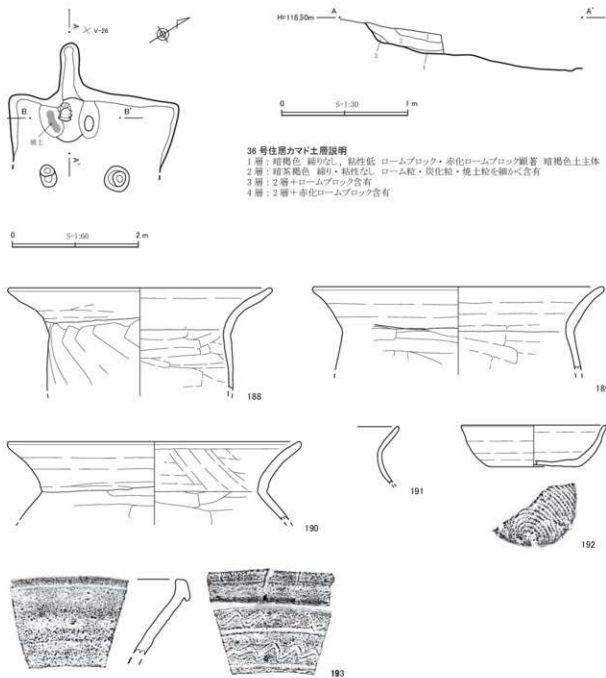
31号住居土層説明

- I層：暗茶褐色 表土剥ぎ時の俵土
- II層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- III層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック(径1~5cm)少量、炭化粒微量含有
- IV層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック  
下層に微量含有
- 1層：暗茶褐色 表土剥ぎ時の擾乱
- 2層：暗褐色 細り・粘性有 ロームブロック(径2~3cm)・炭化粒少量、ローム風化土含有
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、ローム小ブロック(径1cm程度)・炭化粒・粘土粒微量含有
- 4層：明褐色 細り・粘性有 炭化粒・ロームブロック(径1~3cm)含有、炭化粒・BF微量含有
- 5層：茶褐色 細り・粘性やや弱 ローム粒少量、ロームブロック(径1~4cm)・炭化粒微量含有
- 6層：茶褐色 細り・粘性やや弱 ローム粒多量、ロームブロック(径1~2cm)少量、炭化粒微量含有
- 7層：明茶褐色 細りやや弱、粘性有 ローム粒含有、BF極微量含有



35号住居、及び出土遺物

第46図 35号住居、及び32-35号住居出土遺物

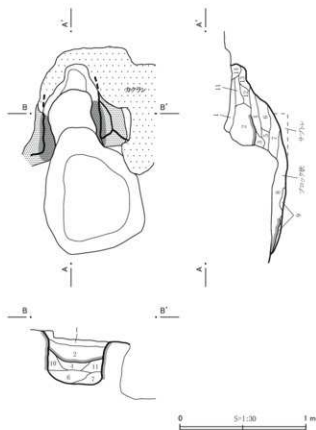


第47図. 36号住居、及び出土遺物

能性がある。備考 貯蔵穴、柱穴等は確認されていない。遺物 掲載遺物6点。その他土師器小破片が多量、須臾器破片が数点出土している。

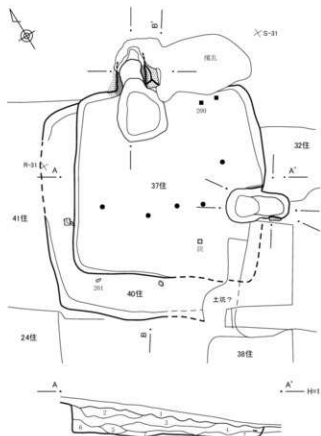
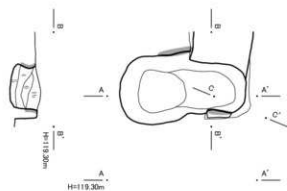
### 38号住居 (第50・51図、第2表、PL-11・23)

位置 調査区南西部、R-32に位置する。形状・規模 北東部から東側は22・39・42号住居との重複によって不明瞭であるが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-27° -E、東西2.6×南北2.4×深さ0.5mを測る。重複遺構 北東部で重複する22号住居に切られている。なお、39・42号住居との新旧関係は不明である。覆土 ローム粒・ロームブロック・焼土ブロック含有の暗褐色土を主体とする自然堆



### 37号住居北カマド土層説明

- 1層：暗褐色 締り硬、粘性低 ローム粒・白色テフラ含有、焼炭微量含有
- 2層：暗灰褐色粘質土 粘質土主体 片岩等小礫、石英角礫が認められる下位にぼやけた焼土帯有
- 3層：暗灰褐色粘質土 締り有、粘性強 プロック状で暗褐色土含有、焼土ブロック（粗）微量含有
- 4層：暗灰褐色粘質土 3層に近似 焼土ブロック（細）
- 5層：灰褐色 締りなし、粘性弱 焼土（細）含有
- 6層：灰褐色 締り有、粘性やや強 粘質土・ロームブロック主体 焼土粒皮状、炭炭量含有
- 7層：灰褐色 締り有、粘性強 6層と同質だが、ローム土皮状、炭炭量含有
- 7層：灰褐色 締り有、粘性強 6層と同質だが、ローム土皮状に含有
- 8層：締り有 2層の土を主体に暗褐色土・焼土・ローム土・炭含有
- 9層：暗褐色 締りなし、粘性低 焼土・炭含有
- 10層：暗赤灰色 締り有、粘性やや強 焼土・粘質土・炭含有、ローム粒少量含有
- 11層：暗灰褐色 2層の上がブロック状を成す
- 12層：暗灰褐色 粘質土・黒褐色土 焼含有
- 13層：暗灰褐色 粘性有 焼・ローム・炭あまの含まない
- 14層：暗褐色 締りなし、粘性弱 ローム粒少量含有



### 37号住居東カマド土層説明

- 1層：暗灰褐色粘質土 締り硬、粘性強 焼土少ない、天井部陥落土
- 2層：暗灰褐色粘質土 締り硬、粘性強 焼土多量含有（下位主体）天井部陥落土
- 3層：黒褐色 締り軟、粘性弱 ローム土少量、焼土粒中量、炭化物や多く含有
- 4層：暗褐色 締り軟、粘性弱 焼土粒多量含有
- 5層：暗褐色 締り軟、粘性弱 焼土粒多量含有 色調3層より明るい
- 6層：暗黄褐色 締りやや軟、粘性弱 ロームブロック（細）微量、焼土・炭少量含有
- 7層：2層に近似 暗褐色粘質土が2層より多く含有
- 8層：暗灰褐色 締りやや硬、粘性弱 2層に粘質土含有

第48図. 37・40号住居

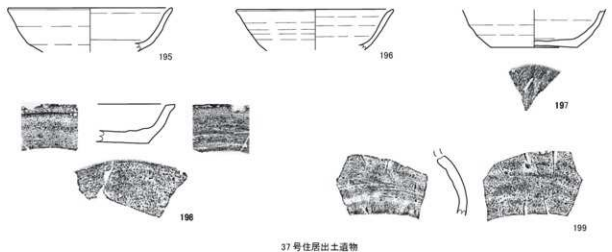


### 37号住居 A-A' 土層説明

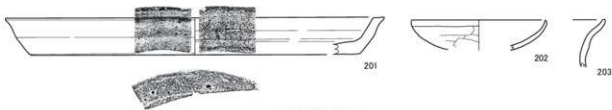
- 1層：暗褐色 緋り硬、粘性弱 ローム粒・白色テフラ含有、炭・焼微量含有
- 2層：暗褐色 緋り硬、粘性弱 ローム粒多量、ロームブロック（細）少量、炭・炭微量含有
- 3層：暗褐色 緋り硬、粘性弱 ロームブロック（径2.5cm）少量、白色テフラ、焼炭微量含有
- 4層：暗褐色 緋りやや軟、粘性有 ローム粒・焼・炭微量含有
- 5層：暗灰褐色 ローム粒少量、ロームブロック（細）・焼・炭微量含有
- 6層：暗灰褐色 5層に近似 色調5層より暗い
- 7層：暗褐色土主体 カマド崩壊土顕著に含有

### 37号住居 B-B' 土層説明

- 1層：暗褐色 緋り硬、粘性弱 ローム粒・白色テフラ含有、炭・焼微量含有
- 2層：暗褐色 緋り硬、粘性弱 ロームブロック（径2.5cm）少量、白色テフラ・焼炭微量含有
- 3層：暗褐色 緋り硬、粘性弱 2a層よりロームブロック少なく、含有物が細かい
- 4層：暗褐色 緋りやや軟、粘性有 ローム粒・焼・炭微量含有
- 5～7層：注記なし
- 8層：暗褐色 ローム粒・ロームブロック（細）含有、焼炭塊に含有
- 9層：8層よりも含有物が全体的に少量
- 10層：暗灰褐色 ローム粒少量含有 暗灰褐色土主体で含有物微量



37号住居出土遺物



40号住居出土遺物

第49図. 37-40号住居出土遺物

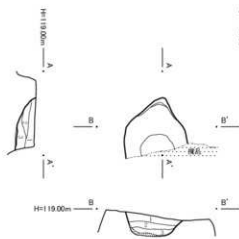
積と考えられる。備考 カマド、貯蔵穴、柱穴等は確認されていない。遺物 掲載遺物4点。その他土器小破片が多数、須恵器破片が数点出土している。

### 39号住居（第50・51図、第2表、PL-11・23）

位置 調査区南西部、R-32に位置する。形状・規模 カマド、床下土坑が確認されているのみで詳細は不明である。東辺にカマドが付設されている。重複遺構 西側で重複する38・42号住居との新旧関係は不明である。覆土 不明。カマド 東辺に付設されるが、掘り方が僅かに残るのみで詳細は不明である。床下土坑 カマド手前から北部にかけて大きく深さ50cm程を測る不整形の土坑が確認されている。遺物 掲載遺物1点。その他土器小破片が数十点出土している。

### 40号住居（第48・49図、第2表、PL-12・23）

位置 調査区南西部、R-31に位置する。形状・規模 そのほとんどが37号住居によって切られているが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-26°-E、南3.4×東西1.9×深さ0.4mを測る。重複遺構 西側で重複する41号住居を切り、東に僅かにずれて重複する37号住居に切られている。



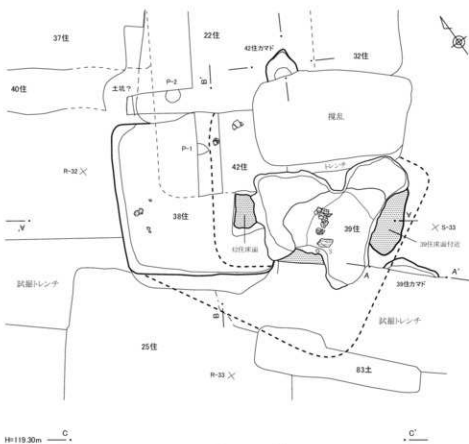
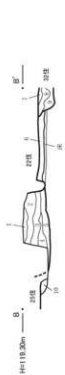
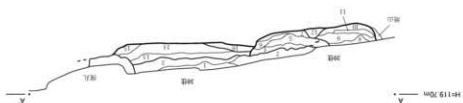
**42号住居カマド土層説明**

- 1層：暗褐色 細りやや硬、粘性弱 ローム粒微量、焼土・焼土ブロック（細）少量含有
- 2層：暗灰褐色 細りやや硬、粘性弱 ローム粒・焼土・焼土ブロック（細）微量含有
- 3層：暗灰褐色 細りやや軟、粘性弱 ローム粒・焼土ブロック（細）微量、焼土粒中量含有



**39号住居カマド土層説明**

- 1層：黒褐色 焼・焼土ブロック含有の炭素の強い層
- 2層：黒褐色 焼・焼土ブロック（細）少量、暗褐色土含有
- 3層：暗茶褐色 焼・炭粒らに、暗褐色土（地山）含有



第50図 38-39-42号住居

### 38-39-42号住居 A-A'、C-C' 土層説明

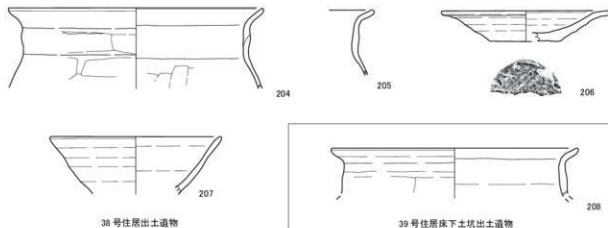
- 1層：暗褐色 締りやや硬、粘性弱 白色テフラ・ローム粒含有 黒色が強い(有機物腐植?)
- 2層：暗褐色 締りやや硬、粘性弱 白色テフラ・ローム粒含有 焼土粒少量含有
- 3層：暗褐色 締りやや硬、粘性弱 白色テフラ・ローム粒含有 焼土粒・遺物片少量含有
- 4層：暗褐色 締り硬、粘性弱 白色テフラ・焼土・炭少量含有
- 5層：暗褐色 2層同層だが、土器片・ロームブロック・粘質土ブロック等に認められる
- 6層：暗褐色 2層に近似
- 7層：暗褐色 2層を基調にロームブロック(粗)少々含有
- 8層：暗褐色 締り硬、粘性弱 ロームブロック(細)・焼土・炭少量含有

### 38-39-42号住居 B-B' 土層説明

- 1～5層：A-A' に対応
- 6層：暗褐色 締りやや硬、粘性有 上面にロームブロック・粘質土ブロック分布、ローム粒・焼・炭・土器含有
- 7層：暗褐色 締りやや軟、粘性弱 ローム粒・ロームブロック・焼・炭少量含有 40 住

- 9層：暗褐色 締りやや硬、粘性弱 ローム粒・炭少量含有
- 10層：暗褐色 締りやや軟、粘性弱 ロームブロック(細)中量、焼土・炭微量含有
- 11層：暗褐色 8層に近似 ロームブロック(粗)礫らに含有
- 12層：暗褐色 締りやや硬、粘性弱 ローム粒含有
- 13層：暗褐色 締りやや硬、粘性弱 ローム粒・白色テフラ多量、焼土・炭微量含有
- 14層：暗褐色 締りやや硬、粘性弱 ローム粒多量、ロームブロック(細)少量、焼土ブロック微量含有
- 15層：暗褐色 締りやや硬、粘性有 12層に近似 黒粘質土(地山)含有
- 16層：暗褐色 ロームブロック主体

- 8層：暗褐色 締りやや軟、粘性弱 ローム粒・焼・炭微量含有 32 住
- 9層：暗褐色 締りやや軟、粘性弱 ロームブロック(細)・焼・炭中量含有 32 住
- 10層：暗褐色 締りやや軟、粘性有 ロームブロック・粘質土ブロック等地山構成土 焼土含有



第 51 図. 38-39 住居土層説明、及び出土遺物

**覆土** 白色テフラ・焼土・炭含有の暗褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。カマド 確認されていないが、37号住居のいずれかのカマドが本住居に付設されていた可能性がある。遺物 掲載遺物 3点。その他土師器小破片が数十点、須恵器破片が数点出土している。

### 41号住居 (第52図、第2表、PL-12・23)

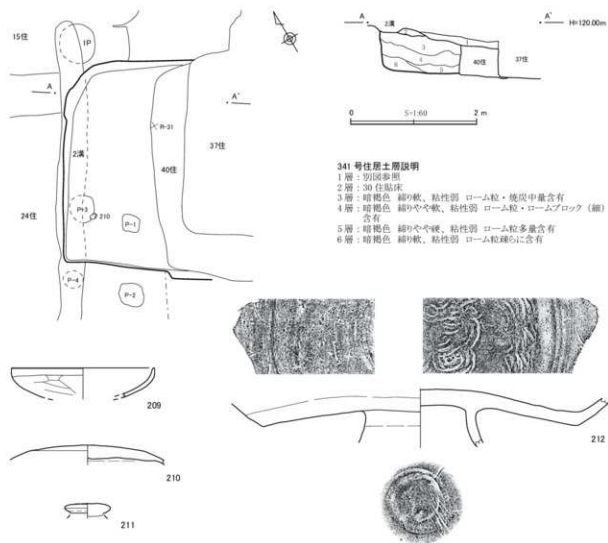
**位置** 調査区南西部、R-31に位置する。形状・規模 東側1/2以上が40号住居に切られているが、平面は方形を成すと思われる。確認状況において主軸N-31° -E、南北3.5×東西2.4×深さ0.6mを測る。

**重複遺構** 南西部で重複する24号住居、東側1/2以上を40号住居、西壁沿いを2号溝に切られている。

**覆土** ローム粒含有の暗褐色土を主体とする自然堆積と考えられる。備考 カマド、貯蔵穴、柱穴等は確認されていない。遺物 掲載遺物 4点。その他土師器小破片が数十点出土している。

### 42号住居 (第50図、PL-12)

**位置** 調査区南西部、S-32に位置する。形状・規模 北辺に付設されたと考えられるカマドの1が確認されたのみで詳細は不明である。主軸N-29° -E、南北48×東西50×深さ18cmを測る。重複遺構 22号住居の下方に構築されている。38-39号住居との新旧関係は不明である。遺物 掲載遺物、出土遺物なし。



#### 341号住居土層説明

- 1層：別図参照
- 2層：30住跡床
- 3層：暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒・焼炭中量含有
- 4層：暗褐色 細りや中軟、粘性弱 ローム粒・ロームブロック（細）含有
- 5層：暗褐色 細りや中硬、粘性弱 ローム粒多量含有
- 6層：暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒中に含有

第52図 41号住居、及び出土遺物

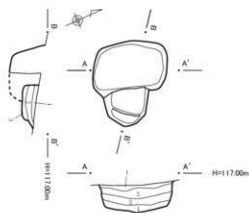
## 2. 土坑 (第53～66図、第1-2表、PL-12～15-23・24)

土坑は90基 (1～92号土坑 [77・78土欠番]) 確認された。各遺構の概略は下記一覧表のとおりである。

第1表 土坑一覧表

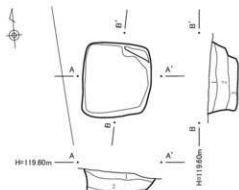
番号	位置	長軸	短軸	深さ	平面形	断面形	遺物	備考
1	AC-16	118	87	56	隅丸方形	鉢形	なし	東側に楕円形の別土坑に切られている
2	AC-16	202	127	—	長方形	—	なし	個別掲載なし
3	AC-17	121	118	43	不整形	不整形	なし	南側に方形の別遺構が重複
4	AB-15	119	110	50	方形	鉢形	なし	最下部に炭化層 (0.5 cm程)
5	AF-20	152	132	22	円形	盤状	№1～3	
6	AF-20	94	78	10	円形	盤状	なし	
7	AF-20	77	73	65	方形	箱形	なし	
8	AB-7	85	63	29	不整形円形	不整形	なし	
9	AA-6	77	66	35	楕円形	不整形	なし	
10	AB-9	166	100	—	長方形	—	なし	個別掲載なし
11	Z-12	120	94	41	楕円形	漏斗状	なし	
12	Y-12	84	68	29	方形	箱形	なし	
13	Y-10	80	64	12	円形	盤状	なし	
14	X-9	116	106	40	隅丸方形	—	なし	
15	X-9	129	121	45	円形	鉢形	なし	曜面被熱、炭化物
16	W-10	134	84	30	長方形	箱形	なし	
17	W-10	164	109	20	長方形	箱形	なし	Aa-A含有

番号	位置	長軸	短軸	高さ	平面形	断面形	遺物	備考
18	U-10	291	88	33	長方形	箱形	なし	
19	S-12	(211)	150	68	長方形	箱形	なし	底面に凹形の凹み
20	X-14	104	90	41	方形	鉢形	なし	壁面被熱
21	V-14	139	86	11	楕円形	—	なし	Ao-A 含有
22	W-15	151	95	10	長方形	盤状	なし	Ao-A 含有
23	X-16	452	118	27	長方形	箱形	なし	
24	V-16	133	118	26	長方形	箱形	なし	中央部に楕円形の凹み
25	T-15	109	88	30	隅丸方形	鉢形	なし	壁面被熱
26	U-17	234	72	12	長方形	箱形	なし	
27	U-17	93	63	19	長方形	箱形	なし	
28	S-17	77	61	33	円形	不整形	なし	Ao-A 含有
29	S-15	72	66	33	円形	鉢形	なし	
30	P-20	68	51	45	円形	不整形	なし	Ao-A 含有
31	Z-14	84	81	41	円形	不整形	なし	底面に炭化物
32	AA-14	142	114	56	円形	鉢形	なし	壁・底面被熱、炭化物
33	U-18	100	95	7	円形	盤状	なし	
34	W-18	489	90	51	長方形	箱形	なし	
35	W-17	473	105	38	長方形	箱形	なし	
36	S-20	100	83	36	円形	鉢形	なし	
37	X-17	419	94	26	長方形	箱形	なし	
38	Q-23	92	91	63	円形	鉢形	なし	底面に凹形の凹み、Ao-A 含有
39	Q-23	68	57	22	円形	盤状	なし	
40	Z-21	108	79	15	隅丸方形	盤状	なし	
41	AA-22	130	127	45	台形	箱形	なし	
42	AA-22	90	80	29	円形	鉢形	なし	
43	AA-22	201	118	35	長方形	不整形	なし	
44	X-17	179	151	46	長方形	箱形	土師器小破片十数点	
45	AA-25	137	118	15	楕円形	盤状	なし	
46	X-24	113	90	60	円形	鉢形	珧殻遺物 2 点、須恵器破片 1 点	7 世紀後半?
47	Z-23	263	176	54	長方形	—	土師・須恵器小破片数点	底面に方形の掘り込み
48	Z-23	176	139	8	隅丸方形	盤状	珧殻遺物 2 点、縄文土器片十数点	底面に径 12 x 深さ 48 cm 程の円形の掘り込み 縄文時代
49	V-24	84	56	21	楕円形	皿状	なし	
50	V-26	197	112	30	長方形	盤状	なし	36 号住居、71 号土坑との新田関係不明
51	V-24	132	104	46	楕円形	漏斗状	なし	炭化物と焼けた籾含有
52	W-26	120	102	53	円形	鉢形	なし	
53	T-24	94	89	45	円形	箱形	なし	
54	T-27	115	97	27	方形	盤状	なし	3 号溝との新田関係は不明
55	W-26	153	106	60	隅丸長方形	箱形	なし	
56	Y-26	147	97	56	隅丸長方形	鉢形	なし	
57	Y-24	167	87	53	隅丸長方形	鉢形	歯根骨多量	
58	W-26	89	75	25	円形	盤状	珧殻遺物 1 点、土師・須恵器小破片数点	62 号土坑に切られている。79 号土坑との新田関係は不明
59	V-30	64	58	37	円形	箱形	なし	
60	V-30	131	67	38	楕円形	箱形	なし	23 号住居を切っている
61	W-26	142	93	47	不整形円形	不整形	なし	
62	W-26	165	149	60	方形	箱形	なし	79 号土坑を切っている。58 号土坑との新田関係は不明
63	U-28	131	73	36	隅丸長方形	箱形	なし	9 号住居を切っている
64	S-27	296	90	30	隅丸長方形	箱形	なし	10 号住居を切っている
65	O-30	275	114	13	長方形	盤状	土師・須恵器小破片数点	
66	X-26	245	136	53	不整形円形	皿状	なし	
67	Y-26	271	110	35	楕円形	不整形	なし	
68	Q-32	99	92	47	隅丸方形	箱形	土師器小破片 2 点	
69	Q-32	82	63	27	隅丸方形	箱形	なし	73 号土坑を切っている
70	U-30	33	27	42	—	不整形	なし	23 号住居との新田関係は不明
71	W-26	109	82	25	隅丸方形	盤状	珧殻遺物 1 点、縄文土器片数点	36 号住居、50 号土坑との新田関係不明 7 世紀後半?
72	U-28	(125)	(111)	—	—	—	珧殻遺物 2 点、土師・須恵器小破片数点	9-28-29 号住居との新田関係不明 10 世紀
73	Q-33	211	101	51	楕円形	舟底状	土師・須恵器小破片数十点	69 号土坑に切られている
74	T-27	97	83	51	楕円形	不整形	なし	29 号住居との新田関係不明
75	O-31	172	126	56	長方形	箱形	なし	
76	P-32	182	74	46	長方形	箱形	なし	84 号土坑を切っている。21 号住居との新田関係不明
79	V-26	136	120	44	隅丸方形	—	なし	62 号土坑に切られている。68 号土坑との新田関係は不明
80	Q-33	(148)	(92)	55	—	—	箱形 土師器小破片数点	25 号住居との新田関係不明
81	Q-32	155	111	51	長方形	箱形	珧殻遺物 1 点、土師・須恵器小破片数点	25 号住居に切られている
82	Q-33	86	56	32	方形	箱形	なし	
83	R-33	267	75	51	長方形	箱形	なし	25-30 号住居との新田関係不明
84	P-32	145	76	43	長方形	箱形	なし	84 号土坑、2 号溝に切られている
85	P-26	218	106	—	—	—	珧殻遺物 1 点、	
86	P-32	187	88	65	長方形	箱形	なし	21 号住居、87 号土坑に切られている
87	P-32	67	53	56	隅丸方形	箱形	なし	86 号土坑を切っている
88	P-32	109	69	57	楕円形	箱形	なし	35 号住居との新田関係不明
89	U-30	124	76	53	楕円形	箱形	珧殻遺物 3 点、土師器破片数十点	8 世紀前半?
90	O-31	160	(110)	58	—	—	箱形 土師器小破片数点	調査区外へ繋がっている
91	O-31	73	(55)	38	—	—	箱形	調査区外へ繋がっている
92	O-33	(151)	(48)	53	—	—	箱形 土師・須恵器小破片十数点	調査区外へ繋がっている



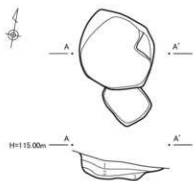
#### 1号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒含有、ローム小ブロック・炭化粒微量含有
- 2層: 茶褐色 締り有、粘性弱 炭化粒・ローム粒少量含有
- 3層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒・焼土粒微量含有
- 4層: 明黒褐色 締り・粘性有 炭化粒多量、ローム粒・焼土粒微量含有



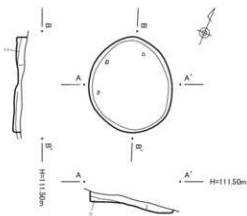
#### 4号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒含有、炭化粒少量含有
  - 2層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量含有
  - 3層: 暗茶褐色 締り・粘性有 炭化粒多量、焼土粒・ローム粒少量含有 最下部に炭化層(0.5cm程)
- 帯下端から5cm程まで壁に焼熱痕



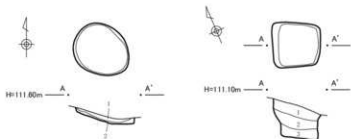
#### 3号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 明黒褐色 締り有、粘性弱 ローム粒含有、炭化粒・ロームブロック少量含有
- 2層: 暗茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒少量含有
- 3層: 褐色 締り・粘性有 ローム粒微量含有



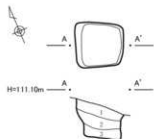
#### 5号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 明褐色 締り強、粘性有 ローム粒多量含有



#### 6号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 明黒褐色 締り・粘性弱 炭化粒含有、ローム粒微量含有
- 2層: 明褐色 締り・粘性なし 風化泥岩片多量含有

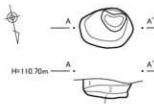


#### 7号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 褐色 締り有、粘性強 炭化粒・泥岩細片少量含有
- 2層: 暗茶褐色 締り・粘性強 泥岩細片少量含有
- 3層: 暗褐色 締り・粘性強 炭化粒微量含有

#### 8号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 暗茶褐色 締り・粘性弱 ローム粒含有、炭化粒微量含有
- 2層: 茶褐色 締り・粘性弱 ローム粒・ロームブロック少量含有
- 3層: 暗褐色 締り・粘性有 ロームブロック少量、ローム粒・炭化粒微量含有

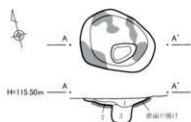


#### 9号土坑 (1次) 土層説明

- 1層: 明黒褐色 締り有、粘性弱 ローム粒・ローム小ブロック少量含有
- 2層: 茶褐色 締り有、粘性弱 ロームブロック多量、ローム粒少量含有
- 3層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒含有、ロームブロック少量、炭化粒微量含有

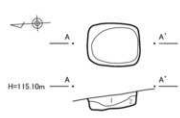
0 1 2 m  
S=1:60

第53図 1・3～9号土坑



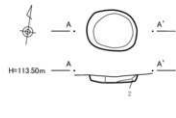
#### 11号土層説明

- 1層：茶褐色 細り・粘性弱 ローム粒含有、炭化粒・焼土粒少量含有
- 2層：暗茶褐色 細り弱、粘性なし 炭化物・炭化粒多量、焼土粒・ローム粒少量含有
- 3層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有



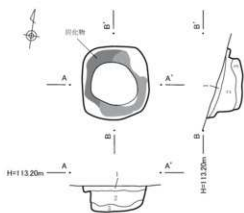
#### 12号土層説明

- 1層：暗褐色 細り強、粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層：明黒褐色 硬質で粘性有 ローム粒・炭化粒少量含有



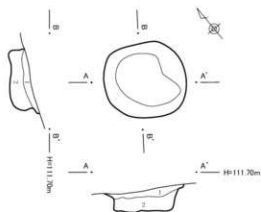
#### 13号土層説明

- 1層：茶褐色 細り・粘性弱 ローム粒・ローム小ブロック少量含有
- 2層：茶褐色 細り・粘性弱 ロームブロック含有、ローム粒少量含有



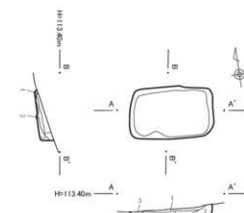
#### 14号土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 炭化粒少量、ローム粒微量含有
- 2層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒含有、ローム小ブロック・炭化粒微量含有
- 3層：明黒褐色 細り・粘性弱 炭化粒多量、ローム粒・ローム小ブロック少量含有



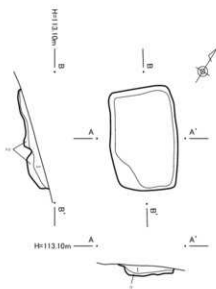
#### 15号土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、ローム小ブロック微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～2cm）含有、炭化粒微量含有



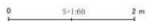
#### 16号土層説明

- 1層：茶褐色 細り有、粘性有 炭化粒少量、ローム粒微量含有
- 2層：明黒褐色 細り有、粘性弱 炭化粒多量、ローム粒・ローム小ブロック少量含有
- 3層：明茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック微量含有
- 4層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・焼土粒・炭化粒少量含有

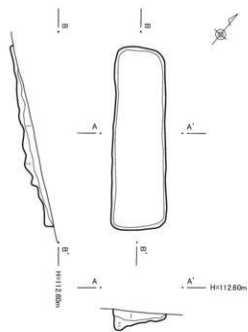


#### 17号土層説明

- 1層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・Ar-A含有、炭化粒微量含有
- 2層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1cm程度）・炭化粒微量含有

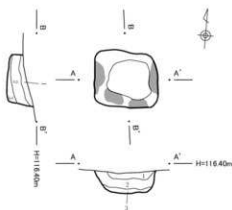


第54図. 11～17号土坑



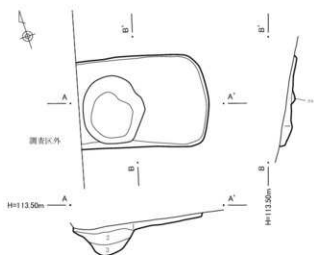
#### 18号土坑土層説明

- 1層: 茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 暗茶褐色 締り有、粘性有 ローム粒・ローム小ブロック少量、炭化粒微量含有



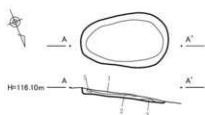
#### 20号土坑土層説明

- 1層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒含有
- 2層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径1cm程)・炭化粒含有、焼土粒微量含有
- 3層: 明茶褐色 締り有、粘性弱 炭化粒多量、ローム粒・ロームブロック・焼土粒・灰分含有  
※縦面に被褥痕



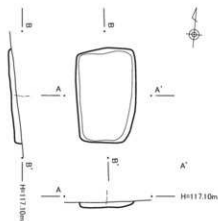
#### 19号土坑土層説明

- 1層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 2層: 暗茶褐色 締り・粘性有 1層に類似するが、含有量若干多く色調暗い
- 3層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック (径0.5cm以下) 微量含有



#### 21号土坑土層説明

- 1層: 明茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒・As-A含有
- 2層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、ロームブロック・炭化粒微量含有
- 3層: 明茶褐色 締り・粘性弱 ロームブロック多量、BP粒子目立つ

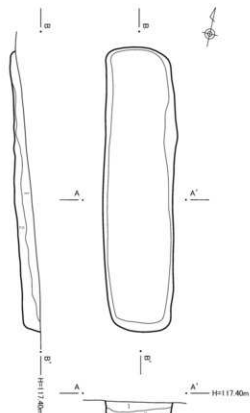


#### 22号土坑土層説明

- 1層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径1cm程) 含有、炭化粒・As-A少量含有

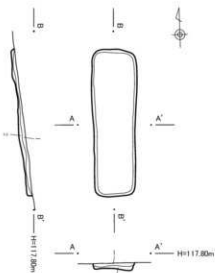
第55図. 18～22号土坑





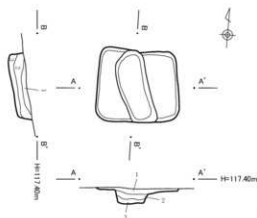
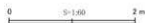
#### 23号土層説明

- 1層：茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒多量、ロームブロック（径2～3cm）・炭化粒少量含有  
2層：茶褐色 1層に類似するが、ロームブロック・炭化粒の含有量が多く色調やや暗い



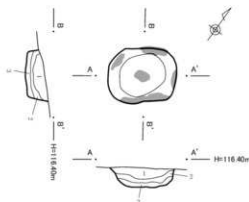
#### 26号土層説明

- 1層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1cm程）少量、炭化粒微量含有  
2層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム風化土含有



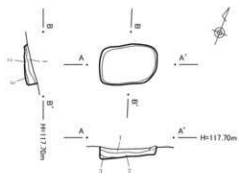
#### 24号土層説明

- 1層：暗褐色 締り・粘性有 ローム粒含有、ローム小ブロック（径1cm以下）・炭化粒微量含有  
2層：茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒含有、ローム小ブロック少量含有  
3層：暗茶褐色 締り有、粘性弱 炭化粒含有、ローム粒・ロームブロック（径1cm程）少量含有



#### 25号土層説明

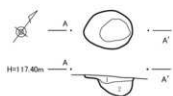
- 1層：暗褐色 締り・粘性有 炭化粒・ローム粒含有、焼土粒微量含有  
2層：暗茶褐色 締り有、粘性弱 炭化粒・ローム小ブロック・ローム風化土含有  
3層：黒褐色 締り有、粘性弱 炭化粒多量、焼土粒・ロームブロック（径1～4cm）少量含有  
※壁上部に被熱痕



#### 27号土層説明

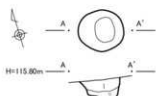
- 1層：茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量含有  
2層：茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、ローム小ブロック（径0.5cm程）・炭化粒微量含有  
3層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有

第56図 23～27号土層



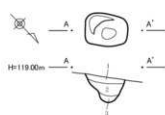
#### 28号土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・As-A含有、炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック含有、As-A・炭化粒少量含有



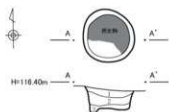
#### 29号土層説明

- 1層：褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 2層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒含有、炭化粒微量含有



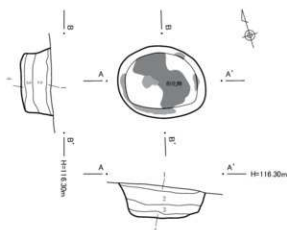
#### 30号土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 As-A多量、ローム粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・As-A・炭化粒少量含有
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック(径1cm以下)少量、炭化粒微量含有



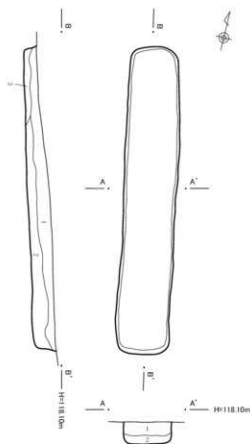
#### 31号土層説明

- 1層：暗褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒少量含有
- 2層：茶褐色 細り有、粘性弱 炭化粒少量、ローム粒微量含有
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 炭化物・炭化粒多量、ローム粒微量含有



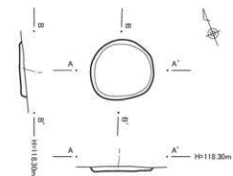
#### 32号土層説明

- 1層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層：茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・ローム小ブロック(径0.5cm)少量、炭化粒微量含有
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック(径1cm程)・炭化粒含有
- 4層：明茶褐色 細り・粘性有 炭化物・炭化粒多量、ロームブロック(径2~3cm)少量含有



#### 34号土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・ロームブロック(径1~3cm)多量、炭化粒微量含有
- 2層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック(径1cm程)含有、炭化粒微量含有
- 3層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有

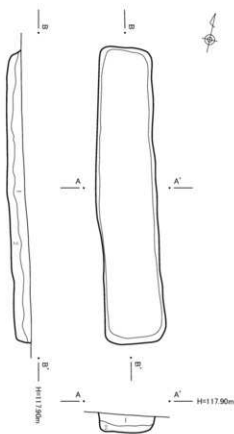


#### 33号土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック(径10cm程)少量、炭化粒微量含有



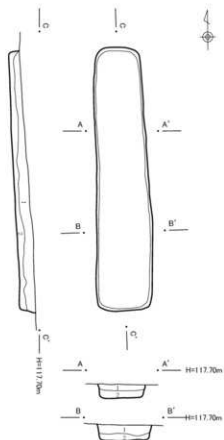
第57図 28~34号土坑



#### 35号土層説明

1層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒多量、ロームブロック（径2～5cm）少量含有

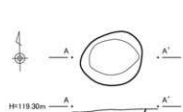
2層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有



#### 37号土層説明

1層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・ロームブロック（径2～4cm）多量、炭化粒微量含有

2層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ロームブロック（径1cm以下）微量含有

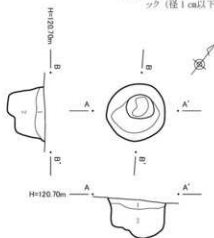


#### 36号土層説明

1層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有

2層：暗褐色 細り有、粘性弱 ローム粒少量含有

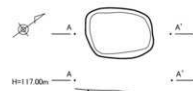
3層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量含有



#### 38号土層説明

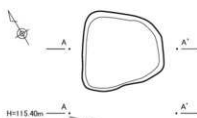
1層：暗茶褐色 細り・粘性有 A-A'含有、ローム粒・ロームブロック少量、炭化粒微量含有

2層：茶褐色 1層に類似するが、A-A'含有量が少なく色調明るい



#### 40号土層説明

1層：暗褐色 細り・粘性弱 ローム粒多量、ロームブロック（径1～3cm）少量、炭化粒微量含有



#### 39号土層説明

1層：暗茶褐色 細り硬、粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有

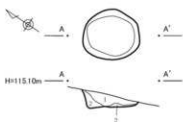
#### 41号土層説明

1層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒含有、炭化粒少量含有

2層：茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～3cm）少量含有

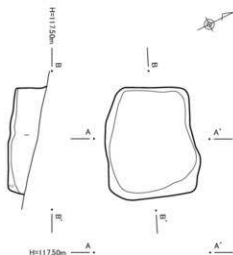


第58図. 35～41号土坑



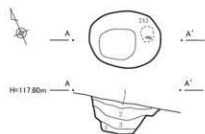
#### 42号土坑土層説明

- 1層：明黒褐色 緋り・粘性有 ローム粒多量、ローム小ブロック（径1cm以下）、炭化粒少量含有  
 2層：暗茶褐色 緋り・粘性弱 ローム粒・ロームブロック（径2～5cm）多量含有



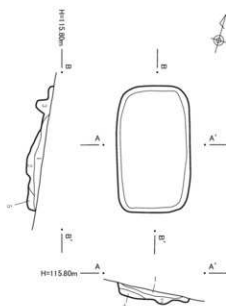
#### 44号土坑土層説明

- 1層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～3cm）含有、炭化粒微量含有  
 2層：明黒褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm程）、炭化粒少量含有



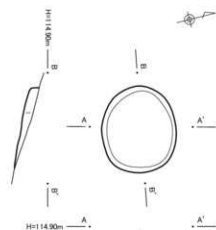
#### 46号土坑土層説明

- 1層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒少量、ローム小ブロック（径1cm程）微量含有  
 2層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有  
 3層：茶褐色 緋り強、粘性有 ローム粒・炭化粒少量含有  
 4層：茶褐色 緋り・粘性弱 ローム粒微量含有



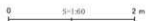
#### 43号土坑土層説明

- 1層：明黒褐色 緋り有、粘性弱 ローム粒・ロームブロック（径1～2cm）少量、炭化粒微量含有  
 2層：暗茶褐色 緋り・粘性弱 ローム粒・ロームブロック（径2～5cm）多量、炭化粒微量含有  
 3層：暗茶褐色 緋り有、粘性弱 ローム粒含有、ローム小ブロック微量含有  
 4層：茶褐色 緋り・粘性弱 ローム粒・炭化粒含有、ロームブロック（径2～3cm）少量含有  
 5層：明褐色 緋り・粘性弱 ローム粒多量、炭化粒微量、ローム風化土少量含有

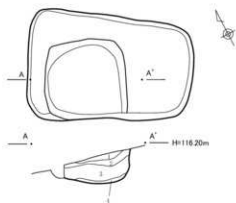


#### 45号土坑土層説明

- 1層：明黒褐色 緋り硬、粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有



第59図 42～46号土坑



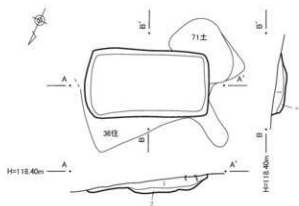
#### 47号土層説明

- 1層: 明茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量, ローム小ブロック微量含有
- 2層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒含有, ロームブロック (径2~5cm) 微量含有
- 3層: 茶褐色 ローム粒・ロームブロック (径2~5cm) 微量含有
- 4層: 茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量, 炭化粒微量含有



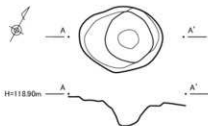
#### 49号土層説明

- 1層: 暗褐色 細り有, 粘性弱 ローム粒少量含有
- 2層: 茶褐色 細り有, 粘性弱 ローム粒含有, ローム小ブロック (径1cm以下)・炭化粒微量含有



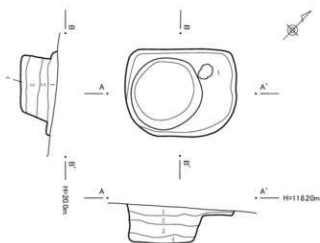
#### 50号土層説明

- 1層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量, 炭化粒・焼土粒微量含有
- 2層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm以下) 微量含有



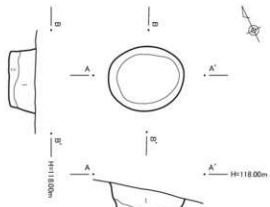
#### 51号土層説明

1,2層全面に炭化物と焼けた雑草を含む 焼土含まず 塚面も被熱なし



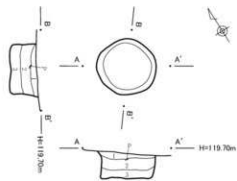
#### 48号土層説明

- 1層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒少量, ローム小ブロック (径1cm以下) 微量含有
- 2層: 明黒褐色 細り強, 粘性有 炭化粒少量, ローム粒微量含有
- 3層: 明黒褐色 2層に類似するが, ロームブロック (径1~2cm) 若干含有
- 4層: 明黒褐色 細り有, 粘性弱 炭化粒微量含有



#### 52号土層説明

- 1層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒多量, ロームブロック (径1~2cm)・炭化粒微量含有
- 2層: 茶褐色 細り・粘性有 ローム粒含有, 炭化粒微量含有

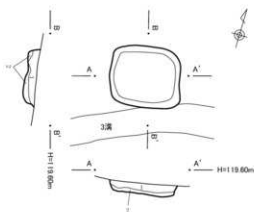


#### 53号土層説明

- 1層: 茶褐色 細り有, 粘性弱 ローム粒少量含有
- 2層: 暗茶褐色 細り強, 粘性有 ローム粒・炭化粒少量含有
- 3層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm以下)・炭化粒微量含有



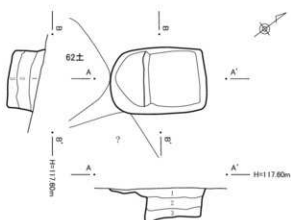
第60図. 47~53号土坑



#### 54号土坑土層説明

1層：暗褐色 締り有、粘性弱 ローム粒・ローム小ブロック（径1 cm以下）少量、炭化粒微量含有

2層：茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有

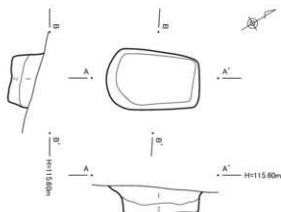


#### 55号土坑土層説明

1層：暗褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有

2層：暗褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径3～5 cm）含有

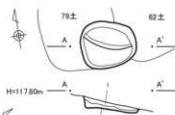
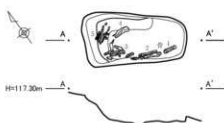
3層：暗褐色 締り強、粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有



#### 56号土坑土層説明

1層：暗茶褐色 締り強、粘性有 ローム粒少量、ローム小ブロック（径1 cm程）微量含有

2層：明黒褐色 硬質で粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1 cm以下）・炭化粒微量含有



#### 58号土坑土層説明

1層：暗褐色 締り弱、粘性有 ローム粒含有

2層：明褐色 締り・粘性有 ローム粒多量含有



#### 59号土坑土層説明

1層：暗茶褐色 締り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック（径1 cm以下）微量含有

2層：茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有

#### 60号土坑土層説明

1層：明茶褐色 締り・粘性弱 ローム粒・炭化粒・ローム小ブロック（径1～2 cm）含有

2層：茶褐色 締り有、粘性弱 炭化粒含有、ローム粒・ローム小ブロック（径1 cm以下）微量含有

#### 61号土坑土層説明

1層：黒褐色 締り有、粘性弱 ローム粒含有、ローム小ブロック（径1 cm程）・炭化粒微量含有

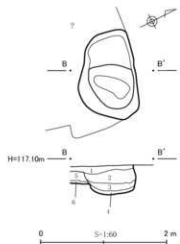
2層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～2 cm）少量含有

3層：暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、ローム小ブロック（径1～2 cm）・炭化粒微量含有

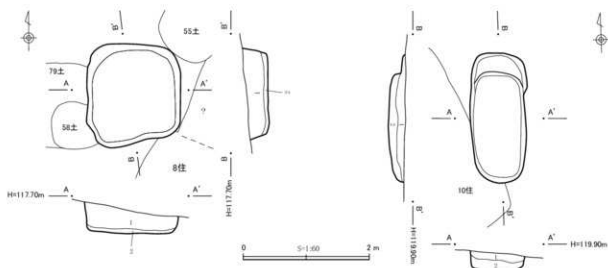
4層：暗褐色 締り・粘性強 炭化粒極微量含有

5層：明褐色 締り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1 cm以下）少量含有

6層：暗黄褐色 締り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径2 cm程）多量含有



第61図 54～61号土坑

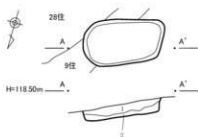


#### 62号土坑土層説明

- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1~2cm) 少量、炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ロームブロック (径1~2cm) 含有、ローム粒微量含有

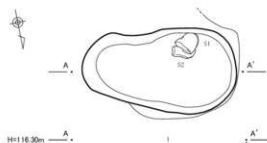
#### 64号土坑土層説明

- 1層：明茶褐色 細り・粘性弱 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性弱 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm程)・炭化粒微量含有



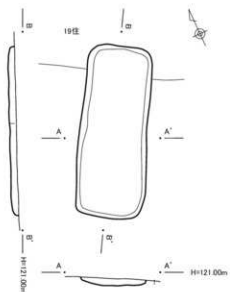
#### 63号土坑土層説明

- 1層：明茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm以下) 少量、炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒微量、焼土粒極微量含有



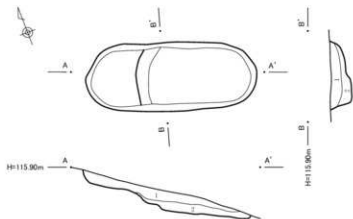
#### 65号土坑土層説明

- 1層：暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒含有、ロームブロック (径1~2cm) 少量、炭化粒微量含有
- 3層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒・ロームブロック (径1cm程) 微量含有



#### 66号土坑土層説明

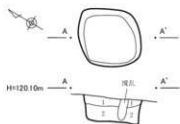
- 1層：明茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック (径1cm程) 微量含有



#### 67号土坑土層説明

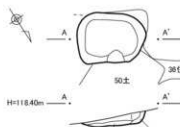
- 1層：暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒含有、ロームブロック (径1~3cm)・炭化粒微量含有
- 2層：暗茶褐色 1層に類似するが、ローム粒比較的多量含有

第 62 図. 62 ~ 67 号土坑



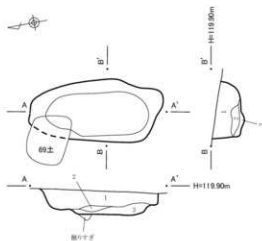
#### 68号土層説明

- 1層: 茶褐色 細り・粘性有 ローム粒微量含有
- 2層: 暗茶褐色 ローム粒少量、炭化粒微量、ローム風化土若干含有



#### 71号土層説明

- 1層: 暗褐色 細り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層: 暗褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径1~2cm) 含有、焼土粒・炭化粒微量含有
- 3層: 暗茶褐色 細り・粘性弱 炭化粒少量、ローム粒微量含有

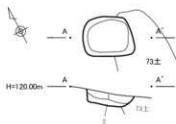


#### 73号土層説明

- 1層: 暗茶褐色 細り弱、粘性やや強 ローム粒 (2~3mm) 中量含有、ロームブロック (径1~3cm) 礫石に散る
- 2層: 暗褐色 細り弱、粘性やや強 ロームブロック (径1cm程) 微量含有
- 3層: 黄褐色 細り有、粘性やや強 ローム主体地山、明黄褐色 細り良いローム層

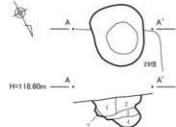
#### 76号土層説明

- 1層: 暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒中量、ロームブロック (径2cm) 中量含有
- 2層: 暗黄褐色 細り軟、粘性やや弱 ローム粒・ロームブロック (径3cm) 多量含有



#### 69号土層説明

- 1層: 明黒褐色 細り有、粘性弱 ローム粒・炭化粒少量、片岩細片微量含有
- 2層: 暗茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径2~4cm) 含有、炭化粒微量含有

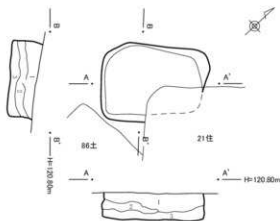


#### 70号土層説明

- 1層: 暗褐色 細り硬、粘性弱 ローム粒・白色粒中量、炭化物・焼土粒微量含有
- 2層: 暗褐色 細り硬、粘性弱 ロームブロック (径0.8cm)・ローム粒・白色粒中量、焼土粒少量、炭化物微量含有
- 3層: 暗褐色 細りやや硬、粘性弱 ロームブロック (径0.5cm) 少量、ローム粒・白色粒中量、炭化物・焼土粒微量含有
- 4層: 暗黄灰色 細り硬、粘性弱 ローム粒中量、白色粒少量、炭化物・焼土粒微量含有
- 5層: 暗黄灰色 細り硬、粘性やや弱 ローム粒・白色粒少量含有
- 6層: 暗黄灰色 細り硬、粘性やや強 ローム粒・白色粒少量、焼土粒微量含有

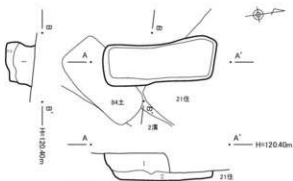
#### 74号土層説明

- 1層: 明黒褐色 細り・粘性有 ローム粒含有、ロームブロック (径1~2cm)・炭化粒少量含有
- 2層: 茶褐色 細り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径2~6cm) 多量、炭化粒微量含有
- 3層: 暗褐色 細り有、粘性強 ローム粒少量、炭化粒・BP (オレンジ色) 微量含有
- 4層: 暗褐色 3層に類似するが、炭化粒ほとんど含まず粘性強い



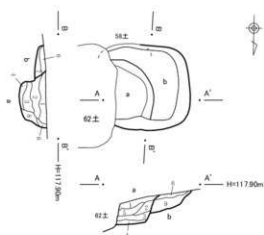
#### 75号土層説明

- 1層: 暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒中量、ロームブロック (径2cm) 少量含有
- 2層: 暗褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒多量、ロームブロック (径2cm) 中量含有
- 3層: 暗黄褐色 細り軟、粘性弱 ローム粒・ロームブロック (径5cm) 多量、炭化物微量含有



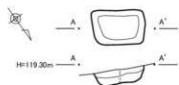
第63図 68~71・73~76号土坑





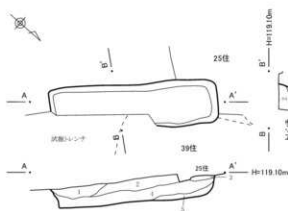
#### 79号土層説明

- 1層: 暗褐色 締り・粘性弱 ローム粒・ロームブロック (径1cm) 中量含有
- 2層: 暗褐色 1層に類似しが、色調暗い
- 3層: 黒褐色 締りやや軟、粘性弱 ローム粒含有、ロームブロック (径4cm) 少量、炭化粒微量含有
- 4層: 暗黄褐色 締りやや軟、粘性弱 ロームブロック (径4cm)・ローム粒少量含有
- 5層: 暗褐色 締り硬、粘性弱 ローム粒含有、ロームブロック (径1.5cm) 少量含有
- 6層: 暗褐色 締り硬、粘性弱 ローム粒・ロームブロック (径1cm) 中量、焼土粒・土器片微量含有
- 7層: 暗褐色 締り硬、粘性弱 ロームブロック (径2cm) 中量含有
- 8層: 暗褐色 締り硬、粘性弱 ロームブロック (径6cm) 微量含有
- 9層: 暗褐色 締り硬、粘性弱 ローム粒少量、ロームブロック (径1cm) 微量含有



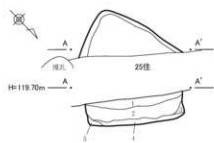
#### 82号土層説明

- 1層: 暗褐色 締り・粘性有 ローム粒微量、炭化粒微量含有
- 2層: 暗褐色 締り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm以下) 少量、炭化粒微量含有



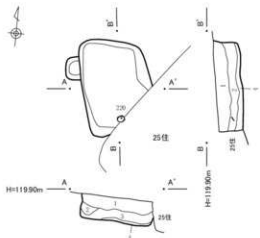
#### 83号土層説明

- 1層: 明黒褐色 締り・粘性有 炭化粒含有、ローム粒少量含有
- 2層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック (径1cm程度) 微量含有
- 3層: 暗褐色 締り強、粘性有 ロームブロック (径3~4cm) 多量、ローム粒・炭化粒微量含有 25住乱球
- 4層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径4~10cm) 含有、炭化粒少量含有
- 5層: 暗茶褐色 締り・粘性有 粘りやや強 ローム粒・炭化粒少量、暗灰褐色粘質土塊点状に含有



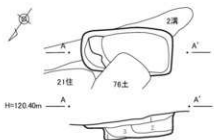
#### 80号土層説明

- 1層: 暗褐色 締り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒・焼土粒微量含有
- 2層: 暗褐色 締り・粘性有 ローム粒含有、ロームブロック (径2~6cm) 少量、炭化粒微量含有
- 3層: 明褐色 締り・粘性弱 ローム粒多量、炭化粒・焼土粒・BP微量含有
- 4層: 暗茶褐色 締り・粘性弱 ローム粒・炭化粒微量、暗灰褐色粘質土若干含有
- 5層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm以下)、炭化粒微量含有



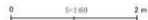
#### 81号土層説明

- 1層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック (径1cm以下) 微量含有
- 2層: 暗黄褐色 大型ロームブロック
- 3層: 茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ロームブロック (径1~8cm) 少量、炭化粒微量、焼土粒微量含有
- 4層: 暗茶褐色 締り有、粘性やや強 ローム粒・炭化粒少量、暗灰褐色粘質土若干含有

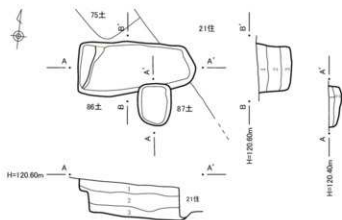


#### 84号土層説明

- 1層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 2層: 暗茶褐色 1層に類似するが、ローム粒含有量少なく色調やや暗い
- 3層: 暗茶褐色 締り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック (径1cm以下)、炭化粒微量、BP若干含有
- 4層: 明黒褐色 締りやや弱、粘性有 ローム粒・BP・炭化粒微量含有



第64図 79～84号土坑

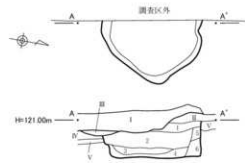


#### 86号土坑層説明

- 1層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量、ローム小ブロック（径1cm以下）硬心に含有
- 2層：暗茶褐色 1層に類似するが、炭化粒含有量少なくローム小ブロック含まない
- 3層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～2cm）少量、炭化粒微量含有

#### 87号土坑層説明

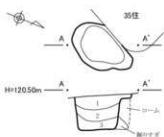
- 1層：暗褐色 緋り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- 2層：茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック（径1cm程度）極微量含有



#### 90号土坑層説明

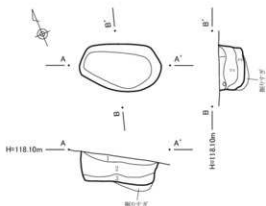
- I層：暗茶褐色 表土剥ぎ時の俵土
- II層：暗茶褐色 緋り・粘性弱 現表土 Ax-A含有
- III層：茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒少量、炭化粒微量含有
- IV層：暗褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ローム小ブロック下層に微量含有
- V層：茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～5cm）少量、炭化粒微量含有

- 1層：暗茶褐色 表土剥ぎ時の俵土
- 2層：茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 3層：茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm程度）炭化粒微量含有
- 4層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 5層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ローム大ブロック少量含有
- 6層：暗茶褐色 緋りややや弱、粘性有 ローム粒・炭化粒少量含有



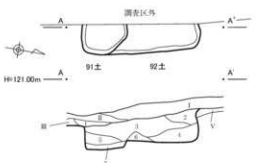
#### 88号土坑層説明

- 1層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒少量、ロームブロック（径1～2cm）微量含有
- 2層：暗茶褐色 緋り・粘性有 炭化粒少量、ローム粒・ローム小ブロック（径1cm程度）微量含有
- 3層：明黒褐色 緋り・粘性やや弱 ローム粒・炭化粒微量含有



#### 89号土坑層説明

- 1層：暗褐色 緋り硬、粘性低 Ax-VP含有ロームブロック（径3cm）少量含有 遺物包含層
- 2層：暗褐色 緋り硬、粘性低 Ax-VP含有ロームブロック（径5cm）中量含有
- 3層：暗褐色 緋り硬、粘性低 Ax-VP含有ロームブロック（径5cm）2層より多く含有



#### 91-92号土坑層説明

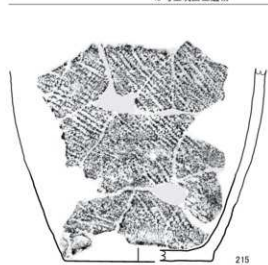
- I層：暗茶褐色 表土剥ぎ時の俵土
- II層：暗茶褐色 緋り・粘性弱 現表土 Ax-A含有
- III層：茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ロームブロック（径1～5cm）少量、炭化粒微量含有
- 1層：暗茶褐色 緋り・粘性弱 炭化粒少量、ローム粒微量含有
- 2層：茶褐色 緋り良、粘性弱 ローム粒含有、ロームブロック（径2～4cm）少量、炭化粒微量含有
- 3層：明黒褐色 緋り・粘性有 ローム粒・ローム小ブロック（径1cm以下）含有、炭化粒微量含有
- 4層：暗茶褐色 緋り・粘性有 ローム粒・炭化粒微量含有
- 5層：明黒褐色 緋り・粘性有 ローム粒含有、ローム小ブロック（径1cm以下）、炭化粒微量含有
- 6層：暗褐色 緋り・粘性有 ローム粒、HP少量、炭化粒微量含有
- 7層：明黒褐色 緋り強、粘性有 炭化粒少量、ローム粒微量含有

第65図 86～92号土坑

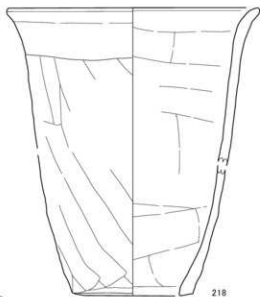


46号土坑出土遺物

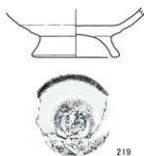
58号土坑出土遺物



48号土坑出土遺物



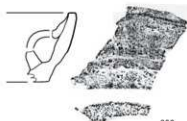
71号土坑出土遺物



219



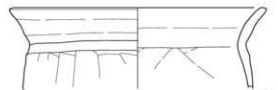
221



222

81号土坑出土遺物

85号土坑出土遺物



220

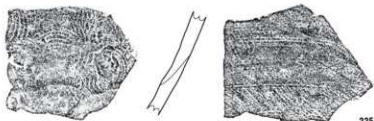
72号土坑出土遺物



224



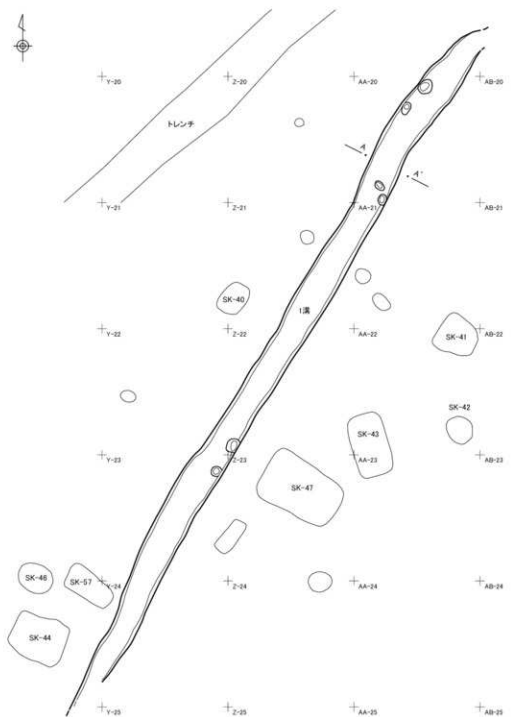
223



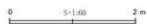
225

89号土坑出土遺物

第66圖。土坑出土遺物



1号溝土層説明  
 1層：茶褐色 細り・粘性有 ローム状・A-A'少量含有  
 帯根切り溝と思われる



第67図. 1号溝

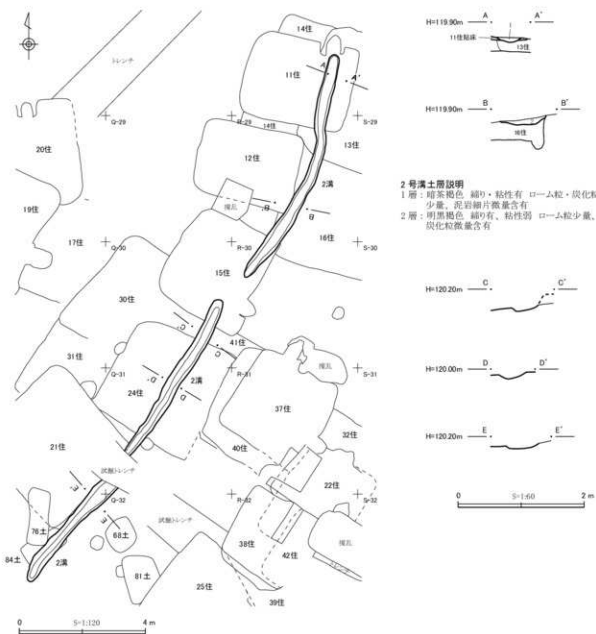
### 3. 溝

#### 1号溝 (第67図)

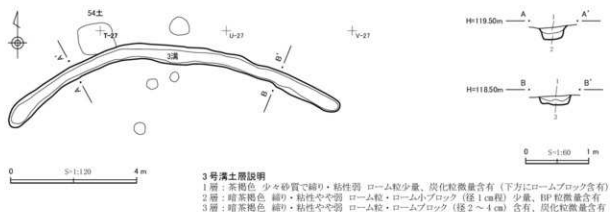
**位置** 調査区南部、X-24～AA-20に位置する。**形状・規模** 南西から北東にかけて直線的に走向し、方位N-34°-Eを指す。両端とも自然消失しているが、確認状況において長さ25m、幅85～110×深さ30cmを測る。**遺物** 掲載遺物なし。**時期** 不明。

#### 2号溝 (第68図、PL-15)

**位置** 調査区南西部、P-32～R-28に位置する。**形状・規模** 南西から北東にかけて湾曲気味に走向し、方位N-11～44°-Eを指す。両端、及び一部が自然消失しているが、確認状況において長さ20m、幅35～57×深さ10cmを測る。**遺物** 掲載遺物なし。**時期** 不明。



第68図. 2号溝



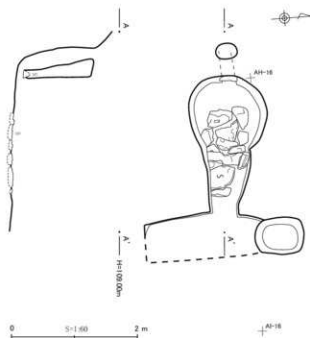
第69図. 3号溝

### 3号溝（第69図、PL-16）

**位置** 調査区南西部、S-27～U-27に位置する。**形状・規模** 東西方向に弧状に走向し、方位N-50°107°-Eを指す。両端とも自然消失しているが、確認状況において長さ11m、幅40～58×深さ20cmを測る。**遺物** 掲載遺物なし。**時期** 不明。

### 4. 炭窯（第70図、PL-16）

**位置** 調査区東部、AH-16に位置する。**形状・規模** 東急斜面に直交正位に構築されている。炭化室の平面形はしやじ状を成し、主軸N-85°-W、全長さ2.2×最大幅1.2×奥壁残高1.3m、焚口幅45cmを測る。底面は平坦で礎が敷かれている。煙出しは奥壁底面中央から40cm程距離をとって直立している。焚口手前には前庭部（作業場）が窺える幅2m程の整地面が設けられ、右手には長軸77×短軸59cmを測る方形の土坑が付設されている。**遺物** 掲載遺物なし。**時期** 遺構形態から近世以降と考えられる。

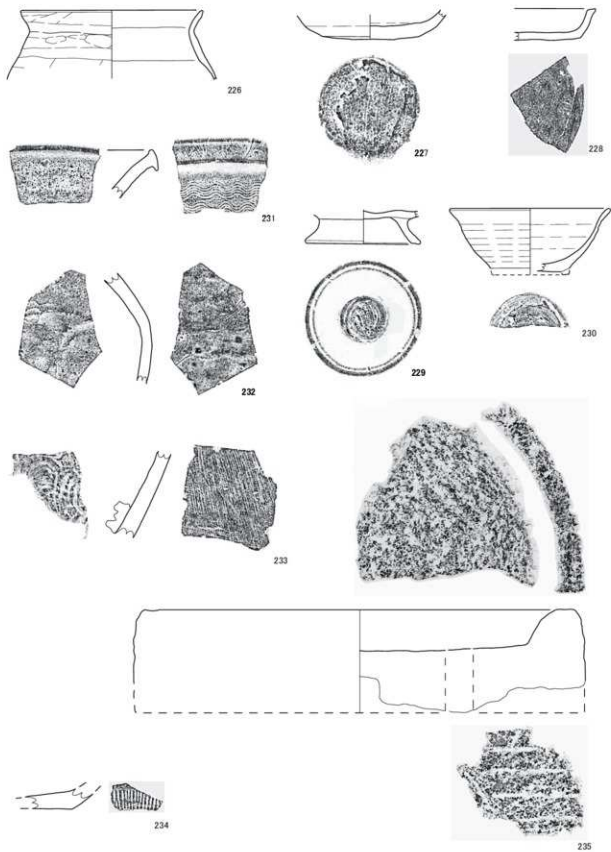


第70図. 炭窯

### 5. 遺構外出土遺物（第71図、第2表、PL-24）

掲載遺物は18点であるが、他にも住居の上層、あるいはその周辺から土師器・須恵器の破片が大量に出土している。ほとんどが小破片で時期判定できる個体は少ないが、出土遺物の大半は土師器片で須恵器片と合わせると全体の9割程を占めている。おそらく検出された住居から流出、投棄されたものと考えられ、7～10世紀の年代に当てはまるものと推定される。

他にも数は少ないが、縄文土器、礎、近世陶器、石臼などが出土している。縄文時代の遺構としては48号土坑、近世遺構としては炭窯が確認されているが、この内近世遺物については遺構形態から土坑、溝からの流出遺物である可能性もある。



第 71 図. 道橋外出土遺物

第2表 出土遺物観察表

No.	遺構名	器種/器形/残存	計測値	胎土/色調/焼成	調査・備考
1	1住 No.4	須恵器 環 完整	口: 11.3 底: 6.4 高: 2.7	雲母・ 灰白色 普通/劣還元	外面: ヘラナダ 内面: ヘラ切
2	1住 No.2	土師器 環 4/5	口: 13.0 底: - 高: 3.9	石英・雲母 にぶい褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 被熱剥離 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
3	1住 No.5	土師器 環 4/5	口: 12.0 底: - 高: 3.6	石英・雲母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
4	1住 No.6-7	土師器 環 1/2	口: 11.6 底: - 高: 3.6	石英・雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
5	1住 No.14	土師器 環 完整	口: 11.2 底: - 高: 3.6	雲母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ 底部部状に粘土付着(重丸盤?)
6	1住 No.3	土師器 環 完整	口: 16.3 底: - 高: 5.5	石英・雲母・角閃石 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ナダ
7	1住 No.1	土師器 環 口縁~体部	口: 22.1 底: - 高: 9.0	雲母・細織 にぶい褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 頸部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ナダ
8	2住 No.1	土師器 環 口縁~底部部片	口: 10.7 底: - 高: 3.3	灰色 良好/還元	底部ヘラケズリ
9	2住 No.2	土師器 環 口縁部片	口: 8.8 底: - 高: 2.0	雲母 浅黄褐色 普通	ヨコナダ
10	2住 No.1	土師器 環 口縁部片	口: - 底: - 高: -	雲母 にぶい褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 頸部以下ヘラケズリ 内面: ヨコナダ
11	3住 No.3	土師器 環 完整	口: 13.1 底: - 高: 4.0	石英・雲母・細織 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
12	3住 No.2	土師器 環 完整	口: 12.8 底: - 高: 3.8	石英・雲母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
13	3住 No.1	土師器 環 1/2	口: 14.4 底: - 高: 3.5	石英・雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
14	3住 No.1	土師器 環 1/4	口: 16.8 底: - 高: 8.4	石英・雲母・結晶片岩・中織 にぶい赤褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
15	3住 No.5	土師器 環 体~底部	口: - 底: 5.7 高: -	石英・白色軽石・小織 灰黄褐色 普通	外面: ヘラケズリ 内面: ヘラナダ
16	4住 No.1	須恵器 環 1/2	口: 12.2 底: 6.0 高: 3.6	石英・小織 普通/劣還元	回転糸切刃 右回転
17	4住 No.1	須恵器 環 1/5	口: 13.2 底: 6.6 高: 3.3	雲母 灰黄色 良好/中性	回転糸切刃 底部に焼成前切込み 凍結剥離
18	4住 No.1	須恵器 環 口縁~底部破片	口: 13.1 底: 7.0 高: 3.4	長石・小織 灰色 良好/劣還元	回転糸切刃 凍結
19	4住 No.1	須恵器 環 口縁~体部片	口: - 底: - 高: -	細織 灰色 普通/中性	縦溝状文
20	4住 No.7-9	須恵器 環 頸~肩部	口: - 底: - 高: -	石英・長石・雲母・中織 灰色 良好/還元	外面: 回転ヘラナダ 内面: ヘラナダ
21	4住 No.3-4-6	土師器 環 口縁~体部 1/5	口: 20.6 底: - 高: -	雲母・チャート・角閃石・細織 良好 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 頸部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラナダ
22	4住 No.2-3-4	土師器 環 口縁部 1/2	口: 21.4 底: - 高: -	雲母・角閃石 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 頸部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ナダ
23	4住 No.8	土師器 環 口縁~頸部 1/3	口: 19.4 底: - 高: -	雲母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ
24	4住 No.10	土師器 環 口縁部片	口: 17.3 底: 13.6 高: -	厚: 1.0 幅: 3.3 雲母・角閃石	結晶片岩 写真掲載のみ
25	5住 No.1	土師器 環 口縁部片	口: 19.4 底: - 高: -	石英・雲母・結晶片岩 褐色 普通	外面: ヘラナダ 内面: ヘラナダ
26	5住 No.1	土師器 環 口縁部片	口: 19.6 底: - 高: -	石英・雲母・結晶片岩・細織 にぶい褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラナダ
27	6住居 No.1	土師器 環 口縁~体部破片	口: - 底: - 高: -	雲母 褐色 普通	外面: ヘラケズリ 内面: ヘラナダ
28	6住居 No.1	土師器 環 口縁~体部破片	口: 12.3 底: 10.6 高: 4.7	雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 凍結剥離
29	6住居 No.8	土師器 環 完整	口: 12.8 底: 11.1 高: 3.2	雲母 灰褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラナダ
30	6住居 No.8	土師器 環 完整	口: 14.4 底: 11.8 高: 3.7	雲母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部ニガネ
31	6住居 No.10	土師器 環 1/5	口: 14.7 底: - 高: -	石英・雲母 にぶい褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部ナダ
32	6住居 No.10	土師器 環 口縁~底部破片	口: 3.1 底: - 高: -	良好	



No.	遺構名	器種/器形/残存	計測値	胎土/色調/焼成	調査・備考	
33	6住居 No.3, SK-1	土師器 志原輪 2/3	口: 19.1 底: 6.5 高: 37.4	右英・裏母・結晶片岩・中硬・小硬 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケスリ	
34	6住居 No.2	自然石 磨製石?	長: 15.2 幅: 6.5 厚: 4.0	長: 15.2 厚: 4.0 重: 7.92g	結晶片岩 写真掲載のみ	
35	6住居 No.3	自然石 磨製石?	長: 16.0 幅: 6.0 厚: 6.0	長: 16.0 厚: 6.0 重: 52.4g	結晶片岩 写真掲載のみ	
36	6住居 覆土	自然石 磨製石?	長: 15.5 幅: 6.7 厚: 3.5	長: 15.5 厚: 3.5 重: 57.2g	結晶片岩 写真掲載のみ	
37	7住 覆土	土師器 甕 底部片	口: 13.2 底: 7.3 高: -	裏母・青閃石・白色軽石 褐色 普通	底部割離 焼し	
38	7住 覆土	土師器 甕 口縁~体部部片	口: 11.6 底: - 高: -	裏母 褐色 良好	口縁部ヨコナデ 体部ヘラケスリ	
39	7住 覆土	須恵器 甕 体部破片	口: - 底: - 高: -	灰黄・裏母 灰色 良好/還元	外面: 伏瀬 平行明き ヘラナデ 内面: 内弧文 ヘラナデ	
40	7住 覆土	石器? 削片?	長: 4.2 幅: 3.0 厚: 0.9	長: 4.2 厚: 0.9 重: 12.84g	削片?	
41	7住 覆土	自然石	長: 4.8 幅: 2.7 厚: 1.7	長: 4.8 厚: 1.7 重: 38.70g	右英片岩 写真掲載のみ	
42	8住 覆土	自然石	長: 3.8 幅: 2.3 厚: 1.2	長: 3.8 厚: 1.2 重: 16.57g	右英片岩 写真掲載のみ	
43	8住 No.1	土師器 甕 体部	口: 12.1 底: - 高: 3.4	裏母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ 底部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
44	8住 No.4	土師器 甕 1/5	口: 12.2 底: - 高: 3.3	裏母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ 底部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
45	8住 覆土	土師器 甕 口縁~体部破片	口: 13.4 底: - 高: -	裏母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケスリ	
46	8住 No.1	土師器 甕 口縁~体部破片	口: 13.4 底: - 高: -	裏母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: ヨコナデ	
47	8住 No.5	土師器 甕 口縁部破片	口: - 底: - 高: -	裏母 褐色 普通	外部面: ヨコナデ 内部面: ヨコナデ	
48	8住 覆土	土師器 甕 口縁部破片	口: - 底: - 高: -	裏母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラナデ	
49	8住 No.5	土師器 甕 口縁部破片	口: - 底: - 高: -	右英・裏母・細織 褐色 普通	外面: ヨコナデ 内部面: ヨコナデ	
50	8住 覆土	須恵器 甕 底部破片	口: - 底: 9.0 高: -	右英 灰色 良好/還元	底部回転ヘラケスリ	
51	8住 覆土	須恵器 甕 口縁部破片	口: - 底: - 高: -	砂粒 灰白色 良好/羽還元	縞帯状文 52-53/54と同-?	
52	8住 覆土	須恵器 甕 口縁部破片	口: - 底: - 高: -	砂粒 灰白色 良好/羽還元	外面: 縞帯状文 内面: ナデ	
53	8住 No.6	須恵器 甕 口縁部破片	口: - 底: - 高: -	右英・小硬 灰白色 良好/羽還元	51-52/54と同-? 外面: 縞帯状文 51-52/54と同-?	
54	8住 覆土	須恵器 甕 口縁部破片	口: - 底: - 高: -	右英・細織 灰白色 良好/羽還元	外面: 縞帯状文 51-52/53と同-?	
55	8住 No.7	須恵器 甕 体部破片	口: - 底: - 高: -	右英・裏母・小硬 灰白色 良好/還元	外面: 平行明き 内面: 内弧文	
56	8住 No.9	須恵器 甕 体部破片	口: - 底: - 高: -	灰黄・長石・小硬 灰色 良好/還元	外面: 平行明き 内面: 内弧文 ヘラナデ	
57	9住 No.2	甕 1/4 残み欠損	口: 17.1 底: - 高: 2.2	右英・裏母・細織 灰色 良好/還元	大井部回転ヘラケスリ 右回転	
58	9住 覆土	須恵器 甕 口縁~底部 1/3	口: 12.1 底: 5.6 高: 3.2	右英・長石 灰色 普通/還元	回転糸切り	
59	9住 覆土	須恵器 甕 1/5	口: 10.4 底: 7.3 高: 3.1	右英・細織 灰色 良好/還元	底部回転ヘラケスリ	
60	9住 覆土	須恵器 甕 高台欠損	口: 15.1 底: 6.4 高: 4.9	結晶片岩・小硬 に5/6褐色 普通/還元	底部回転ヘラナデ 高台割離 右回転	
61	9住 覆土	須恵器 甕 体~底部破片	口: 7.4 底: - 高: -	小硬 灰白色 良好/還元	高台貼付	
62	9住 覆土	須恵器 甕 体~底部破片	口: 7.4 底: - 高: -	裏母・細織 褐色 良好/還元	高台貼付	
63	9住 覆土	須恵器 甕 台付型	口: 14.6 底: 3.1 高: -	裏母 に5/6黄褐色 良好/還元	内外面: 回転ヘラナデ 上野型	
64	9住 覆土	土師器 甕 口縁部破片	口: 18.8 底: - 高: -	右英・結晶片岩・小硬 に5/6褐色 良好	外面: ヘラケスリ 内面: ヘラナデ	
65	9住 No.1	土師器 甕 底部破片	口: - 底: - 高: -	裏母・青閃石・細織 褐色 普通	外面: 頸部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 頸部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
66	9住 覆土	土製品 完形	長: 4.6 幅: 1.9 厚: 1.8	長: 4.6 厚: 1.9 重: 1.8	裏母 に5/6黄褐色 普通	ナデ

No.	遺構名	器種/器形/残存	計測値	胎土/色調/焼成	調査・備考
67	10住 礎土	土師器 環 口縁へ体部破片	口: 14.1 底: — 高: —	石英・角閃石 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: ナダ
68	10住 礎土	須恵器 壺 体部破片	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 灰色 良好	外面: 平行叩き 内面: 内弧文
69	11住 カマド	須恵器 蓋 積み	口: 5.5 底: — 高: 1.4	石英・結晶片岩 灰黄褐色 不良	凸凹附丸 横線 磨滅
70	11住 礎土	自然石	長: 17.8 幅: 7.3	厚: 4.9 重: 71g	結晶片岩 写真掲載のみ
71	12住 No.1, 床直	土師器 環 口縁へ底部破片	口: 14.0 底: — 高: —	石英・角閃石 褐色 普通	外面: 底部ヘラケズリ 内面: 磨文 縁部磨滅
72	12住 礎土	土師器 環 口縁へ体部破片	口: 12.3 底: — 高: —	良好 にふい 褐色	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ
73	12住 礎土	土師器 環 口縁へ底部破片	口: 12.8 底: — 高: —	石英・雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ
74	12住 No.1, 床直	土師器 環 口縁へ底部破片	口: 12.0 底: 8.4 高: 3.0	雲母・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
75	12住 礎土	土師器 鉢 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	石英・結晶片岩 灰黄色 普通	内外面: ヘラナダ
76	13住 No.3	土師器 環 口縁部破片	口: 12.2 底: — 高: 3.5	石英・雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラナダ
77	13住 礎土	土師器 鉢 口縁へ体部破片	口: 17.2 底: — 高: —	石英・雲母・結晶片岩・白色軽石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: ヨコナダ
78	13住 礎土	土師器 環 口縁へ底部破片	口: 10.6 底: — 高: 3.0	石英・雲母・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
79	13住 No.2	土師器 壺 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	雲母・角閃石 にふい 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ
80	13住 カマド No.1	土師器 壺 口縁へ体部破片	口: 24.0 底: — 高: —	石英・雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラナダ
81	13住 No.1	土師器 壺 口縁へ頸部破片	口: 21.6 底: — 高: —	雲母・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラナダ
82	13住 カマド	石石平	長: 13.9	厚: 2.9	砂岩 写真掲載のみ
83	13住 カマド	自然石	長: 12.0 幅: 6.6	厚: 2.9 重: 358g	結晶片岩 写真掲載のみ
84	13住 カマド	自然石	長: 10.3 幅: 5.5	厚: 3.4 重: 305g	結晶片岩 写真掲載のみ
85	14住 礎土	土師器 環 口縁へ体部破片	口: 10.8 底: — 高: —	石英・細礫 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ナダ
86	14住 礎土	土師器 環 口縁へ体部破片	口: — 底: — 高: —	雲母・小礫・中礫 にふい 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ
87	14住 No.3	自然石 板状	長: 12.2 幅: 7.4	厚: 2.4 重: 371g	結晶片岩 写真掲載のみ
88	15住 No.8	土師器 環 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	白色軽石 にふい 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラナダ
89	15住 No.9	土師器 環 口縁部破片	口: 10.6 底: — 高: 3.7	雲母・細礫 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラナダ
90	15住 No.7	土師器 環 口縁部破片	口: 10.3 底: — 高: 3.4	雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラナダ
91	15住 ピット No.2	土師器 環 口縁部破片	口: 10.3 底: 8.4 高: 3.9	石英・雲母 にふい 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部指ナダ 横線
92	15住 ピット No.1	土師器 小壺 口縁へ体部破片	口: 15.2 底: — 高: —	石英・雲母・角閃石 にふい 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 体部ヘラナダ
93	15住 ピット No.1	土師器 壺 底部破片	口: — 底: 5.3 高: —	雲母・細礫 灰黄褐色 普通	外面: ヘラケズリ 内面: ヘラナダ
94	15住 礎土	須恵器 壺 口縁部破片	口: 8.4 底: 6.4 高: 1.2	石英・雲母 灰白色 良好	外面: 体部下位ヘラナダ 底部ヘラ切り後、ヘラナダ
95	15住 No.5	模製品 破片	長: 7.7 幅: 1.3	厚: 0.7 重: 11.29g	粘土 写真掲載のみ
96	15住 No.2	硃石	長: 6.2 幅: 3.6	厚: 3.0 重: 93g	砂岩 写真掲載のみ
97	15住 礎土	自然石 楕円板	長: 11.2 幅: 7.3	厚: 2.2 重: 346g	結晶片岩 写真掲載のみ
98	16住 No.7	土師器 環 口縁部破片	口: 11.8 底: — 高: 3.8	雲母・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 横線
99	16住 No.5	土師器 環 口縁へ底部破片	口: 14.0 底: — 高: 3.4	雲母 にふい 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラナダ
100	18住 礎土	土師器 環 口縁部破片	口: 11.6 底: — 高: 1.6	雲母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナダ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナダ 磨滅
101	18住 礎土	自然石	長: 10.3 幅: 4.3	厚: 1.8 重: 119g	結晶片岩 写真掲載のみ

No.	遺構名	器種/器形/残存	計測値	粘土/色調/焼成	調査・備考
102	19住 No.4	須恵器 片 口縁~底 3/4	口: 12.5 底: 6.5 高: 3.7	石英・結晶片岩・小礫 灰白色 普通/粥漚元	回転糸切り 底部遺書 横し 右回転
103	19住 覆土	須恵器 環 口縁~底部破片	口: 11.8 底: 5.5 高: 3.7	石英 灰白色 良好/粥漚元	回転糸切り 横し
104	19住 覆土	須恵器 蓋 天井~体部破片	口: — 底: — 高: —	石英 灰白色 普通/粥漚元	外面: 天井部回転ヘラケスリ
105	19住 覆土	須恵器 蓋 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	砂粒 灰色 普通/粥漚元	自然釉
106	19住 覆土	須恵器 蓋 胴~肩部破片	口: — 底: — 高: —	石英 灰色 良好/粥漚元	外面: 平行叩き
107	19住 No.6	土師器 蓋 体部片	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 灰色 良好/粥漚元	外面: 平行叩き 内面: ナデ
108	19住 覆土	土師器 蓋 胴部破片	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 にふいぬ色 普通	外面: 胴部コナデ 体部ヘラケスリ 内面: ヘラナデ
109	19住 No.2	自然石 長方形板	長: 13.5 幅: 4.6 厚: 2.65g	厚: 2.4 石英・小礫	結晶片岩 写真掲載のみ
110	21住 No.1	須恵器 環 口縁~底 1/2	口: 13.4 底: 6.3 高: 3.4	石英・小礫 灰白色 普通/中性	回転糸切り 右回転 連結割離
111	21住 No.3	須恵器 環 口縁~底 1/2	口: 12.5 底: 7.6 高: 3.3	石英・小礫 灰白色 普通/中性	回転糸切り 底部外周ヘラケスリ 右回転 連結割離
112	21住 No.5	須恵器 環 口縁~底 空割	口: 12.7 底: 6.8 高: 3.8	石英・雲母 灰白色 普通/中性	回転糸切り 体部下位回転ヘラナデ 右回転
113	21住 No.6	須恵器 環 口縁~底部破片	口: 11.4 底: 6.4 高: 3.8	石英・小礫 灰白色 良好/粥漚元	回転糸切り
114	21住 No.2	土師器 蓋 口縁~底 空割	口: 12.4 底: 10.2 高: 3.8	雲母 褐色 普通	外面: 口縁部コナデ 体部ヘラナデ 底部ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 底部ヘラナデ
115	21住 覆土	土師器 蓋 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	雲母 褐色 良好	外面: 口縁部コナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 体部ヘラナデ
116	21住 No.9	土師器 蓋 口縁~体部破片	口: 22.0 底: — 高: —	雲母・黄閃石・細礫 にふいぬ褐色 良好	外面: 口縁部コナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 体部ヘラナデ
117	21住 No.8	自然石 楕円石?	長: 18.8 幅: 6.5	厚: 1.8 石英・小礫	結晶片岩 中央部両端に凹み(結晶(?)のみ?) 写真掲載のみ
118	22住 覆土	土師器 蓋 口縁~体部破片	口: — 底: — 高: —	雲母・細礫 にふいぬ色 普通	外面: 口縁部コナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 体部コナデ
119	22住 カマド P-2	土師器 蓋 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	雲母・細礫 にふいぬ色 普通	外面: 口縁部コナデ 体部ヘラナデ 連結割離 内面: 口縁部コナデ 体部コナデ
120	22住 No.6	須恵器 環 口縁~底 1/4	口: 13.4 底: 5.7 高: 4.3	石英・雲母・小礫 灰白色 良好/粥漚元	回転糸切り 右回転 着人物多量器面組
121	22住 No.3	須恵器 輪 体~底部	口: — 底: 6.4 高: —	結晶片岩・小礫 灰色 良好/粥漚元	回転糸切り 高台貼付 横し 着人物多量器面組
122	22住 上層No.4	須恵器 輪 底部	口: — 底: 7.0 高: —	石英・結晶片岩・小礫 褐色 普通/粥漚元	高台貼付 ヘラナデ
123	22住 上層No.1-2, カマドNo.2-5	須恵器 蓋 体部	口: — 底: 18.6 高: —	石英・雲母・小礫 灰白色 普通/粥漚元	外面: 肩部回転ヘラナデ 下層ヘラナデ 内面: 肩部回転ヘラナデ
124	22住 No.1	鉄製品 釘	長: 5.8 幅: 0.3 厚: 0.2	厚: 0.3 6.89g	写真掲載のみ 他1点
125	22住 No.11	鉄製品 板状破片	長: 2.8 幅: 2.6 厚: 0.65	厚: 0.65	写真掲載のみ
126	22住 No.12	鉄製品 板状破片	長: 2.7 幅: 1.9 厚: 2.18	厚: 2.18	写真掲載のみ
127	22住 カマド S-3	自然石 楕円板	長: 13.3 幅: 7.3 厚: 3.85g	厚: 2.3 石英・小礫	結晶片岩 写真掲載のみ
128	23住 覆土	土師器 環 口縁~体部破片	口: 15.4 底: — 高: —	石英・雲母・結晶片岩 褐色 普通	外面: 口縁部コナデ 磨滅
129	23住 No.3	土師器 環 口縁~底 2/3	口: 11.1 底: — 高: 3.3	雲母 にふいぬ色 普通	外面: 口縁部コナデ 体部以下ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 体部以下ヘラケスリ
130	23住 No.4	土師器 環 空割	口: 10.5 底: — 高: —	雲母 褐色 良好	外面: 口縁部コナデ 体部以下ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 体部以下ナデ
131	23住 覆土	土師器 環 口縁~体部破片	口: 12.8 底: — 高: —	雲母・黄閃石 褐色 普通	外面: 口縁部コナデ 体部以下ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 磨滅
132	23住 No.1	土師器 蓋 底部破片	口: — 底: 4.5 高: —	雲母・細礫 褐色 普通	外面: ヘラケスリ 内面: ヘラナデ
133	23住 No.2	土師器 蓋 口縁~体部破片	口: 22.8 底: — 高: —	雲母・黄閃石・細礫 にふいぬ褐色 良好	外面: 口縁部コナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部コナデ 体部ヘラナデ
134	23住 覆土	須恵器 蓋 口縁部破片	口: 10.6 底: — 高: —	石英・細礫 灰白色 良好/粥漚元	横し
135	23住 覆土	須恵器 蓋 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	長石・雲母 灰白色 良好/粥漚元	横し

No.	遺構名	器種/器形/残存	計測値	胎土/色調/焼成	調査・備考
136	24住 No.1 ~ 6・8	土師器 鉢 口: 17.6 底: 12.1 高: 6.7	石英・雲母・細織 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラナデ 連結割離	
137	24住 No.15	土師器 杯 口径: 12.2 底径: 8.6 高: 3.9	石英・雲母・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ナデ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ナデ 底部連結割離	
138	24住 No.7	土師器 杯 口径: 12.1 底径: 8.0 高: 3.3	雲母・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁へ体部ナデ 底部ヘラケズリ 口縁部直縁 内面: ナデ	
139	24住 カマド P-6	須恵器 鉢 口径: 19.6 底径: 10.4 高: 9.2	雲母・ 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ナデ 一部塗煙	
140	24住 No.17	土師器 壺 口径: 18.0 底径: 11.3 高: 7.7	雲母・細織 褐色 良好	外面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
141	24住 カマドNo.2・3	土師器 鉢 口径: 11.3 底径: 7.8 高: 3.5	雲母・細織 褐色 良好	外面: ヘラケズリ 内面: ヘラナデ	
142	24住 No.19	土師器 鉢 口径: 18.4 底径: 10.9 高: 7.5	高純・結晶片岩 褐色 普通	外面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
143	24住 No.9	土師器 壺 口径: 18.8 底径: 10.9 高: 7.9	雲母 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナデ 顔部ヘラナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 顔部以下ヘラナデ	
144	24住 No.12	土師器 壺 口径: 21.2 底径: 11.3 高: 10.0	石英・雲母・細織 褐色 普通	外面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
145	24住 No.1	土師器 付付壺 口径: 7.8 底径: 7.8 高: 0.1	褐色 褐色 良好	内外面: ヨコナデ	
146	24住 No.16	須恵器 壺 口径: 5.0 底径: 2.4 高: 2.6	石英・雲母 浅黄褐色 良好・中性	外面: 肩部回転ヘラナデ 体部下位ヘラケズリ	
147	24住 No.14	須恵器 鉢 口径: 14.9 底径: 6.8 高: 8.1	石英・南嶺骨針 灰色 良好・燻化	回転糸切り 内面: 指ナデ 右側・右回転 右側糸切り	
148	24住 No.13・18	須恵器 杯 口径: 12.6 底径: 6.4 高: 6.2	石英・小磯・中織 褐色 良好・燻化	回転糸切り	
149	24住 No.18	須恵器 杯 口径: 12.6 底径: 6.4 高: 6.2	石英・結晶片岩・中織 灰白色 普通・燻還元	回転糸切り	
150	24住 No.23	鉄製品 鉄製 刀先破片 長: 3.7 厚: 0.2	重: 1.89g	写真掲載のみ	
151	24住 カマド Fe-1	鉄製品 破片 長: 4.8 厚: 0.3	重: 1.50g (他 5点含む)	写真掲載のみ	
152	24住 カマド S-1	鉄製品 破片 長: 7.0 厚: 0.4	重: 2.4	軽石 写真掲載のみ	
153	25住 No.2	土師器 小壺 口径: 22.8 底径: 11.3 高: 11.5	石英・雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
154	25住 No.3	土師器 壺 口径: 22.8 底径: 11.3 高: 11.5	石英・雲母 褐色 普通	外面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
155	25住 No.1	土師器 壺 口径: 22.2 底径: 11.3 高: 10.9	高純・小磯 褐色 普通	内外面: ヘラナデ	
156	25住 No.6	土師器 壺 口径: 24.8 底径: 11.3 高: 13.5	高純・結晶片岩 良好 普通	連結割離 外面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
157	25住 No.17	土師器 小壺 口径: 10.2 底径: 5.1 高: 5.1	石英・細織 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
158	25住 No.15	須恵器 杯 口径: 2.1 底径: 2.1 高: 0.0	石英・結晶片岩 灰色 普通・燻還元	回転糸切り	
159	25住 No.1	須恵器 壺 口径: 11.3 底径: 5.1 高: 6.2	石英・細織 灰白色 良好・燻還元	外面: 平行叩き 内面: 内蓋文	
160	25住 No.7	自然石 磨削石 長: 10.6 幅: 4.8 厚: 2.0	重: 161g	結晶片岩 写真掲載のみ	
161	26住 No.1	土師器 壺 口径: 11.3 底径: 5.1 高: 6.2	石英・雲母・細織 褐色 普通	内外面: ヘラナデ	
162	26住 No.1	鉄製品 釘? 破片 長: 2.7 幅: 0.9 厚: 0.4	重: 3.91g	写真掲載のみ	
163	28住 No.5	土師器 杯 口径: 13.4 底径: 10.6 高: 2.9	雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 底部ナデ	
164	28住 No.2	土師器 壺 口径: 22.3 底径: 11.3 高: 11.0	雲母・細織 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 顔部ヘラナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁へ顔部ヨコナデ 体部ヘラナデ	
165	28住 No.7	土師器 壺 口径: 17.1 底径: 8.6 高: 8.5	雲母・細織 褐色 普通	内外面: ヨコナデ	
166	28住 No.1	須恵器 壺 口径: 15.8 底径: 7.9 高: 7.9	結晶片岩・小磯 褐色 良好・燻化	土師貫	
167	28住 No.3	須恵器 杯 口径: 2.5 底径: 2.5 高: 0.0	石英 灰白色 良好・燻還元	回転糸切り 右回転	
168	28住 No.3	須恵器 鉢 口径: 21.9 底径: 13.4 高: 8.5	石英・中織 灰色 良好・燻還元	外面: 自然石 体部下端へ底部ヘラナデ 内面: 指ナデ	
169	28住 カマド	須恵器 壺 口径: 25.0 底径: 11.3 高: 13.7	石英・小磯 灰白色 良好・燻還元	内外面: ヘラナデ 備し	

No.	遺構名	器種・器形・残存	計測値	胎土 / 色調 / 焼成	調整・備考
170	28 住 灰土坑No.1	自然石 板状	長: 13.0 幅: 9.0	厚: 2.0 重: 227g	結晶片岩 写真掲載のみ
171	29 住 覆土	土師器 甕	口: 16.4 底: — 高: —	雲母・結晶片岩 にふい・褐色	内外面: ヘラナデ
172	29 住 覆土	口縁~体部破片 土師器 坏	口: 12.0 底: — 高: —	雲母・細礫 にふい・褐色	磨滅
173	29 住 覆土	土師器 甕	口: — 底: — 高: —	石英・雲母 褐色	内外面: ヨコナデ
174	29 住 覆土	口縁部破片 土師器 甕	口: — 底: — 高: —	石英・雲母・小礫 にふい・黄褐色	ヘラナデ
175	29 住 No.4	口縁部破片 土師器 甕	口: 21.0 底: — 高: —	雲母・細礫 褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ナデ
176	29 住 覆土	土師器 甕	口: 22.2 底: — 高: —	石英・雲母・細礫 良好	内外面: ヨコナデ
177	29 住 覆土	口縁~体部破片 土師器 甕	口: 21.5 底: — 高: —	雲母・細礫 褐色	外面: 口縁~頭部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁~頭部ヨコナデ 体部ヘラケスリ
178	32 住 覆土	口縁部破片 土師器 坏	口: 12.3 底: — 高: 2.1	雲母・細礫 にふい・褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 底部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ
179	32 住 覆土	口縁~体部破片 土師器 坏	口: 10.4 底: — 高: —	雲母・細礫 褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ
180	32 住 覆土	土師器 甕	口: — 底: — 高: —	雲母・角閃石・細礫 にふい・褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ
181	32 住 覆土	定置陶器 鉢	口: — 底: 16.0 高: —	灰白色 淡黄色	外面: 灰輪 内面: 灰輪・縁輪 瀬戸遺構?
182	32 住 覆土	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	石英 灰白色 普通/還元	磨滅を被状文
183	35 住 No.3	土師器 甕	口: 21.6 底: — 高: —	石英・角閃石 にふい・褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 頸部以下ヘラナデ
184	35 住 No.1	口縁~体部破片 土師器 坏	口: 10.9 底: 10.8 高: 2.3	雲母 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 底部ヘラケスリ 縁輪 内面: 口縁部ヨコナデ 底部ヘラナデ
185	35 住 覆土	土師器 坏	口: 13.1 底: — 高: —	角閃石 褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ナデ
186	35 住 No.4	土師器 坏	口: 14.2 底: — 高: 1.4	角閃石 褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ
187	35 住 覆土	自然石 円板	長: 5.8 幅: 5.1 厚: 54g	重: 2.2 重: 54g	軽石 写真掲載のみ
188	36 住 No.3	土師器 甕	口: 21.0 底: — 高: —	雲母・細礫 にふい・褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ
189	36 住 No.7	口縁~体部破片 土師器 甕	口: 23.1 底: — 高: —	雲母・角閃石 褐色	外面: 口縁~頸部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁~頸部ヨコナデ 体部ヘラナデ
190	36 住 No.6	土師器 甕	口: 23.2 底: — 高: —	雲母・結晶片岩 褐色	外面: 口縁~頸部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁~頸部ヨコナデ 体部ヘラナデ
191	36 住 No.5	土師器 甕	口: — 底: — 高: —	雲母 褐色	外面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラナデ 体部ヘラケスリ 内面: ヨコナデ
192	36 住 No.4	須恵器 坏	口: 11.5 底: 7.4 高: 3.4	石英・小礫 灰白色 普通/還元	回転糸切 右回転 磨滅
193	36 住 No.8	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 灰色 良好/還元	外面: 沈線 磨滅を被状文
194	36 住 No.2	自然石 板状	長: 10.6 幅: 6.4	厚: 1.9 重: 286g	結晶片岩 写真掲載のみ
195	37 住 覆土	須恵器 坏	口: 13.0 底: — 高: —	石英 灰色	軽石
196	37 住 覆土	口縁~体部破片 土師器 甕	口: — 底: — 高: —	雲母/還元 石英・細礫 灰白色	外面: 口縁~頸部ヨコナデ 体部ヘラケスリ 内面: 口縁~頸部ヨコナデ 体部ヘラナデ
197	37 住 覆土	口縁~体部破片 須恵器 坏	口: — 底: 6.8 高: —	石英 灰色	回転糸切 磨滅
198	37 住 覆土	口縁~底部破片 須恵器 甕	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 灰白色 良好/還元	底部回転ヘラナデ 201と同一
199	37 住 覆土	灰箱陶器 甕	口: — 底: — 高: —	細礫 灰色 良好/還元	自然釉 内面: ヘラナデ
200	37 住 No.6	自然石 板片	長: 8.3 幅: 6.5	厚: 5.3 重: 165g	軽石 写真掲載のみ
201	40 住 No.1, 37 住 覆土	須恵器 甕	口: 30.0 底: 26.0 高: 3.0	石英・小礫 灰白色 良好/還元	外面: 底部回転ヘラナデ 体部下位ヘラナデ 198と同一
201	40 住 No.1, 37 住 覆土	土師器 甕	口: 10.7 底: 26.0 高: 3.0	石英・雲母・角閃石 灰白色 良好/還元	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケスリ 198と同一

No.	遺構名	器種/器形/残存	計測値	粘土/色調/焼成	調査・備考
202	40住 礎土	土師器 口縁～体部破片	口: 10.7 底: — 高: —	石英・雲母・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ
203	40住 礎土	土師器 体部破片	口: — 底: — 高: —	チャート・角閃石 褐色 普通	内外面: ヨコナデ
204	38住 礎土	土師器 口縁～体部破片	口: 20.2 底: — 高: —	石英・雲母・細礫 褐色 良好	外面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁～頸部ヨコナデ 体部ヘラナデ
205	38住 礎土	土師器 口縁～体部破片	口: — 底: — 高: —	雲母・細礫 褐色 普通	外面: 口縁～頸部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁～頸部ヨコナデ 体部ヘラナデ
206	38住 礎土	須恵器 口縁～体部破片	口: 13.3 底: 5.6 高: 7.4	石英・雲母・細礫 にない黄褐色 普通	回転・切削り 土師質
207	38住 礎土	須恵器 口縁～体部破片	口: 13.0 底: — 高: —	石英・結晶片岩・細礫 灰白色 普通/劣酸化	
208	39住 床下土坑	土師器 口縁部破片	口: 19.6 底: — 高: —	雲母・細礫 にない褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラナデ 内面: ヨコナデ
209	41住 礎土	土師器 口縁～体部破片	口: 11.3 底: — 高: —	雲母・細礫 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケズリ 内面: ヨコナデ
210	41住 No.1	須恵器 大井部破片	口: — 底: — 高: —	石英・結晶片岩・小礫 灰黄褐色 普通/劣酸化	回転ヘラケズリ 右回転
211	41住 礎土	須恵器 口縁部破片	口: 3.6 底: 1.1 高: —	石英 灰色 普通/還元	
212	41住 礎土	須恵器 脚付大皿 大破片	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 灰色 良好	外面: 底部回転ヘラケズリ 体部下位回転ヘラナデ 右回転 歪み
213	46土 No.1	土師器 口縁部破片	口: 10.8 底: — 高: 3.1	石英・角閃石 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 体部以下ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ
214	46土 礎土	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	石英・細礫 灰色 普通/還元	外面: 横置き波状文
215	48土 礎土	縄文土器 深鉢 体～底部	口: — 底: 11.8 高: —	長石・雲母・角閃石・細礫 褐色 普通	単器L 加曾利E2?
216	48土 礎土	石器 割片	長: 7.5 厚: 0.9 重: 39g	石英 褐色 良好	安山岩? 写真掲載のみ
217	58土 礎土	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 灰色 普通/還元	外面: 沈堀 横置き波状文
218	71土 礎土	土師器 口縁～底部破片	口: 20.0 底: 9.6 高: 25.6	石英・雲母・結晶片岩 にない黄褐色 普通	外面: 口縁ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ
219	72土 礎土	須恵器 口縁～体部破片	口: 6.8 底: — 高: —	石英・雲母・結晶片岩・細礫 褐色 普通/還元	回転・切削り 高台貼付 土師質
220	72土 No.1	土師器 口縁～体部破片	口: 20.4 底: — 高: —	石英・雲母・結晶片岩 にない褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 頸部ヘラナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁～頸部ヨコナデ 体部ヘラナデ
221	81土 No.1	土師器 口縁部破片	口: — 底: 7.3 高: —	雲母・白色軟石 褐色 良好	外面: 磨蝕 内面: ヘラナデ
222	85土 礎土	須恵器 内耳輪 破片	口: — 底: — 高: —	雲母 黒色 普通	外面: ヘラナデ 内面: 指ナデ
223	89土 礎土	土師器 口縁～底部破片	口: 15.0 底: 3.1 高: —	雲母 褐色 普通	外面: 口縁部ヨコナデ 底部ヘラケズリ 内面: 口縁部ヨコナデ 体部ヘラナデ
224	89土 礎土	土師器 口縁～体部破片	口: 12.8 底: — 高: —	石英・雲母・細礫 灰白色 良好	外面: ヘラケズリ成、ヘラナデ 内面: ヘラナデ
225	89土 No.2	須恵器 体部破片	口: — 底: — 高: —	細礫 灰黄色 良好/中性	外面: 平行明き 内面: 内孤文
226	97号 No.1	土師器 口縁～体部破片	口: 14.4 底: — 高: —	雲母 にない褐色 普通	外面: 口縁～頸部ヨコナデ 体部ヘラケズリ 内面: 口縁～頸部ヨコナデ
227	97号 No.3	須恵器 口縁部破片	口: — 底: 7.7 高: —	石英・細礫 灰白色 良好/還元	底部ヘラケズリ 右回転
228	97号 No.4	須恵器 口縁～体部破片	口: — 底: — 高: —	石英・小礫 灰色 良好/還元	外面: 体部中位以下ヘラナデ
229	97号 No.5	須恵器 口縁部破片	口: 9.1 底: — 高: —	雲母・結晶片岩 にない褐色 良好/還元	外面: 回転・切削り 高台貼付 ヨコナデ 内面: ヨコナデ
230	97号 No.6	須恵器 口縁部破片	口: 12.8 底: 6.2 高: 5.2	石英・小礫 灰色 普通/還元	土師質 右回転 回転・切削り 高台磨蝕
231	97号 No.7	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	長石・細礫 灰色 良好/還元	外面: 横置き波状文
232	97号 No.8	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	長石・細礫 灰色 良好/還元	自然焼 (灰オーブ)
233	97号 No.9	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	長石 灰色 普通/還元	外面: カキ目 内面: 内孤文 内面に高台磨蝕付着
234	遺構外 14住周辺	須恵器 口縁部破片	口: — 底: — 高: —	雲母・細礫 灰褐色 普通	外面: 横置き波状文 底部ヘラナデ

No.	遺構名	器種/器形/残存	計測値	胎土/色調/焼成	調査・備考
235	アワド T-31	上白 破片	径: 35.6 高: 8.2	重: 2290g	緑灰岩
236	アワド T-31	上白 破片	径: 35.6 高: 8.2	重: 823g	緑灰岩 写真掲載のみ
237	アワド S-29/No.3	自然石 板状	長: 23.5 幅: 12.2	厚: 5.5 重: 2.06kg	結晶片岩 写真掲載のみ
238	アワド S-32/No.4	自然石 板状	長: 4.5 幅: 3.8	厚: 3.5 重: 87g	結晶片岩 写真掲載のみ
239	アワド V-29/No.1	自然石 磨面石♀	長: 17.5 幅: 7.5	厚: 2.4 重: 514g	結晶片岩 写真掲載のみ
240	遺構外一括 調査区一括	自然石 磨面石♀	長: 15.0 幅: 3.9	厚: 3.3 重: 270g	結晶片岩 写真掲載のみ
241	遺構外一括 調査区一括	自然石 磨面石♀	長: 17.0 幅: 7.3	厚: 3.3 重: 654g	結晶片岩 写真掲載のみ

## V まとめ

本調査において確認された40軒の住居跡は丘陵先端部に展開する集落の一部と判断されるが、集落全体が把握されたわけではない。とは言え、本遺跡の性格を探る上で住居跡は最も重要なであり、かつ帰属時期を推定し得る出土遺物を伴う唯一の遺構である。よって住居跡の帰属時期について整理し、集落の変遷について概観し、まとめとする。

まず、各住居の時期を推定するにあたり、重複関係にある住居について土層観察から判断した新旧関係と、出土遺物の帰属時期に矛盾がないことを確認し、遺物から推定される年代を当てはめた(図1)。なお、9・12・14・28住のように掲載遺物に時期の異なる遺物が混在するものについては、重複する住居との新旧関係を考慮して時期判断した。

次に新旧関係不明なもの、単独遺構について出土遺物から推定される年代を当てはめ、同じく重複関係に矛盾がないかを確認したが、中には30住と31住、30住と41住、39住と42住のように新旧関係、遺物の帰属時期とも不明なもの、17・20・26・27・30・41住のようにそれぞれ重複する遺構との新旧関係は土層断面では明らかだが、遺物による時期判断ができないものもあった。

結果、各住居の帰属時期は図2に示すとおりで、住居軒数は6世紀代は3軒、7世紀代は9軒、8世紀代は3軒、9世紀代は6軒、10世紀代は3軒、時期不明は7軒である。なお、本遺跡で時期が推定できた最も古い遺構は16住であるが、7世紀前半と推定される15住と重複する30・41住も古く、6世紀後半以前に集落が出現したであろうことは容易に判断できる。さらに、7世紀に入って居住域が拡大し、9世紀後

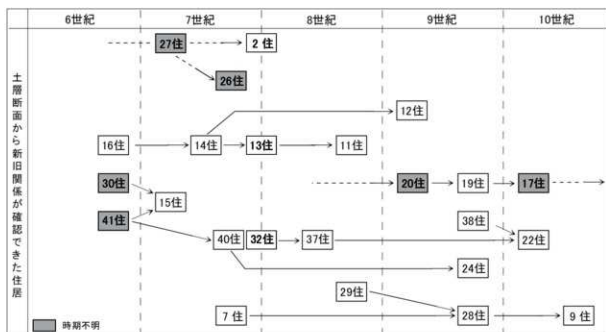


図1. 住居新旧関係図

半までその規模を維持するが、10世紀に入ると急速に衰退していることが見て取れる。また、16住付近は6世紀代の住居、及び7世紀代の大型住居が集中し、その後の時期も住居が激しく重複するなど集落内において占有地的な場所であったことが窺える。

以上、簡潔ではあるが、遺物による時期判断が難しいものも含まれるが、およそ6世紀から10世紀に至る期間に営まれ、7世紀を最盛期とする集落であることが確認できた。

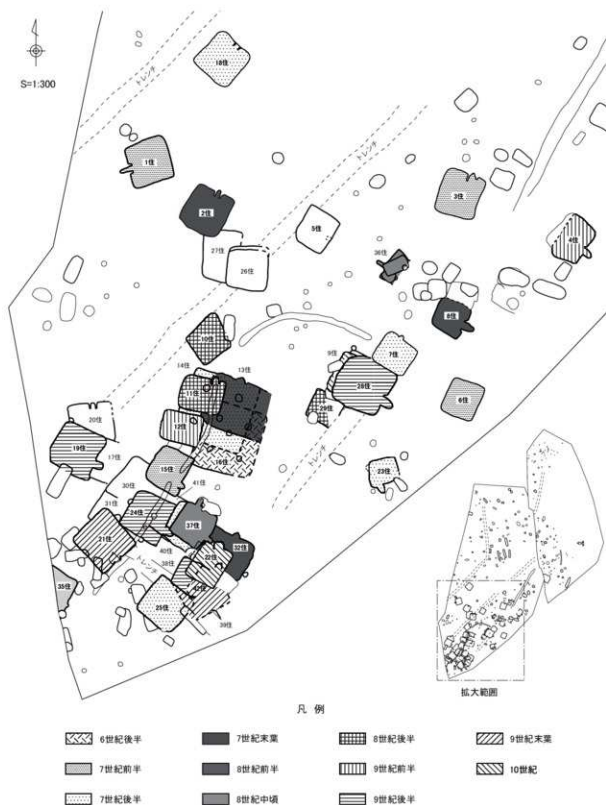


図2. 住居変遷図



# 写真図版



遺跡南西部全景 北西から



遺跡南西部全景 西から



遺跡南西部全景 南から



遺跡北端部全景 北から



1号住居 東から



1号住居カマド 東から



1号住居遺物出土状況 東から



2号住居 南西から



2号住居カマド 南西から



3号住居 南西から



3号住居カマド 南から



3号住居遺物出土状況 西から



4号住居 北西から



4号住居カマド 北西から



4号住居遺物出土状況 北西から



5号住居 北西から



6号住居 西から



6号住居遺物出土状況 南西から



7号住居 南西から



7号住居カマド 南西から



8号住居 北西から



8号住居カマド 北西から



8号住居遺物出土状況 南西から



9号住居 東から



10号住居 南西から



11号住居 東から



11号住居カマド 南から



12号住居 西から



13-14-16号住居 南から



13号住居 南から



13号住居カマド 南から



14号住居 西から



15号住居 北西から



15号住居カマド 北西から



15号住居遺物出土状況 南から



15号住居遺物出土状況 東から



16号住居 南から



17号住居 南から



18号住居 南西から



18号住居カマド 南西から



19号住居 西から



19号住居カマド 南から



20号住居 南から



20号住居カマド 南から





21号住居 北東から



21号住居カマド 北東から



21号住居遺物出土状況 北から



22号住居 南西から



22号住居カマド 南から



22号住居カマド遺物出土状況 北から



23号住居 北から



23号住居カマド 北から



23号住居遺物出土状況 南東から



24号住居 北西から



24号住居カマド 北西から



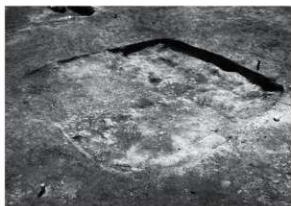
24号住居遺物出土状況 北西から



24号住居No.146 出土状況 北から



25号住居 南西から



26号住居 北東から



27号住居 北から



28号住居 北西から



28号住居カマド 北西から



28号住居床下土坑 南西から



29号住居 北西から



29号住居遺物出土状況 北から



30・31号住居 南西から



32号住居 南西から



32号住居カマド 南西から



35号住居 東から



35号住居遺物出土状況 東から



36号住居 南東から



36号住居カマド 南東から



37号住居 南西から



37号住居北カマド 南西から



37号住居東カマド 北東から



38-42号住居 南西から



40号住居 南西から



41号住居 南西から



39・42号住居 南東から



1号土坑



4号土坑



11号土坑



14号土坑



16号土坑



18号土坑



19号土坑



20号土坑



23号土坑



24号土坑



25号土坑



27号土坑



28号土坑



29 号土坑



30 号土坑



34 号土坑



35 号土坑



37 号土坑



38·39 号土坑



48 号土坑



57 号土坑



63号土坑



64号土坑



75号土坑



81号土坑



90号土坑



91·92号土坑



2号溝





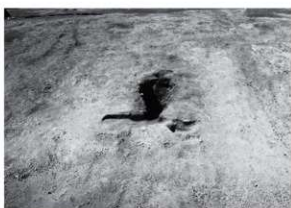
3号溝 東から



3号溝 南西から



掘立 南から



炭窯 東から



炭窯 東から



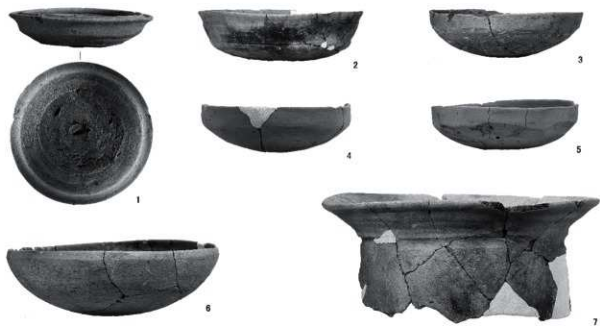
炭窯 西から



作業風景



作業風景



1号住居出土遺物



2号住居出土遺物

3号住居出土遺物



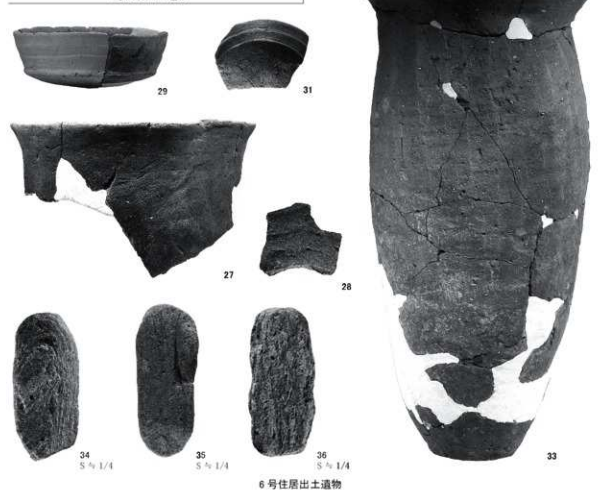
4号住居出土遺物 1



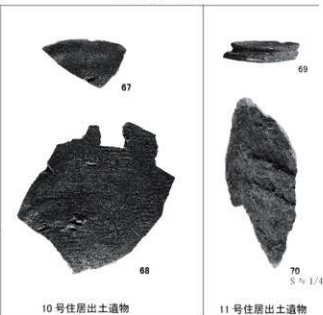
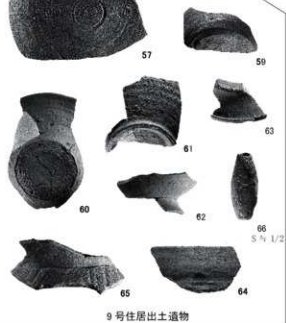
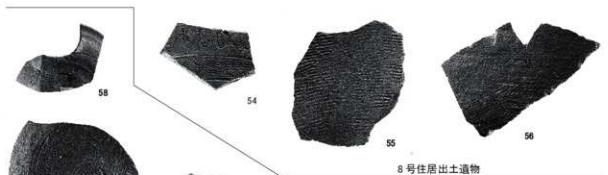
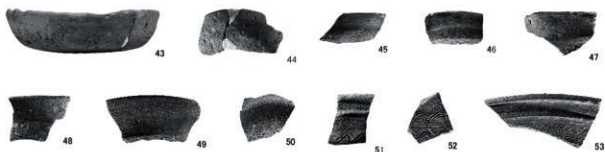
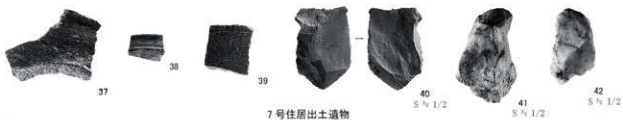
4号住居出土遺物 2

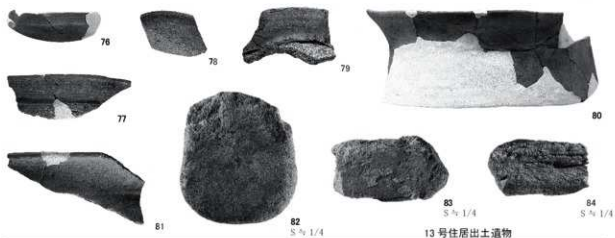


5号住居出土遺物



6号住居出土遺物

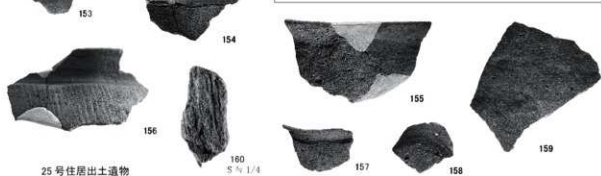


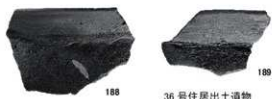




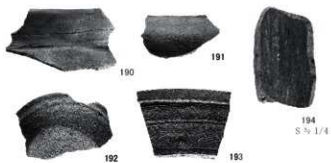
23号住居出土遺物



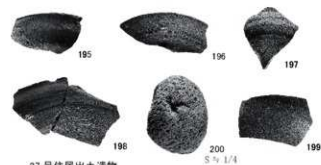




36号住居出土遺物



38号住居出土遺物



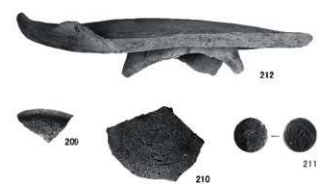
37号住居出土遺物



39号住居出土遺物



40号住居出土遺物



41号住居出土遺物



46号土坑出土遺物

58号土坑出土遺物



72号土坑出土遺物

48号土坑出土遺物



71号土坑出土遺物





221

81号土坑出土遺物



223



222

85号土坑出土遺物



224



225

89号土坑出土遺物



75号土坑出土畜獸骨



226



228



231



227



229



230



232



233



235  
S N 1/4



236  
S N 1/4



234



239  
S N 1/4



240  
S N 1/4



241  
S N 1/4



238  
S N 1/4



237  
S N 1/4

遺構外出土遺物

報告書抄録

フリガナ	アキヤマゴウドイセキ							
書名	秋山郷戸遺跡							
副書名	B地点の1・2次調査							
シリーズ	本庄市遺跡調査会報告書					巻次	第27集	
編著者	笠原仁史							
編集機関	本庄市遺跡調査会							
所在地	〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3丁目5番3号 本庄市教育委員会内 TEL 0495-25-1185							
発行日	西暦 2011年（平成23年）12月28日							
フリガナ 所収遺跡	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査 面積	調査 原因
アキヤマゴウドイセキ 秋山郷戸遺跡  (B地点)	本庄市児玉町  秋山字郷戸 344	市町村 112119	遺跡 50	(° ' ") 36° 09' 56"	(° ' ") 139° 09' 09"	19980202  ~ 19980529  19980901  ~ 19990331	2,000 m <sup>2</sup>    5,000 m <sup>2</sup>	セメント 骨材採取    セメント 骨材採取
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
秋山郷戸遺跡  (B地点)	集落  生産  不明	奈良・平安  近世以降  不明	住居、土坑  炭窯  土坑、ピット、溝	須恵器、土師器  鉄器、礫  獣骨		6～10世紀		
要約	本遺跡で検出された遺構は住居40軒、土坑90基、溝3条、炭窯1基である。 住居はおよそ6～10世紀に帰属する。							

---

本庄市遺跡調査会報告書 第27集

## 秋山郷戸遺跡

～ B地点の調査～

セメント管材（図4）採取に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

---

平成23年12月28日 印刷

平成23年12月28日 発行

発行／ 本庄市遺跡調査会

〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3丁目5番3号

本庄市教育委員会内

電話 0495-25-1185

印刷／山進社印刷株式会社